

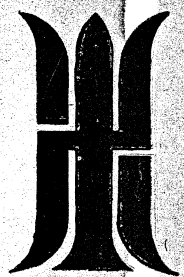
日本水泳連盟

機関誌

水泳

第 140 号

昭和 36 年 9 月



No. 140

“SUIEI” Sep. 1961

NIPPON SUIEI RENMEI

(Amateur Swimming Federation of Japan)



飲める水で泳ごう!

● 学校体育関係の方へ

さァ今度は東京オリンピック… 水上日本の期待はピチピチした少年少女の肩にかけています 〈水の子〉たちを大腸菌どもと競泳させてはなりません

来年の夏こそ みんなの夢「飲料水で泳ぐ」を実現しましょう いまがチャンスです! ジョースイのプール循環浄水装置をご研究ください ヘヤーキャッチャー/循環ポンプ/薬品自動注入装置/口過機/塩素滅菌装置をくみあわせ 汚れた水を洗ってもういち度使う循環式ですから

- 1, 水が極端に節約できます
- 2, 浮遊する細菌や微生物 バクテリアなどが完全に浄化できます
- 3, 連続的に給水できます 水替えのためプールを空にして使用を中断しなくてもよいのです

工業用水・廃水処理装置から市町村の上下水道まで “水処理のプラント・メーカー”

ジョースイの生んだ傑作です

世界の水準をゆく

ジョースイ
プール循環浄水装置

株式会社 浄水工業所

本社 尼崎市浜字十二 Tel 大阪代表(48)7125
支店 東京都港区芝西久保桜川町24(麗ビル) (591)9971~3
営業所 札幌・仙台・広島・福岡・小倉

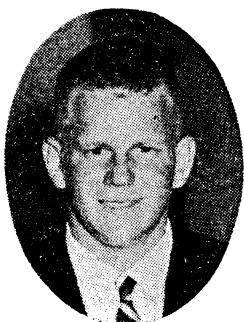
目

次

来朝選手の紹介	(2)
渡米高校選手	(3)
ニュニバーシード大会派遣選手	(4)
日本選手権水上競技を見て——東京オリンピックへの展望——	藤 田 明…(6)
室内選手権をみて本年度の展望	遊 佐 正 憲…(8)
飛込競技規則の変更と東京大会への強化第一歩	柴 原 恒 雄…(9)
水球強化のために——ローマ大会等の教訓から東京大会に備える——	鷗 田 武 善…(10) 神 田 明
水球競技規則とその運営——重大な改正ルールとその処置——	名 取 正 也…(14)
東京大会に備えて	加 藤 茂…(16)
昭和36年度日本選手権大会	(18)
水連便り	(24)
日本選手権大会に学ぶ	(26)
全国中学生選抜大会等の実施要項決定す	(27)
競泳着順判定用音響式指示法の一実験に就いて	塘 正 夫…(31)
スポーツは体力をつくるか	レイモンド・A・ウェイス…(33) 訳・宮 畑 虎 彦
昭和36年度日本選手権水上競技大会記録	(34)
第3回末弘記念室内選手権	(41)
第33回早慶対抗	(46)
第26回日・明・立三大学対抗	(46)
第6回日本大学・中央大学対抗水上競技大会	(47)
第8回早大対九州	(48)
第37回早関対抗	(49)
関西選手権	(49)
第13回日大対九州	(50)
全東京・中央大学対抗水上競技大会	(51)
末弘牌高校	(52)
明大対全静岡県対抗	(54)
千葉真一先生を囲む座談会 —その2—	(55)
日本競泳史上女子50傑 (9)	島 田 桃 一 郎…(59)
海外ニュース	坂 本 宗 隆…(62)

来朝選手紹介

①最高記録 ②身長 ③体重 ④在学学校 ⑤その他



ロイ・サアリ

16才 自由形
 ① 400自 4:36.9
 1500" 17:55.2
 ② 188cm ③ 78.8kg



トム・ストック

19才 背泳
 ① 100背泳 1:02.9
 200" 2:15.1
 ② 169cm ③ 62kg
 ④ インディアナ大学



マイク・トロイ

20才 バタフライ
 ① 100バタ 1:00.2
 200" 2:12.8
 400自 4:27.6
 ② 185cm ③ 81kg
 ④ インディアナ大学
 ⑤ ローマオリンピック大会
 200mバタフライ優勝



トム・ゴンプ

22才 飛込
 全米室内選手権
 ① 飛板飛込 3m 2位
 " 1m 5位
 ② 177cm ③ 72kg
 ④ オハイオ州立大学

ブラジル選手



スチーブ・クラーク

18才 自由形
 ① 100自 54.7
 200" 2:05.2
 ② 185cm ③ 79kg
 ④ ロスアルトス・ハイクル出



マノエル・

ドス・サントス
 22才 自由形
 ① 100自 55.4
 ② 183cm ③ 82kg
 ⑤ ローマオリンピック大会
 100m自由形 第3位

アルゼンチン選手



チエット・

ジャストレムスキー

20才 平泳
 ① 100平泳 1:09.8
 200" 2:35.3
 ② 155cm ③ 54kg
 ④ インディアナ大学



ルイス・A・ニコラオ

17才 バタフライ
 ① 100バタ 59.0
 200" 2:23.4
 ② 184cm ③ 77kg
 ④ サンホセ中学

渡 米 高 校 選 手



後列左より 金 杉 松 石 山 五 伊 加 鈴 山
 岡田コーチ 親 本 本 川 南 風 藤 藤 木 マネジャー 中
 前列左より 渡 藤 岩 森 崎 田
 辺 島 崎 田 久 保 代

役 員 監 督 加藤 茂 (水連中部地区強化組織委員長)
 コ ー チ 岡田 正一 (佐伯鶴城高校水泳部長, 大分県水泳連盟理事長)
 マネジャー 鈴木 重孝 (中京商高水泳部長)

自 由 形	藤島 祥三 (柳井商工)	400自	4:45.4	1,500自	19:16.0
	田代 信一 (八代東高)	100 "	58.7	200 "	2:12.5
	森田 武男 (日大豊山高)	200 "	2:11.4	400 "	4:41.4
	崎久保道博 (中京商高)	100 "	58.5	200 "	2:11.0
	岩崎 邦宏 (佐伯鶴城高)	100 "	59.0	200 "	2:10.7
	渡辺 恒夫 (今治北高)	1,500 "	19:20.6		
背 泳	五十嵐武清 (修徳高)	100背	1:05.7	200背	2:24.8
	伊藤 圭祐 (中京商高)	100 "	1:04.9	200 "	2:23.7
バタフライ	杉本 弘一 (法政二高)	100バタ	1:05.1	200バタ	2:20.0
	金親 義弘 (大阪高)	100 "	1:05.3	200 "	2:25.1
平 泳	石川 健二 (日大豊山高)	100平泳	1:12.4	200平泳	2:38.8
	山南 宏一 (佐伯鶴城高)	100 "	1:13.9	200 "	2:39.1

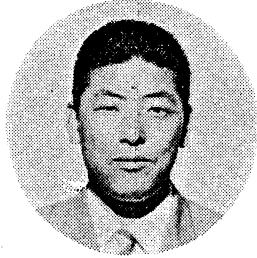
A A U 招待選手

山中 毅	400	4:17.6
	1500	17:25.0
松本健次郎	100	1:13.6
	200	2:38.0

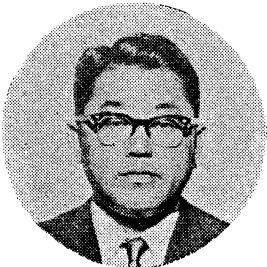
(記録は本年度日本選手権のときのもの)

ユニバアーシード大会派遣選手

役員



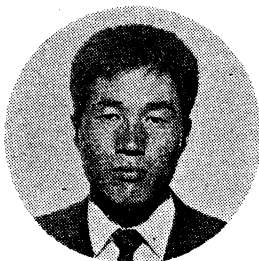
監督兼競泳コーチ 古橋広之進
(日大出, 常務理事,
学生部会名誉会計)



水球コーチ 神田 明善
(慶大出, 理事,
水球強化委員)



水球審判員 名取 正也
(慶大出, 常務理事,
水球委員長)



飛込コーチ 馬場 豊
(早大出, 飛込強化委員)

競泳



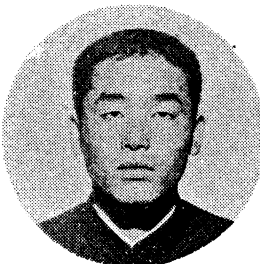
自由形 福井 清 (早大)
日本選手権
100m 57.2 200m 2:13.0



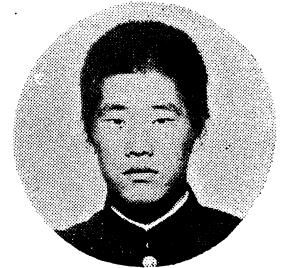
自由形 清水 啓吾 (慶大)
日本選手権
100m 57.4 200m 2:06.8



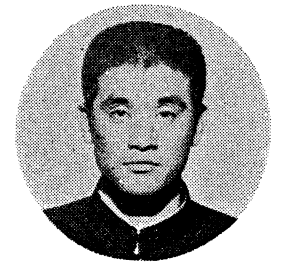
自由形 藤本 達夫 (中大)
日本選手権
200m 2:02.9 400m 4:28.1



自由形 松木登八郎 (日大)
日本選手権
400m 4:30.0 1500m 18:04.4



背泳 福島 滋雄 (日大)
日本選手権
100m 1:05.4 200m 2:19.8



平泳 敷石 義秋 (日大)
日本選手権
100m 1:14.5 200m 2:38.0



バタフライ 吉無田春男 (早大)
日本選手権
100m 1:03.4 200m 2:17.4

飛込



金戸 俊介 (日大)
日本選手権
高飛込 2位 飛板飛込 2位



土佐 忠雄 (早大)
日本選手権
高飛込 6位 飛板飛込 3位



選手 BW 井上 宏 (慶大)



選手 FW 清水 洋二 (慶大)

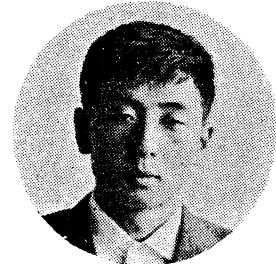
水 球



選手 GK 飯田 矩徳 (中大)



選手 BW 柴田 徹 (日大)



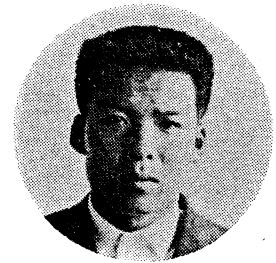
選手 FW 竹内 和也 (早大)



選手 GK 房野 康滋 (日大)



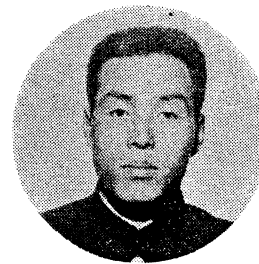
選手 BW 横山 隆 (中大)



選手 FW 鼻月 啓佐 (早大)



選手 BW 青山 礼三 (日大)



選手 FW 藤本 重信 (日大)



選手 FW 桑原 重治 (成城大)

日本選手権水上競技を見て

＝東京オリンピックへの展望＝

藤 田 明

本年度の日本選手権大会は、1964年の東京オリンピック第一年に当り、又強化第一主義をモットーとする高石新会長就任初年度の最高競技会として、江湖の注目を浴びつつ行われたが、春以来活潑に強行された強化施策も僅か半歳であり、十分な成果を挙げるには、いささか時日の短かったことを嘆ぜしめる結果に終つたのは無理からぬところであろう。

現在世界水泳界を二分する米豪の内、春來征した豪州を除き、南北米のトップスイマー10名が参加したため、国際競技としても、特に格調の高い内容を盛り上げ、世界新記録7、日本国際新記録12、日本新記録12、を大量生産する収穫を挙げ、近來沈滞気味の我国水泳界に非常な好刺激を与えたことは、同慶の至りに耐えない。

強化本部発足以来、本部指導陣の巡廻コースや、各ブロック・加盟団体強化委員会の活動に依つて、地方の開発に異常な熱意を示しているので、遠からず結実して、往年の水泳日本再現を確信するのは、筆者のみではあるまい。

特に本年は、本大会の成績によって13名の高校生を初めて全米選手権に参加する機会を与え、之と併行して全国インターミドルの復元を見たので、真に本年の成果を問うとすれば、シーズンの終結を待つ外はあるまい。

先ず來征選手の活躍の跡を辿ると、何と云っても平泳のジャストレムスキーと、背泳のストック両米選手に指を屈せざるを得ない。この両者が残した世界記録は、渡日直前に夫々マークした自己の世界最高記録を或いは打破ち、或いは寸秒の差にまで追いつめ、文字通りトップレベルを、再三に亘って我々の眼前に展開して見せた地力は、ただただ感嘆の外はない。アメリカ選手中不振であ

つたのは奇しくもローマの覇者トロイのみで、若手のスプリンター、クラークは準決勝とは云え55秒8で泳破したし、サアリに至っては1500mで、我国の最大のホープであった山中を打ち負かし、しかも自己のレコードを一気に数十秒短縮して歴代2位の17分21秒2をマークし、ペッペ監督をして、「17分を割ることも夢ではない。東京五輪の新しいホープだ。」と豪語せしめる程の躍進振りを示したのは激賞に価する。南米の両雄中ドスサントスは、オリンピックメダリストの貫録充分で55秒3の好記録を残して見事優勝の栄冠をかちとった。平野コーチは、「54秒台の実力を持つ。」と断言して、1964年に望みを托しているのも無理ではない。アルゼンチンの新鋭ニコラオは、200mでは完敗の憂目を見たが、100mでは諸強豪を後えに一段と優れた泳力を誇示した。年齢僅かに17歳、これ又東京オリンピックの脅威となる可能性充分である。古くは斎藤、遊佐、葉室、戦後も古橋等を迎えて、我国に師事した両国の抬頭は、目覚ましいの一語につきる。これ等外国選手を迎えた日本水泳界の第一線の戦いの跡を辿ってみると、山中、清水、藤本、福井、吉無田、井筒、大崎等ローマオリンピック代表、の中核選手が健在を示したが、これに迫る若手の進出が部分的であったのは物足りなかった。特に自由形に於て、其の感が深く、自由形が各国陣容の消長に最も影響力を持つだけに、特段の奮起が望ましい。就中男子自由形的全種目に、高校生が一人も決勝に進出し得なかったことは、未だかつて無いことで、ここに英才教育の遅滞がはっきり現われていると見るべきで、関係者の熟考と対策を早急に期待したい。100ではトップの石原が僅かに56秒台に突入したに留まり、不振を極めた。ロサンゼルスオ

オリンピックでは、僅か16才の宮崎少年が栄冠を得たが、これは全く異例のことに属し、スプリンターは一日にして成らずと見るのが妥当とするなら、石原、福井、清水、見上等の研鑽と、崎久保、田代等若手有望選手のけっ起を促したい。春以来注目を浴びていた後藤の停滞も気にかかることの一つである。

中、長距離も期待外れに終わった。依然として山中の独壇上では、東京への道は遠い。僅かに松木、佐々木が今春以来順調に伸びて、400mで4分20秒台に、又1500mで待望の18分の壁を破る態勢を整えつつあることは喜ばしい。それにも一つ、決勝へは残れなかったが、萩山が若い無名の勤労者として、18分台をマークしたことは、一服の清涼剤であった。若し高校に在籍していたら、当然渡米選手に選ばれる泳者であっただけに、今後の精進を待望するのは筆者独りではあるまい。中高校生の最も伸び易い種目だけに今シーズン残余の躍進を期して待つこととしたい。

特殊種目は、概して新陳代謝のきざしが見えて来たが、特に背泳は其の感が深い。今春日大に進学した福島を筆頭に、伊藤、五十嵐が優れた資質を発揮してきたのは喜ばしい。富田、渡辺のローマ組も衰えを見せたわけではないが、新しい世代が取って代るのは、時日の問題だけであろう。ストックが教示したピッチ泳法を体得すれば、東京オリンピックの入賞も夢ではない。

平泳に就ても、ほぼ同様のことが言えよう。しかしこの種目は、水準の高さに於て、又層の厚さに於て、他のどの種目にも優っている。大崎、中川がベテラン視されたり、和氣が入賞を逸するほど、盛衰が激しいが、それだけに陣容が高く且つ広いことを実証して剩すところがない。中川は、100mで1分12秒1の日本新記録をマークすると共に、200mでも待望の2分40秒の壁を破りながら、FISU参加の機会をのがしたし、大崎も完調に近いカムバックを遂げながら渡米を見送らざるを得なかった。勤労者の第一人者重松は、今春2分38秒0と好記録を生んだ力を持ち乍ら、一旦調子が狂えば決勝に残ることも出来なかったほどだ、それだけに日本代表に選ばれた敷石、松本、石川、山南には、優れた泳力と若さにあふれた躍

進途上の力強さが包蔵されていると見てよい。本大会で演じた見事なレース振りとは、優れた記録は高く評価されるべきであろう。併しこれらの重厚なスタッフを以てしてもジャストレムスキーの100m—1分10秒0、200m—2分33秒6の大記録の前には、完敗の烙印を押される外なく、競技の世界の酷しさを見せつけられたが、高校トリオの切嗟琢磨次第では、到達出来ぬ境地ではなく、一年毎の上昇を注視したい。

バタフライは吉無田、井筒が健在で、殊に吉無田は200mに2分17秒8の日本記録更新と、渡欧をものにしたが、1964年迄最高レベルを保つことは至難と思われ、むしろ新種目の個人メドレーへの転向を奨めたい。この種目では、100mで中島の抬頭、200mで杉本の向上が目を惹いた。なかでも杉本は、さきに2分19秒9で泳破し、この大会でも同様の泳力を堅持して、次代を担う地歩を確保したのは偉い。惜むらくは、之に続く選手に乏しく、金親あたりが2分25秒の線で低迷しているのは淋しい限りである。バタフライ陣の格別な精進を望んで止まない。

女子競泳は全般的に見て低調のそしりをまぬがれないが、田中の世界記録更新と、二、三の若手選手の活躍に依って救われたと言っても過言ではあるまい。

田中が断えず精進に精進を重ねて自己の占める最高峰を凌いだ偉業は絶讃に価するが、欲を言えばオリンピック種目である100mで、更に一段と進況を見せて貰いたい。スプリントの増強が実現できた暁には、ローマの感激を更に上廻る感激のあることを忘れないで欲しい。

女子平泳の両選手権を見事掌中にした田上の力泳——切れ味のよい泳法は、本大会の圧巻であった。しかも田上が九州の一角八代から突如現われて、——尤も現われるべくして現われるに至った関係者の努力が結晶したには違いないが、中学生として我国第一人者の地位に就いたことは異数のことである。まだまだ伸びる資質に恵まれて居るので、東京大会のホープとなるに違いない。

100mバタフライで優勝した中西も、今春五条高校に進んだ英才。大いに成長を期待しよう。

待望久しかった東京オリンピックに臨むに当っ

て、準備体制の中核体として、具体的な施策を一日も早く整えることが、水泳人の悲願であったが、既述した様に、高石会長就任後逸早く強化対策本部が設けられ、更にブロック毎、加盟団体毎の強化委員会が発足して、ひとわたり全国各地で強化の行事が行われ、又現在も引き続いて行われつつあるので、今後によくを期待出来ると思う。しかも今夏は米、伯、亜、インドネシアの特別参加に依って日本選手権大会を国際色豊かなものにすると共に、F I S U参加、高校生、招待選手の全米選手権参加、中学選抜選手のアメリカ派遣と、多彩な事業が織り込まれ、競技者に対する好刺激は、筆紙に尽し難いものがあると確信する。又泳法、練習法—シーズン並びにシーズン・オフに於ける調整を含めたもの—を初め、栄養、医事、体力養成と広範囲に亘る研究が、理論と実際の両面から深く追求される気運にあることは、誠に喜ばしい。全国津々浦々に点在する水泳人が、挙って深い関心を寄せ、叡智と全能をふりしぼって、東京五輪の成功に邁進して貰いたいものだ。又外国選手の長所は、素直に評価して、一日も早く取り入れ、更に一步を進めてマスターすべきであろう。飛込のゴンプ選手に依って示された高度の技術など、その最たるものであろう、幸い金戸、田原、両選手が示した高飛込の水準は、国際レベルに今一步と迫っているし、飛板飛込に於ても、新鋭土佐が優れた素質を顕してきたので、

技術の吸取消化も、さして難事ではあるまい。

競泳に於ても、クラーク、ジャストレムスキー、スタック等が示したピッチ泳法や、外国選手が揃って誇示したターニング、スタートの巧技は、今直ぐにでも取り入れることの一つであろう。殊に寸秒を争う短距離にあっては、スタートとターンの占める役割は大きく、一刻もなおざりに出来ないテクニックと考えられるに於てをやである。

最後に競技会の運営に就て、一言触れて置きたい。オリンピック競技は、F I N Aの管理に属することではあるが、開催国たる我国から多数の競技役員を送って運営の中心となることは避け得ないところであるから、之に対処する準備体制を整えることが、焦眉の課題となっている。出発合図員、決勝審判員、監察員、計時員等直接競技運行に関係のある役員は、精度の高い慣熟した人達を当てるべきで、早急に公認審判員制度を取り上げなければなるまい。又ターニング・ジャッジ制や、長距離の回数指示板などオリンピックの慣行となっている方式は、一日も早く採用し、これに慣れることが肝要である。国際的に一番遅れていると思われる水球競技役員—特にレフェリー—の養成は、一日も等閑視できない問題で、選手強化の大と課題併行して、真剣に討議し実行に移すことを、敢て提言する次第である。

(筆者は本連盟顧問、強化対策本部長)

室内選手権をみて

本年度の展望

遊 佐 正 憲

日本室内選手権大会は4月1日、2日の両日行われたが、技術的なこと、トレーニングのこと等は強化本部コーチ陣の見方考えかたに譲るとして、大まかな感じたことだけを批評ではなく感想ということで簡単に述べさせて貰うことにする。

この大会の意義は、世界のトップ・レベルの豪州選手を迎えて日本水泳界に刺戟を与え、活を入

れることと、本年来東京を始め各地方で開かれた強化合宿の効果的なものを大会を通じて察知する。例えば合宿から大会までの期間に於ける選手諸君の復調、これには練習の量的なもの、質的なもの、或は実施期間等々、この二つが大きな目的ではなかったろうか、もっとも豪州選手のフォームの研究、トレーニングの方法等も大切な参考と

なったことだろうが。豪州のシーズン・オフに入
って一カ月余り、日本のアウト・シーズン、豪州
の下り目、日本の合同練習による上り目、その接
点が大会の日あたりではなかったろうか、従って
今大会の各種目の記録は大してみるべきものは
なく、ただ女子バタのアンドリューの世界新記録
がたった一つ光っているのみである。男子選手に
ついては少しも怖さといったものを感じなかった
というのが私の感じである。恐らく日本の選手諸
君もそんな感じを受けたのではなかろうか。そう
いう意味合からいっても大きいプラスの面があっ
たと思う。記録的なものを期待していたファンに
とっては期待はずれであっただろうが。選手にと
っては、くみしやすし、勝てると感じ自信を持つ
ことが大切なことで、力量が余りにもちがい過ぎ
ると選手諸君は精神的に萎縮してその結果はマイ

ナスになるものである。そんなことから今大会
は或意味からいってプラスであったと思う。三年
後の東京大会には希望がもてそうである。

こまかいフォームの点は兎に角として泳ぎの感
じからいえば、豪州選手の泳ぎは初心者から作り
上げられた感じの泳ぎで、日本選手のようにある
程度泳げる者を作り上げたものではない様に思え
る。特にウインドルの泳ぎはその感が深かつた、
それも練習方法もインターバルによる典型的なも
のではなかろうか。

強化本部に於ては豪州選手特に男子選手の体力
的なもの、フォーム、練習方法、質、量あらゆる
角度から研究し、日本選手の強化は如何にすべき
か、しかも3年間に、それが、今大会を有意義に
生すことになるわけである。

(筆者は本連盟常務理事、強化対策本部長)

飛込競技規則の変更と

東京大会へ強化第一歩

柴原 恒雄

ローマ大会の終了と同時に国際ナショナル
ダイビング委員会の手によって東京大会迄の
四年間の飛込競技規則が左記の通り変更となりま
したので、日本においても即刻三十六年度からこ
れに基いて競技を実施することとなった。

1. 男子飛板飛込 (10種目)

○規定飛五種目

1. 前飛 2. 後飛 3. 前逆飛

4. 後踏切前飛 5. 前飛半回捻り

(各飛込は伸、蝦、抱型の何れにても可)

○選択飛五種目 (各群より)

2. 男子高飛込 (10種目)

○制限選択飛六種目

難易率合計11.2以内 (各群より)

○自由選択飛四種目 (異群より)

3. 女子飛板飛込 (10種目)

○規定飛五種目

1. 前飛 2. 後飛 3. 前逆飛

4. 後踏切前飛 5. 前飛半回捻り

(各飛込は伸、蝦、抱型の何れにても可)

○選択飛五種目 (各群より)

4. 女子高飛込 (7種目)

○規定飛四種目

1. 前飛 2. 後飛 3. 前逆飛 4. 後逆切前飛

(各飛込は伸、蝦、抱型の何れにても可)

○選択飛三種目 (異群より)

尙右の外に捻り飛の第5群に伸蝦抱型の外に自
由型が加えられ難易率にも若干の変更があった。

以上の通り東京オリンピック大会迄の4年間は
これ等の規則に基いて実施されることとなった訳
である。

次に東京大会に対する強化策の一環として現在
外国選手の招聘並に強化対象選手の海外派遣の予
定が進められている。

先ず今36年度は既に御承知の通り飛込の最先進
国である米国から招聘競泳チームと同時に優秀選

手としてトム・ゴンブ選手が来日し、男子飛板、高飛込の両種目に高点で優勝した。

同選手は、高飛込は金戸君と僅少の差で1位を占めたが、飛板飛込は長身を利してさすがわと思わせる美技をもって優勝し、日本選手に数々の教訓を与えたものとする。

これに次いで国際学生大会に飛板、高飛込各々1名をブルガリヤへ派遣することが決定した。続いて、37年度は第四回のアジア大会の外に欧州選手権へ日本の特別参加が認められれば是非共男子3、4名女子2、3名程度を参加させ度く、加えてソ連からの室内選手権の招聘も具体化しつつある模様で対抗選手層としてはまことに好対象になると思っているため、これも男女合わせて5、6

名は参加させたいものだ。

なお、来日のオハイオ大コーチのマイク・ペップ氏とも打合せ37年度末のオフシーズン時に来国コーチの来日を実現したく考慮中である。

また、国内における強化としては、8月の全国高校の終了と同時に高校優秀選手男女7、8名による基礎的な固めを主眼とした合宿練習を10日間程度、国体終了後シーズン中のほとぼりがさめぬ中に選手権上位者により、シーズン中に実行出来なかった技術面をみっちり固めて行き度いと思っている。ともかく飛込の強化策としては、従来にない、新しい角度から徹底的に鍛えあげ東京大会へ望む心算である。

(筆者は本連盟常務理事、飛込強化委員長)

” 水球強化のために ”

＝ローマ大会等の教訓から東京大会に備える＝

鷗 田 武
神 田 明 善

1. ローマ大会等を中心にみた水球界の情勢

審判の判定について

1956年のメルボルン大会においてもそうであったが、ローマ大会でもゴール前では敵も味方も少しでも優位な態勢になろうと位置の取合いや水中で猛烈な揉み合いをやる。そこで審判はそれを正確に判定しようと懸命になるが、水中なので正確な判定が出来ない。また全々逆な判定をしてしまう時がある。このようなトラブルを除くために日本で従来吹かれていた笛とは違い、次の点に非常に厳格であったように思われた。

1.) ハンドオフについて

従来のようにタックルにきた相手を手で押へたり、押のけたりすることは勿論であるが、その予備動作だけでも反則の対象となる。非常に辛い。

2.) オーディナリーフェールについて

ハンドオフの判定が非常に辛い替りにバックについても厳格である。例へばボールに手が触れる前に相手の身体に触れる(身を浮かさないで相手の肩口から手を出す等)ことや後を泳ぐことは直ちに反則に

なる。故意に反則が繰返されたと認めれば退水もする。又相手がノーボールの時のタックルはどしどし退水させられる。またシュートの態勢にある時の反則(ドリブルしてシュートの直前に後を泳ぐとか、故意に押のける等)はペナルティスローとなる。以上は勿論ルールブックに載っている判定に忠実であるだけだといへばもっともであるが、判定限度時期が従来とは違っている感じが強い。

3.) フリースローのオーバータイムについて

レフェリーにより可成りの差があるけれど従来の我々の判定より相当長い。勿論プレイヤーの動作が上手なのであろうがそれにしても少々間が空き過ぎていた。しかしこのことはローマでも随分問題になっていたようである。現在の日本式でゆくのが一番よいと思うが、プレイヤーが対外試合でやる場合或る程度利用せねば損であるし、マークする時には気をつけねばならぬ。

4.) ゲームをスピーディーにスムーズに運行させるため

にレフェリーはフリースローが完全に反則の行われた場所まで戻らぬ内にスローされても黙視している

場合がある。勿論反則の行われた場所より極端に遠い場合は戻るが、例へばゴール前でフリースローがなされる場合、ボールがスローする者の手にある時は直ちにスローに移るが、少し離れたところにある時はそれを取りに行つてそこから戻るような動作をただけでゲーム続行となってしまう場合がある。これなども判定技術というよりもゲーム運行技術としてインプレーにしてしまうのであろう。

審判はゲーム中絶対なる支配統括権を持っていると同時に司会役であり演出家であるという印象を強く受けた。

以上の如くであるからプレーヤーはチャンスにおける掛引(ゼスチャー)をうまくやらぬと相手のペースに捲込まれてしまうし、味方のチャンスにはあくまで利用せねば損であり、敵のチャンスには決して油断出来ない。

5.) 以上と同じでゴールスローも規則通り完全にゴールラインに返らないで大体その近くに返つて来ればやってしまう。

以上実際に見てまたは経験して来た人達ができるだけ多くの機会をつくり審判団、或は各大学監督コーチに笛を披露して1日も早く国際的な行き方に慣れることが大切である。勿論ローマや遠征等で見に来たものが絶対であるとはいへぬが現在の世界水球審判の動向に近いものであると思われる。

次にメルボルン大会とローマ大会では実際に見た鶴田氏も述べられているように可成り違つて来ていることを考へると、ローマ大会と東京大会とはまた幾分変わってくるかもしれぬが、これは毎年行われる対外試合においてその実体を握つてゆくのが一番であろう。

何れにせよ監督コーチにお願いしたいのはどのような笛を吹かれてもそれに即応できるプレーヤーを養成して戴きたいし、また根本的なルールの変化がない限りそう大した笛の差違はあり得ない。しかしプレーヤーにとっては少しの判定差違も練習そのものから異つてくるように感ずることを思へば、審判団諸氏が一貫した笛を吹くことも非常に大切である。

以上は審判の判定から受けた感じであるが、では強力なる外国チームに対しどのようなトレーニングに重点を置いたらよいか、ローマ大会の時に行われた総会で、水球のルールが変わつたが、これは大きな点では試合時間と選手の交替で、監督またはコーチが作戦的には従来と違つたものがあると思うが、選手トレーニングは何等異なることはなく、むしろ短時間に最高能力を発揮すためには、さらに猛練習に耐へる選手を養成すべきである。

体格差のある外人に対抗するには、日本選手が特に弱

かつた点(腕、肩の力、遠投力、パスのコントロール等)を強力にしたり直したりすると共に、日本選手の特長をさらに伸ばし国際的に通用するフォーメーションを確立し、多くの対外試合を経験することが一番望ましいと思います。また常に新しい負荷を与へ選手の技術力を豊富にすると同時にあらゆる苦しみに耐へ抜く力を養ふことが必要であると思われまふ。

2. FISUと明年のアジア大会

大ざっぱな考え方として本年度のF.I.S.U.の目標は範囲を広げる意味で掘り出し者を見つけ、そしてF.I.S.U.のメンバーとローマの残りを組み合せてアジア大会を押し切る。そして一方大学チームの選手も今年と来年で優秀選手をみいだし、アジア大会の終了と同時に基礎的な考へを終り、アジア大会終了後はもっぱら精鋭主義でトップ・クラスを充実して、出来れば東京大会の前年はF.I.S.U.をねらはず、本当の欧州遠征を計画して、最後の仕上げを行いたいと考へている。

また選手には精神的方面の教育も必要だと考へる。苦しみに勝つ意気込みが最も必要であり、あらゆる練習においても足、腰がたたなくなる迄しぼられてもついてゆける心構えがほしいのと同時に、ローマ大会で見せつけられたあのすさまじい迄の執着心、あれを忘れずに機会ある毎に対外試合において、外人選手に精神的な面でまけない、強い心構を教え込むことが特に必要ではないかと思ひます。

3. 東京大会のための技術的強化要素

東京大会に備へるためにはローマ大会での教訓はもとより、本年度でのF.I.S.U.、明年のアジア大会等幾多の海外試合の経験から不屈の精神力と高度の技術をマスターする要がある。

以下今後の練習の技術的指標を示せば次のとおりである。

1. 水球泳力
2. ボールワーク
3. シュート
4. フォーメーション
5. ゲーム

1. 水球泳力

①馬力をつけること

特に腕、肩を強力にする。始終変らぬスタミナ

②ピッチ泳法

頭を上げダッシュの効いたピッチ泳法

③機動力

敏捷な出足、従来のように止まっていてからでは

なく緩泳からダッシュに移る出足が必要であり、身体のでかい奴に対するには1番である。電光石火のひっくり返り

④浮力（選手各自の練習であると思います）

ちよつとやそつとの圧力にも耐える浮力が必要であり、また沈められても直ぐ浮くようにせねば次のプレーにいつも遅れをとってしまう。

⑤飛付（特にG.O.）

高く早くいつでも飛出せるようにする。

特に手の抜きを早く、足だけでも飛び出せるようにする。

一度身体を出してから横飛びも必要である。

G.K.に球をぶつけるのも従来よりもっと強く、早くやらねばならぬ。

2. ボールワーク

対外的に比較してこの技術は一番劣っている。第一に遠投力、次にハンドリング、コントロール

①遠投力

これは練習法というよりは選手自身の投力に待つ方が大きい。スナップの効いた、肩の入った（つまり体重の乗った）投球をトレーニングの余暇をみてどしどし板ぶつけすべきであり（ボールにスピードをつける意味で重要）コントロールは遠投力がついてからでよい。

②ハンドリング（低いところではパスも重要）

従来ハンドリングというとスローのことばかりやっ

ていて正確な捕球を忘れていた。

特に手の小さい日本選手は確捕しないままで次のスローに移ってしまう。

初めは手首を柔くして多少後へ引いてもよいから確捕をする。しかし情況（マークが付いているとか、ゴール前の時）によっては球に触れたところより直ぐに手首を返してスローしなければならぬ時があるが、これとて一瞬の好捕球がなければ良いスローに移れぬ。

ハンドリングの練習は次ぎによる

ラウンドパス（特に捕球に重点を置く）

ロングパス（遠く正確に）

ボレーリレー（マーク付もよい）

プッシュ（パスを受けたところより持直さず直ちにやる）

バックスロー

泳ぎ乍らのスロー 前、横、後、

変型パス（これはハンドリングの総かつ的なものであり、又同時にスタミナをつける重要な練習だと思ひます。大きく云へばゲームに最も近い基

本練習とも云へるし又時間的に段々にのばして耐久力をつける事も出来ます。この練習で一番大切な事は1つ1つを完全にやらせる事

数人白、青の2組に別れ互にマークさせながら味方にパスをして行く途中でボールが反対側にわたったら直ぐマークを換える。

次から次へ早くパスをし反対にマークする方はガッチリやらぬと練習にならぬ。

練習要点 パス、出足（パスを受ける時、投げた後）、カバーリング、頭を上げたプレー、スタミナ

球は何時も出来る丈け身体より遠くに置いて処理をする。

3. シュート

現在の水球の方向がフィールド全般にわたって機動性が発揮されている状態ではホワード、バックの区別なく誰でもシュート能力をつけていなければならぬ。マークも出来ねばならぬ。

対外的には特殊なシュート（ワンモーションでなげるひっくり返り、猛烈に早いハンドツーハンドこれも好条件の時のみ）を除いてはスタンディングシュートは殆んど通用せず、動きのある泳ぎ乍らのシュートが一番有効である。

○ドリブルシュート

①ストレート あまり型にとらわれぬこと（但ワンモーションでのシュートが大切）

②ボレー、泳いできてパスを叩く様にしてシュートする。

③プッシュ

④ナックリングも応用範囲が広いのでマスターする必要があるのではないかと思います。

○ひっくり返り

○中距離（これは或る程度ボールのスピードも必要であり、又コントロールが要求されますがオール・ランダーシステムには重要なシュートだと思ひます。つまり云い換えればシュート圏外からの相手の意表をつくシュートという意味）

以上ノーマーク、マーク付、単独、コンビ（2組以上で連携をつけながら）でそして総ゆる角度から、各人の特長を極力活かす様に

4. フォーメーション及びゲーム

ゾーンディフェンスは身体の大きな外人相手の防禦には可成り有効である。唯今迄の様に動きのないゾーンディフェンスでは効果なくゴール前の敵のフローティングに挟みマーク（サンドウィッチ）をするかしないか或はその時機又1段目と2段目との間隔或

- ○……………2 段目
 ⊙ ○ ⊗ ○ ○……………1 段目

は横巾等、又何のチームも味方ゴール前ではまともにマークしていたのでは得点されるケースが随分あったのでシュートされぬため巧妙なオーディナリーファールをする。

攻撃している場合でも無駄なシュートは決してせず自信のないものは後へ戻しても次の攻撃に移る方が賢明である。それ故アタックホームエーションでも何度でも繰返しのきくものであることが必要である。繰返しのきくシステムは絶対必要ですが、これが可能になるのもオールランダーが必要となると思います。今迄のB.W.を見ても誰れ1人としてハンドリング、又はシュート力及び泳力のそなはった者が少ない点誠に残念です。一日も早く此の点頭の切りかえをしてF.W.なみのあつかいと注文をつけてしぼる必要があります。

ゾーンには大きく云って2通りあると思います。1つはG.K.に中央を守らせるのと、他の1つは真中は動かずサイドをG.K.にまかす場合とが考えられます。

又シュートする時丈けではなく途中でパスが通らぬ時とかタイミングが合はない時は戻すか横のパスを繰返してチャンスを持って攻撃に移ることが大切である。

フォーメーションはやはり最も簡単で誰れにもこなせるものであり、又行きづまりのないもの即ち円形の回転式の物が理想的ではないかと思ひます。

フローティングシステムもシュートの為ではなく攻撃の基点或は続行の基点(間をとるため)として利用すると非常に有効なときがある。

防禦圏縮少からマイボールになって速攻に移るのも日本選手にとって最良の攻撃法である。

唯この場合のパスはシュート以上に大切であり失敗すると逆に最大のピンチを招くから遠投力コントロールの正確さを要する。

出足を活かした敵ゴール前のスクリーンも非常に有効であるが、今度の大会及び遠征に於てもその様なプレーをするまで有利に味方の態勢が展開しなかったのが残念であった。併し今後も無理をしてその様な態勢にまでもって行く必要はないが、出来る範囲ではどしどしやるべきである。唯進路防衛は相当気を付けぬと厳しい。

マークチェンジの練習、つまり攻防練習の中にこれを考へる必要がある又マンツーマン・デフェンスも考へる必要があると思ひます。

以上の様にゲームを有利にマイペースに捲込む色々なフォーメーションもあると思うが、現在我々の力量からして通用するのは以上の様なゲーム運びであり有効なる早道であると思われる。

併し一番大切な事はヨーロッパ勢が非常に強い現状では出来る丈け総ゆる機会を利用して彼等の技術を学ぶ必要があり、多くの国際試合を経験する事により試合運びを体得すると共に精神面での強さを養ふ事が今後の日本水球技術を発展さす方向であると思ひれます。

平 泳 記 録 空 前 の 躍 進

本年度の世界水泳界は躍進目覚しいものがある。特に男子競泳では自由形長距離を除いては殆どの種目の世界新記録がアナウンスされた。その世界新記録のうち最高はアメリカ選手によって作られたもので、オリンピック東京大会を目指して強化に専念している日本にとっては、大いなる「峻しい道」を感じさせられる。

従来よりアメリカは28才より61才迄の少年の年令別大会を開き、幾多の予選を径た少年達が年令別全米選手権で技を競うとゆう仕組、昨年度の参加総数が80万人に達しているとのこと。昨年度迄中学生は大きな競技会に参加してはいけぬなど、ミミッチイ日本とは違い過ぎて情けなく、涙がこぼれる。

特に本年度躍進が顕著なのはオリンピック種目200m平泳で現在の世界公認記録2:36.5 T.ギャザコール(豪)

が史上10位となるとは誠に驚異の外はない。

参考のため9月7日までにわかった坂本氏調査による史上世界10傑を次に掲げて見る。(島田)

200m平泳史上10傑

1	C. ジャストレムスキー	(米)	2:29.6
2	P. へ イ ト	(〃)	2:34.5
3	K. ナ カ ソ ネ	(〃)	2:35.6
4	L. コ レ ス ニ コ フ	(ソ)	2:35.6
5	中 川 清	(日)	2:35.7
6	G. ト レ メ ワ ン	(米)	2:36.0
	ブ ロ コ ペ ン コ	(ソ)	2:36.0
8	P. フ ォ ガ ラ ジ ー	(米)	2:36.1
9	重 松 重 人	(日)	2:36.3
10	T. ギ ャ サ コ ール	(豪)	2:36.5

水球競技規則とその運営

— 重大な改正ルールとその処置 —

名 取 正 也

1961年度水球競技規則とその運営

本年度の水球競技規則は競技時間とメンバー交代とに大巾な変更があり、国際水連水球委員会の決定をみて本年4月より実施することになった。既に本年の4月始めの室内選手権よりこのルールを適用したが、以下変更されたルールの概要とこれに対応する処置を考へてみたい。

まづ現在迄のルールには、碼及び呎、吋が使はれておったのが、すべて米制に改められた。従ってフィールドの距離は、長さ30米以下20米以上、巾は20米以下8米以上であり、ゴールラインから、2米、4米線と計ることとなる。また1呎は0.3米と直し、3呎は1米とするので、ゴールの寸法は、ゴールポストの内側は3米、クロスバーの下は水深1.5米以上のときは水面迄0.9米、水深がこれより浅いときは水底から2.4米となり、クロスバーの材は、0.075米角とされている。

ボールの大きさは、周囲0.68米乃至0.71米とし、重量は、400g乃至450gとする。

旗は白、青共に35cm×20cmに、旗棒は70cm、ゴールチャップの旗は同型で棒は50cmとする。このようにすべてメートル制に収められた。

交代者の帽子は、1から7迄に続いて、8、9、10、11、とすること。

またレフェリーの権限についての第7条の規定が言葉を加へて、競技者がプール構内にある間の全時間中の行為に及ぼされることとした。

重要な第8条、時間の項は『競技時間は正味各5分間で4回とする。インターバルで両チームはサイドを交代され、各インターバルにおいて、各々3分間の休止が与えられる』と改まり、5分間の4コーナー制となったわけである。

次に第9条で、『チームは7人と交代者4人の競技者で構成される』とメンバーとしての交代者4名が加へられた。ゴールキーパーの第10条においては、49項が追加されて、ゴールキーパーの撥ね返したボールはスローとみなされること、またゴールキーパーは怪我での交代は今迄通りであり、更にインターバルでは他の競技者と交

代できる。

ゴールキーパーの動作で、敵側がフリースローから直接ゴールへ投じた場合、またはフリースロー球をゴールキーパーに返したとき、そのままゴールインした場合は、ゴールスロー、または、コーナースローとなるが、その時ゴールキーパーは球に動作し、触れても、ボールに触れた2人目とはならない。阻止することは認められているのである。これは前から解釈上はそうなおったが、文章が追加されて明瞭となった。

最後に僅かな字句の変更ではあるが、重要なものがある。それは、第18条ペナルティースローにおいて、従来の、『反則が競技続行のために退水を命ずる程重要でない場合は、反則者は退水させられない』として否定の方を例外としていたのを、今回は、『退水を命ずる程重要である場合は退水させられる』と反対の表現を用いている。これは、退水せずにペナルティースローを行う方が通常であって、特に反則を重く見た場合の外は退水をしてペナルティースローを行うことは無いというように変更されたと解釈すべきであろう。

以上変更のあった重要な点を述べてみたが、これにより実際運営上に種々新しい準備が必要である。まず、記録用紙は4節ゲーム用に改められ、メンバーも11名記入出来なければならない。そして交代を通知するための交代メンバー表も準備することが望ましい。

交代メンバーの提出は、一応そのチームの監督主将または監督が指名した代理者が、交代メンバー用紙に、交代する者、加わる者の帽子番号、氏名を明記して、成可くインターバルの初めにレフェリーに提出するようにしたい。用紙は次頁の如きものである。

記録用紙は今迄の様式を、4分して、メンバーは11名記入するようにし、各々のピリオドにて得点が合計され、最後に累計されるように改めて現在使用している。

また得点の掲示板も計時板も作り直さねばならない。

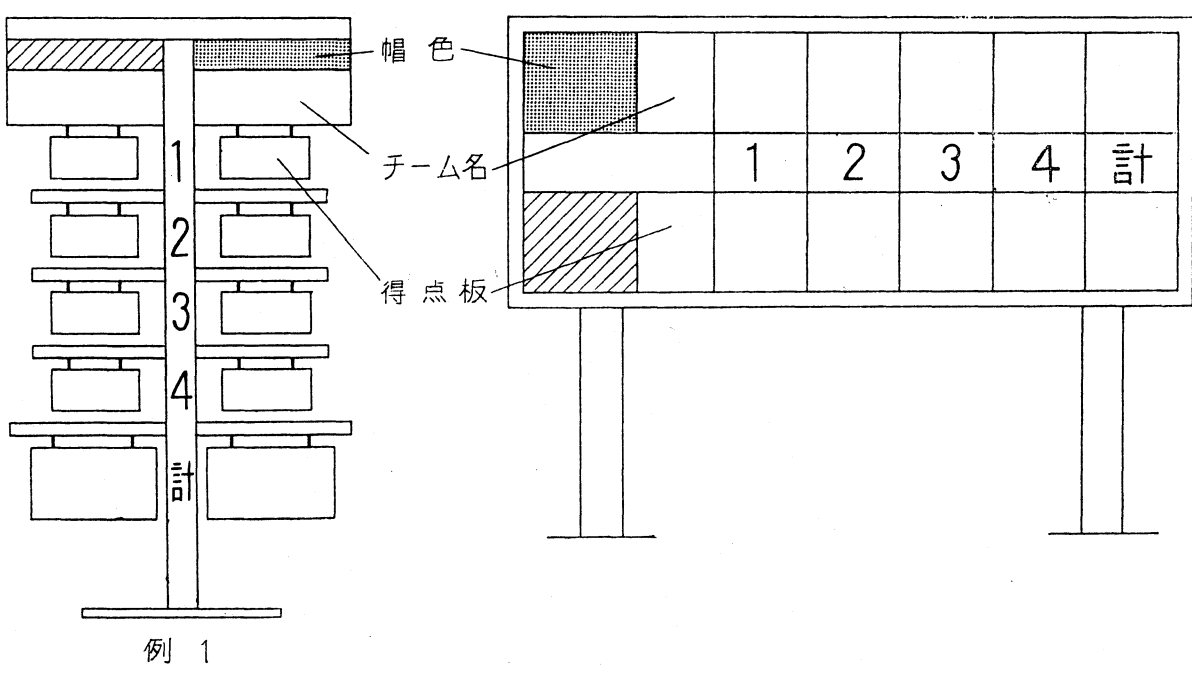
ルールの変更によりこのような施設を準備しなければならないが更にチームとして編成上、作戦上相当変化があるものと思われる。

チーム名		監督サイン		
番号	氏名	番号	氏名	

例 1

チーム名		監督サイン		
NO.	氏名	NO.	交代者氏名	

例 2

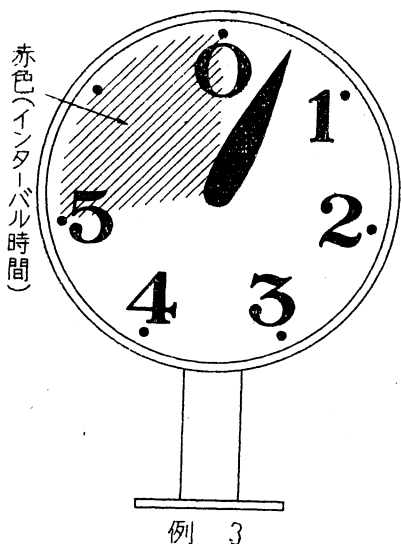


例 1

まずチームメンバーは、11名であることを認識して、交代4名を充分使いこなす監督又は主将の采配が必要である。現在迄の7名出たら最後迄そのメンバーで行うのに対し、半数以上がインターバルの度毎に交代出来て、しかもインターバルが3回あることは水球を面白くする上に大いに役立つことであろう。

次に5分間の4回戦というルールは、ゲームの様相を

大分変へるようになる。1回の時間が半分になったのであるから、得点に結びつくシステムの効果が1区切毎に重要なものになる。各節毎の得点は多くて7、8点であろうし、実力伯仲したチームであれば、1点を争うことにもなるので、その5分間に相手チームのシステムに対応する策を建て直すことは容易ではない。その反面に4節に分れ、交代が許されることは、各節毎にメンバ



一、作戦の変更も出来るのであるから、ベンチの作戦といふか、監督の手腕が大きく物をいうことになるのは明らかである。手駒を豊富に持ち、特色のあるコンビネーションを持ったFW或はBWを育て、意のままに動かすことが出来れば、此の本年度のルール改正は、水球競技界自体にも、観衆の側から見ても競技の奥行を増し、面白さを倍加し、水球の発展と底辺の拡大に役立つものと考へる。

私共はこのルールを早く消化して自分達のものとし、東京大会への努力が成果を挙げるよう心懸けねばならない。以上新ルールの説明と、これに対する私見を述べた次第である。

(筆者は本連盟常務理事・水球委員長)

東京大会に備えて

中部地区強化委員長 加藤 茂

東京オリンピック大会の成功は、日本の水泳チームが再び世界の強豪に、勝てるかどうかにかかっていると云っても差しつかへないでしょう。

水泳に関係している方々は勿論のこと、日本国民全体としても、大きな期待と共の感激を待ちのぞんでいることと思ひます。

そのことを考へると、吾々の使命は重大でもあり、必ず勝てるように全能力を発揮しなければなりません。

東京オリンピック強化本部が日本水連に設立されて、其の基本方針に基いて、各地方ブロックにおいても着々と強化体制が出来ておることは、誠に心強い限りです。

中部ブロックの概況を申し上げますと、地域的な実情と、特殊性から考へて下記のような編成にしました。

組織 本部長 加藤茂

副本部長、社本義信(東海水泳連合)

愛知、豊橋、岐阜、三重、各水泳連盟

副本部長、宮本秀夫(静岡水泳連合)

浜名湾、静岡、伊豆駿河湾、各水泳協会

副本部長、大崎卯藤久(北陸水泳連合)

石川、富山、福井、各水泳連盟

方針 日本水泳連盟強化本部の基本方針に則り、各連合の実体と、中部地区の実決に即した基本方針を確立し実行する。

計画

I 中部本部事業

8月4日～6日	早大合宿参加	滝実	選抜
8月6日	早大対中部	振甫	選抜
8月30日	中部リーダ講習会	岐阜	中学
10月～11月	秋期練習会	未定	中高

II 各連合共通事業

4月～8月	夏期競泳強化合宿練習会
12月末	冬期 " " "
3月末	春期 " " "

III 各連合の実状に適した自主強化事業

(1) 東海水泳連合

4月29日～5月7日	競泳強化合宿	下呂	50名
7月15日～8月13日	早大合宿参加	滝実	20名
1月上旬	中央合宿又東海合宿		20名
10月～3月	土、日曜日練習会		20名

(2) 北陸水泳連合

4月16日～30日	早大合宿参加	山代	5名
8月21日～25日	夏季合宿並		
	指導者研究会	高岡	39名

(3) 静岡水泳連合

7月下旬	夏季合宿練習会		未定
7月～3月	競泳強化研究会		未定
11月～11月			

本年度は以上の強化計画で進む予定としています。

強化方針なり、計画が立派に出来たととしても、其の裏付けが充分でない場合には、成果が問題となることと思えます。吾々が考えねばならぬことは、3年の間にどのような苦しい耐久力のつく練習方法を取り入れるかということが一番大切だと思えます。オーストラリアが、10年計画で、選手の育成と指導にあたって、苦しい効果のある練習方法を取り入れたことは御承知の通りです。

吾々はこれ以上の練習をして勝たねばなりません。東京オリンピックまでは、3年たらずしかありませんが、この短期間に優秀なる選手を育成するということは非常に難しいことと思えます。

然し、これをこのままの状態にしておいたならば、とても勝利を得ることは難しいのです。

そこで吾々は、3年間の中に10年以上の内容の充実した練習方法を考案しなければならぬと思えます。

先づ第1に、室内プールの活用により年間泳げるようにすることです。各地方においてはインドアプールがなく、温泉プールへ出かけて練習をしています。これも経済的な面と距離的な問題で困っております。

新しい室内プールを作るにしても東京大会までには、難しいと思えます。そこで手近に練習出来ると思えるのは、各地方にある自衛隊のプール利用であると思えます。ボイラーもあり、余分の熱も入れることも出来るようですから、冬期において15度前後の温水にしてもらえば、泳ぐことも出来るし、距離的にも、経済的にも、宿舎も、食事の面も心配はないようです。毎日通って訓練することも出来ると思えます。先の国会で防衛2法案が通過しておりますので、国際競技の面では積極的に協力することになっているようですから、このチャンスを逃すことなく考へるべきでしょう。水連本部が体協と力を合せて強力に押し進める必要があると思えます。

第2に考へることは、毎日練習時間を増大することです。今迄の練習を見ますと、各選手の練習時間は、合宿中は別としても、1日に何時間練習していることでしょうか。1時間も練習出来ている選手が何人あるでしょう。

自分が泳いでいる時間よりも陸上で遊んでいる時間の方がより多かったように思えます。この遊んでいる時間を有効に使うことを考へてみたいと思えます。サーキットなりウエイトトレーニングなどで水泳に必要な筋肉が養成出来る練習プログラムに切り変へることが必要です。

基本的な体力も出来て1時間の訓練内容が2時間とか3時間になることと思えます。勿論泳ぐ時間を長くする様にプログラムを組むべきであり、すぐれた泳法に改良することか必要です。緊張度の高いインターバル練習法

を取り入れれば効果は必ずあると思えます。

第3に云へることは寝ている時間以外は水泳の強化の事を考へてはどうかと言うことです。

凡ての時間を、日常の生活の運び方においても、何か水泳の強化になる運動、動作に切り変へることが必要です。

それが1年中を通じての強化になることと信じています。記録を向上させると云うことは、シーズン中ではたいてい上るものでなく、むしろ冬期における選手の心掛と、日常生活の中にその選手が強くなる要素が多分にあるように思はれます。

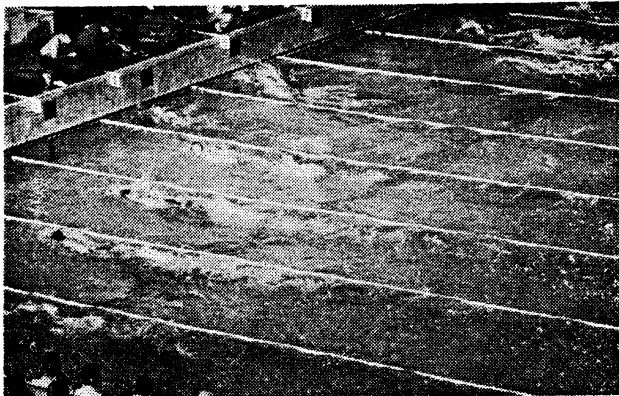
以上の面から考へると、年間を如何に有効にトレーニングするかということにもなります。アウトシーズンでは室内プールを利用し併せて基本的な体力の向上を図り、シーズン中では今迄よりも多くの練習時間を持つことが出来たならば、訓練する時間は必然的に5倍位になり、強化の面では大いに役立つものと思えます。あくまで栄養的な補給と、体調には最善の注意を払うことが必要です。

豪州では選手とコーチが一体となって練習をすることが出来ているようですが、日本では選手何名にコーチ1名という状態です。それだけの選手を見ることは仲々難しいと思はれます。日本では各地水連の組織力があるのですからそれらを有効に使って、コーチを凡ゆる面でエンジョイ出来るように努力すればコーチも自信と信念をもって尚1層熱が入ることと思えます。その自信と信念が選手を強くしてくれる原動力です。選手とコーチと組織力とで総合的な力を発揮して東京オリンピックへ邁進したいものです。

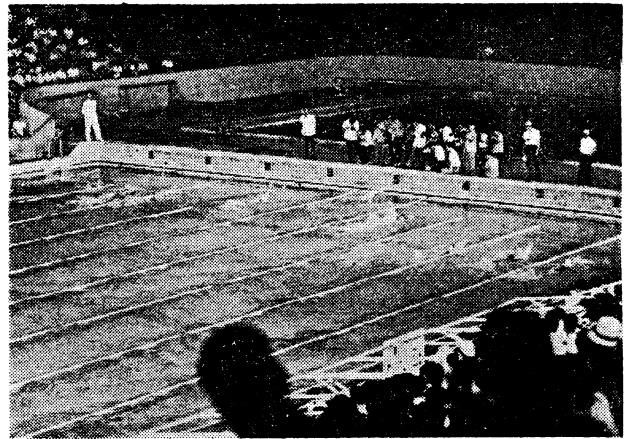
— (30頁より続く) —

- (ハ) 申込締切 8月17日(木) 正午必着のこと
5. 宿舎 主管団体に於て準備する
申込の際 別紙に滞在期間、人員、到着予定時刻を明記のこと。
6. 経費 主催者に於て次の通り負担する。
 - (イ) 参加者 各都道府県学校所在地よりの往復汽車賃(300 軒以上急行料金を含む)の実費及び3泊3日間の宿泊料(主食各自負担、男1日6合、女5合)
 - (ロ) 引卒者 参加者の学校1名往復汽車賃(2等実費) 300 軒以上急行料金及び3泊3日間の宿泊料(主食各自負担)
 - (ハ) 沖縄からの参加者は九州地区水泳教室よりの往復汽車賃(参加者に同じ)及び宿泊料は5日増とする。

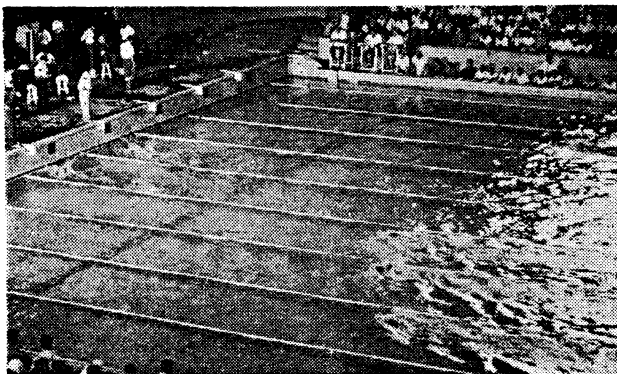
昭和36年度日本選手権大会



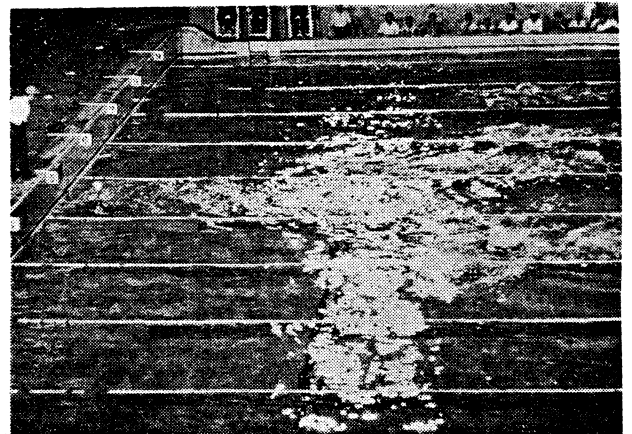
1500m決勝 100mのターン
コース⑨浦, ⑧梅本, ⑦坂元, ⑥サアリ, ⑤山中,
④松木, ③佐々木, ②庄司, ①佐原



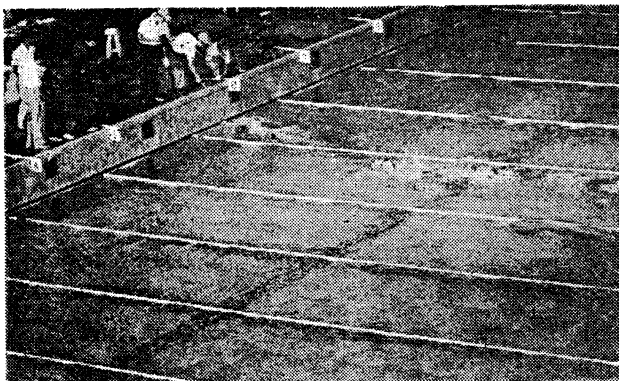
女子200m背泳 50mターン
コース⑨山中, ⑧岡田, ⑦松元, ⑥四本, ⑤田中,
④ニイオ, ③中島, ②江原, ①浦上



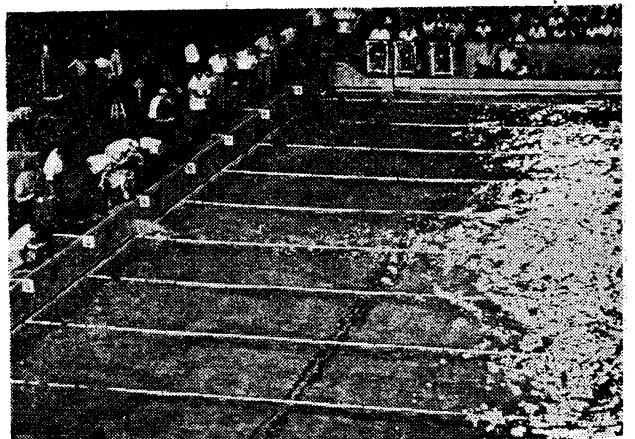
400mのターン



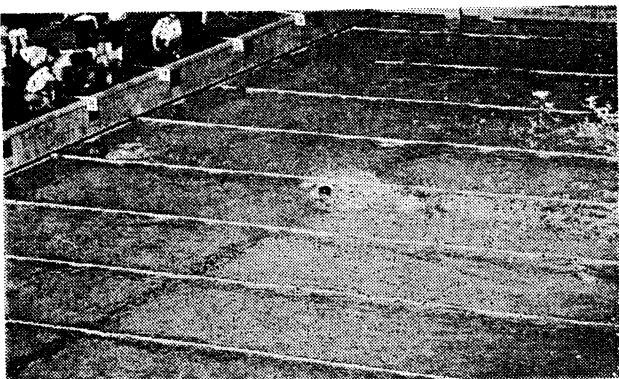
100mのターン
7コース 田中嬢



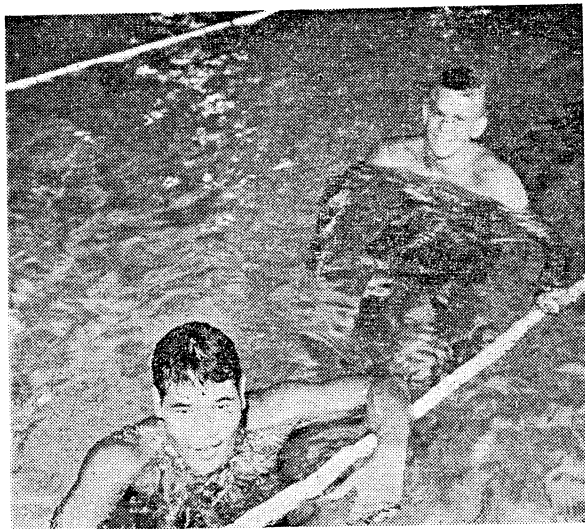
1400mターン 手前山中, 6コース サアリ



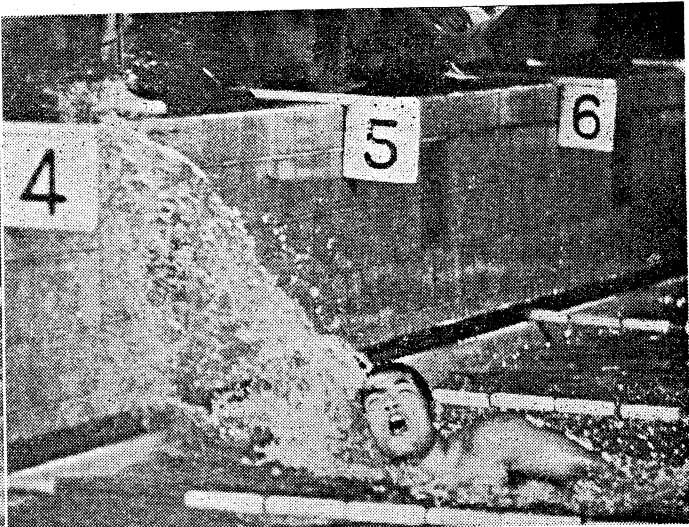
ゴール 田中嬢世界新成る



ゴール手前より 山中, サアリ選手

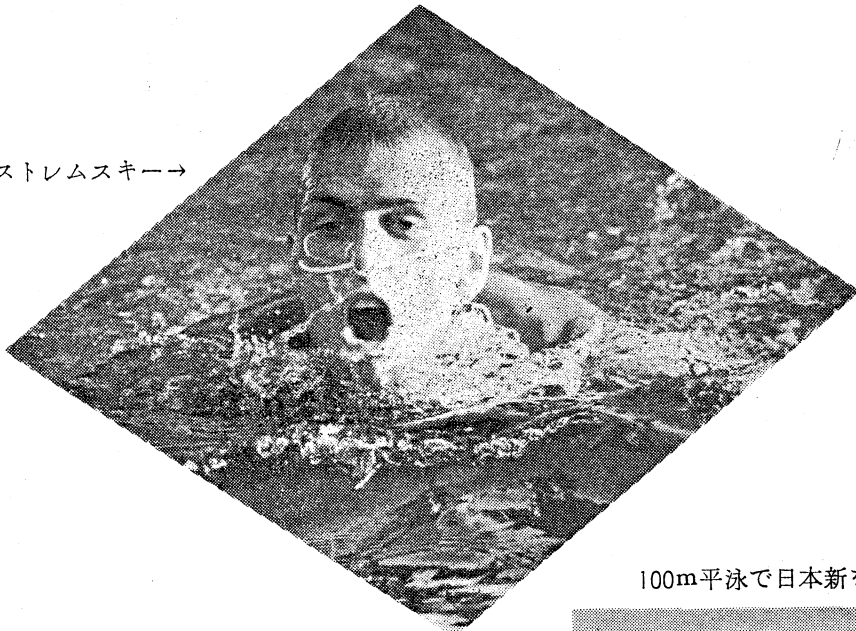


1500m決勝の激闘を終えて
サアリと山中の両選手



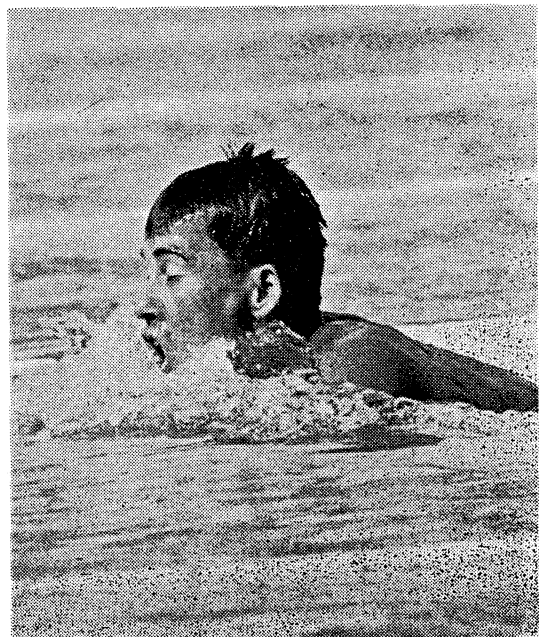
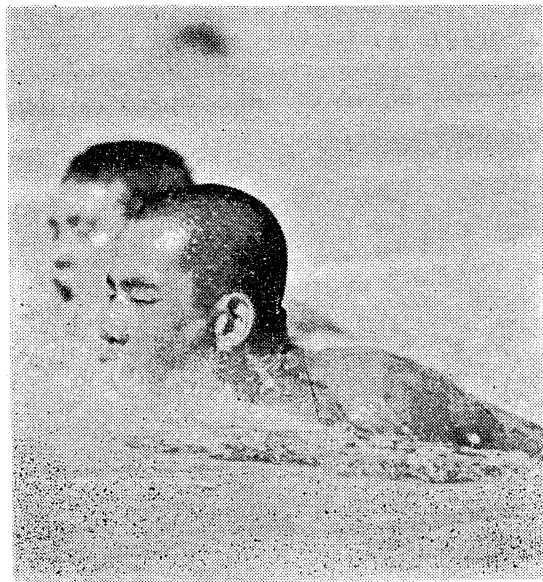
400m自由形決勝 山中選手のゴール・イン

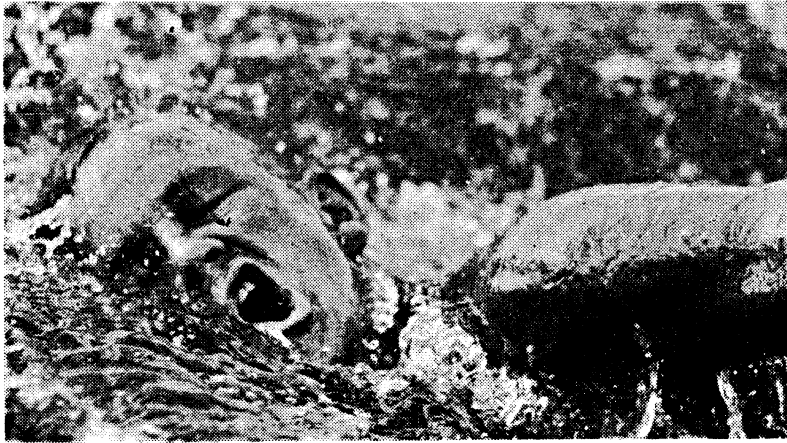
C.ジャストレムスキー→



100m平泳で日本新を出した中川君

力泳する松本（手前），敷石（後方）



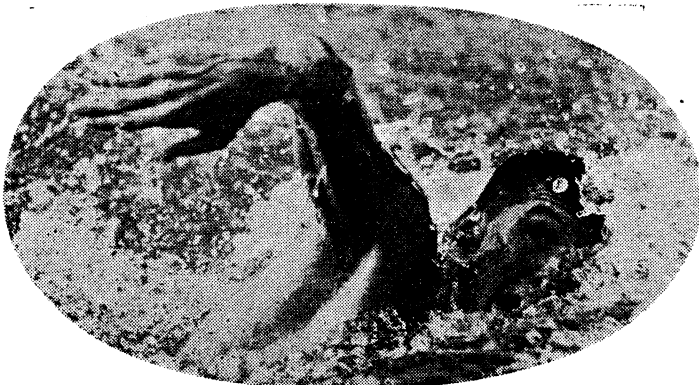


R. サアリ選手

200m 自由形決勝
左より S. クラーク (5位),
藤本 (1位), 福井 (2位)

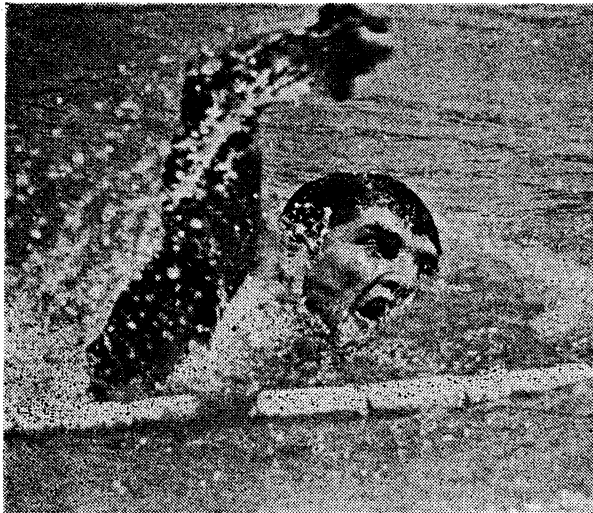


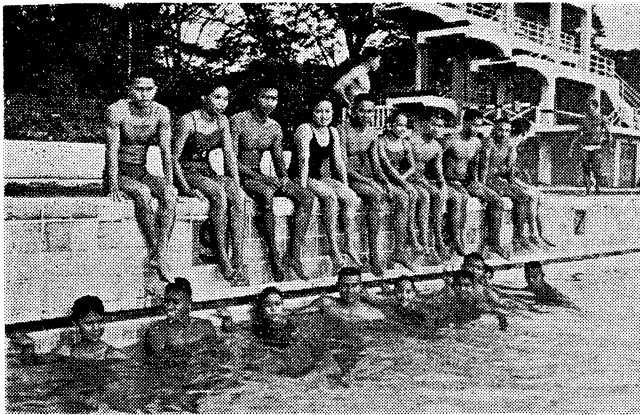
S. クラーク選手



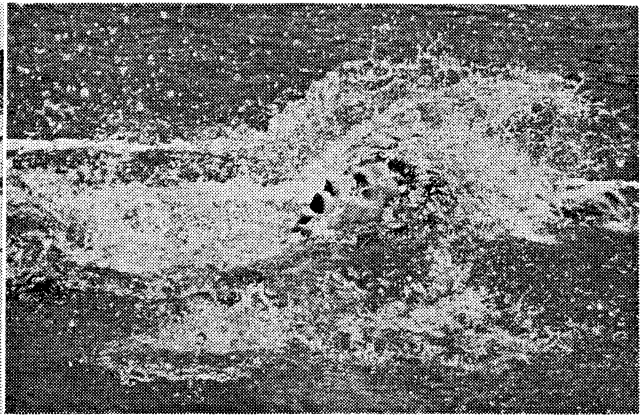
ドス・サントス選手

L. A. ニコロオ選手

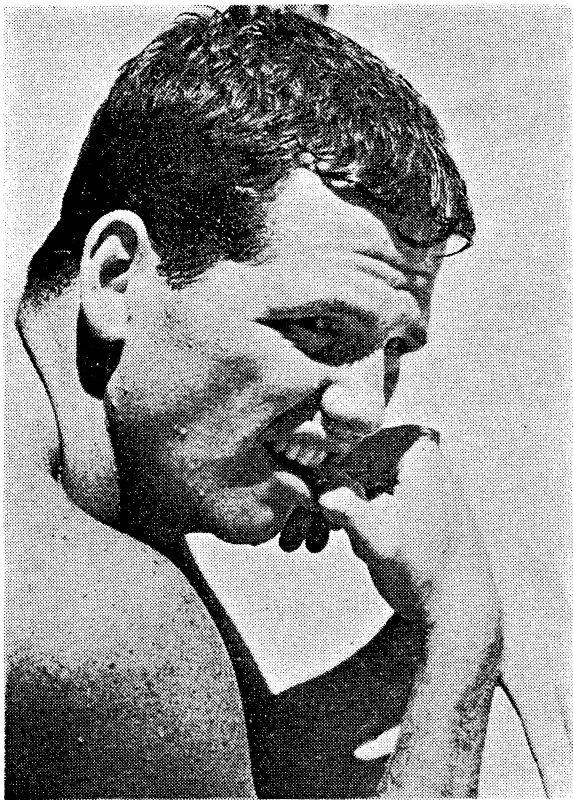




大挙参加したインドネシアチーム



T.ストック選手



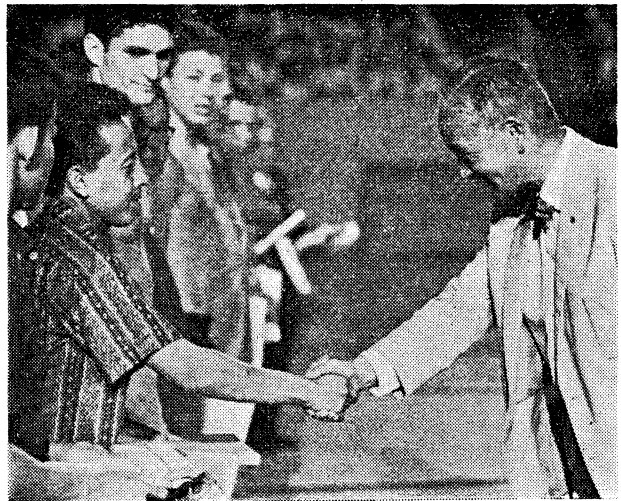
↑ M.トロイ選手



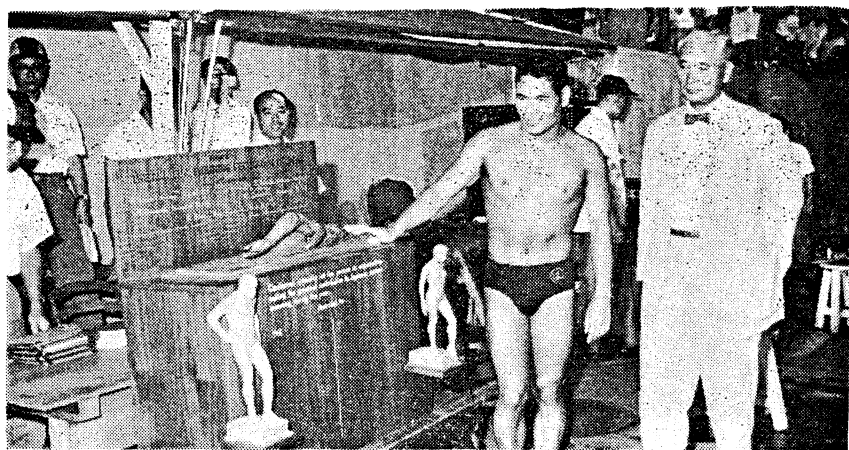
↑ 世界記録証を受けた田中聡子嬢

↓ 高石会長と握手するアメリカチーム監督ペップ
中央は根上専務理事

↓ 会長とインドネシアチーム代表



ホッピング氏より寄贈の
トロフィーを前にして会
長と山中選手 →



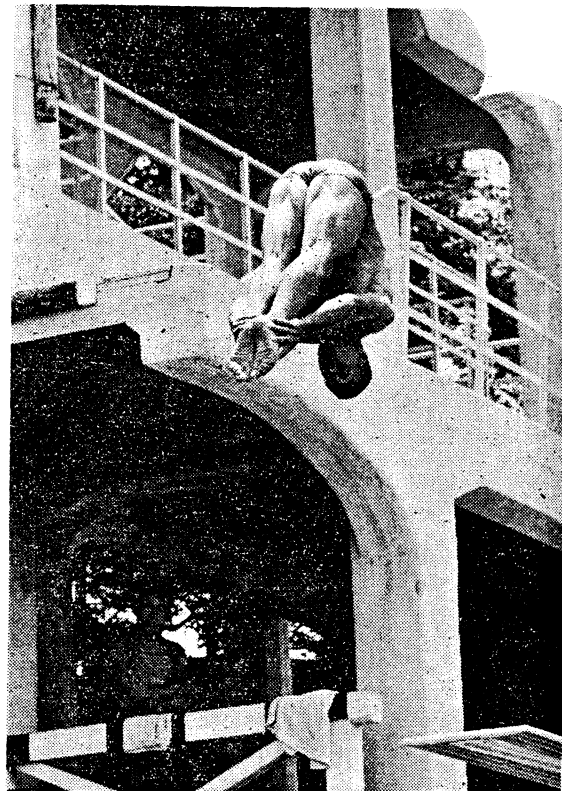
↓ T.ゴンブ選手の高飛込



女子100m, 200m平泳でともに優勝した
田上和子嬢 (八代三中)



↓ 飛板飛込のT.ゴンブ選手



日米飛込陣
↓ 左より角倉, 渡辺, 津谷, ゴンブ, 金戸, 田原

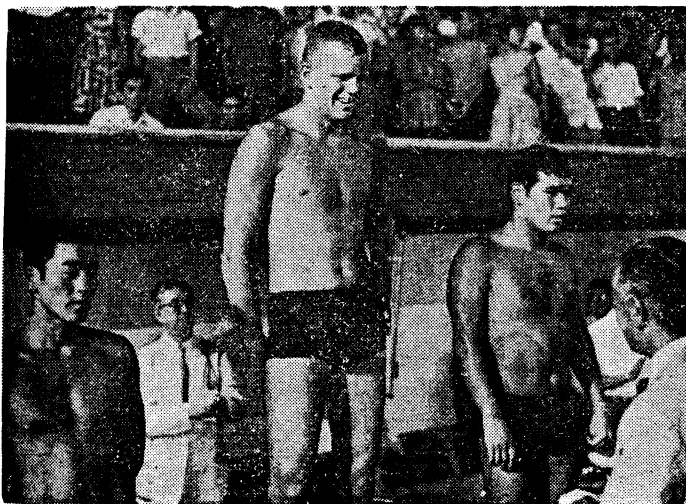




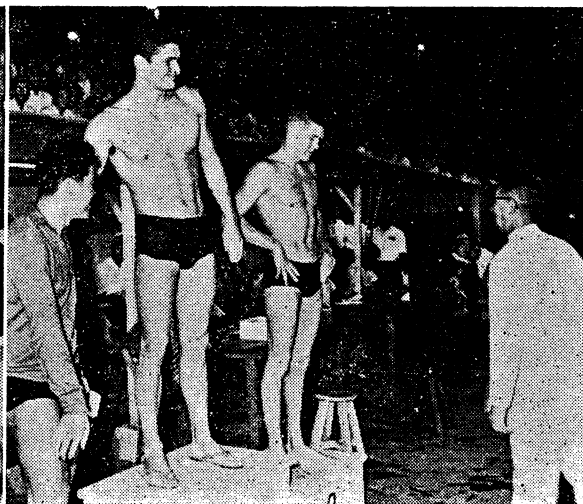
兵藤さん親子



800m自由形に日本新記録をマークしたトリオ
左より早川(富士中), 芝原(旭化成), 木村(筑紫)
左端はR.サアリ選手



1500m自由形決勝の表彰
左より松木(3位) R.サアリ(1位) 山中(2位)



↑ 100m自由形決勝の表彰台 左より石原(3位)
M.ドス・サントス(1位) S.クラーク(2位)
↓ スポートニークのオルゴールを贈るソ連コーチと会長

↓ 観戦する両ソ連コーチ



水 連 便 り

“全国中学生選抜大会の開催”

“インターミドル”この言葉こそ日本水泳界にとって長い間の夢であり、悲願であったものはない。かつて、オリンピックにそして世界水泳界に輝やかしい名声をあげた日本水泳界の先達は、“インターミドル”により鍛えられ、これを登竜門としてたくましく成長していったことは周知のとおりである。

敗戦による学制改革は、幾多の変革を齎したが、就中文部次官通達に基く中学生の県外試合禁止措置により最も大きな影響を受けたものは、まさしく“水泳”であったことは今更何言を要しないであろう。本年3月待望の高石会長が実現し、根上、小池両氏以下実行力ある人達が、水連の表舞台に出てこられてからは、次々と強力な施策が打出されてきたが、なかでも次官通達の撤廃乃至緩和措置に対しては、積極的に対策を講ぜられた結果、6月中旬“水泳についてのみは無条件で全国大会の参加を認める”旨の次官通達が発出されるに至り、遂に今回第1回全国中学生選抜大会の開催の運びとなったことは、水連関係者および水泳愛好者各位とともにまことに同慶に堪えない次第であり、会長初め関係者の異常な熱意とご努力に対しては衷心より敬意を表する次第である。もとより全国大会と言っても、名称は選抜大会であり選手権大会とは銘は打たれていないが、これは種々な制約があったための止むをえない実情に因るものであって、実質的には内容その他から言って、選手権大会と同様である。これで水泳層の底辺は名実ともに充実し伸張されるであろうことは、期して疑いないものとする。

さらにこれにより水連の事業主体も、日本選手権を頂点とし、日本高校を加へての3位1体の体系的組織化が完成を見たわけであるが、この上はこれをいかに充実させ筋金入りのものに育成できるかということは、今後関係者に与へられた重要な課題として注目に値しよう。しかし他面今回の措置が、水泳だけにその特殊性を認められた異例なものであっただけに、今後関係当局はもち論他のスポーツ団体からのチェックもあろうし、それだけ水連の責任は従前に増し加重されたことはいなめない事実である。

それはともかく、会長初め関係者が文部当局を初め中体連、校長会、教育委員会等関係各機関との困難な折衝を通じここまで持ってこられた努力は並大抵のものではなかったものとする。時あたかも待望久しき東京オリンピック大会を3年後に控えた今日、時期としては多

少遅きに失した感がなくもないが、若い少年達にとって泳ぐべき対象と機会が晴れて与えられた以上、適切、有効な指導が加えられるならば、今後の成果は期して待つべきものがあることは言を待たないであろう。

“機械自動審判装置の技術的研究”

—— 三方式の検討進む ——

自動審判装置の実用化については、ローマ大会における男子100m自由形決勝における紛議のこともあり、水連施設委員会においては、先般来より鋭意検討を進めているが、この程次の3方式による技術的検討が現在進められていることが、去る5月18日の常務理事会において深谷施設委員長より中間的な報告があった。

1. 写真による判定

日大芸術学部長渡辺教授、山口シネマの両者に研究を依頼している。補助的使用は可能と思われるが、相当検討の余地があるものと考えられる。

2. 光式判定装置

デカトン・タイマーの製作会社である医理学研究所の真島氏に研究を依頼している。これは光源より赤外線または紫外線を放出し、これをフォト・トランジスターで受け、この光のカーテンを人体の1部で切る場合、これをタッチと考える方法で、近く実験に移す予定である。

3. 音響式判定装置

ジュワイ式およびチタバリ式による音響判定装置の試験を、沖電気工業K.K.塘塘師長に依頼している。これは手掌、指先き、爪先き、水衝作用等によって音響板に伝わる電圧変化の状態を知る方法で、これが自動判定装置としての実用化につとめている。

“通信競技大会は発展的解消へ”

別項のとおり、今般関係者の努力により本年8月第1回全国中学生選抜大会が開催されることになったが、これを契機として過去6年にわたり朝日新聞社の後援のもとに行われてきた中学生通信競技大会は廃止されることになった。この問題については、去る6月30日開かれた常務理事会において存続か否かにつき審議したが、結局全国大会の実施を見た現在通信競技の開催は無意味な存在となるので、この際廃止することに踏切った次第である。従って通信競技がなくなる結果、各都道府県で行われた競技会は、当該都道府県競技会だけとなり、実質上の府県予選の形をとることとなった。なお、廃止までの経緯につき簡単に記述すれば次のとおりである。

今春来より中学全国大会開催のため準備が進められていた頃までは、通信競技はもち論存置してゆく計画であ

ったが、その後全国大会の実施がほぼ見透しがついたので、通信競技を府県大会と兼て行うべく要項の改正を行い常務理事会の審議を一応了した次第である。その後に至り執行部と朝日新聞社の代表者が会見した際、同社側より本年度より開始される中学全国選抜大会に是非後援致したい、若しこれが不可能ならば通信競技の後援を打ち切りたいとの申出があった。水連本部としては、既に実施要項も決定済みであり、全国大会の後援機関としては文部省、中学校長会、教育長協議会、NHKの4機関以外は後援は許さない方針を決めていたが、同社側の申入れは通信競技大会の存廃にも係る問題でもあるので、急きよ改めて常務理事会を開き本件の可否につき審議した。結論的に言へば、朝日新聞社の過去6ヵ年にわたる人的、財政的な負担に対しては、水連としてまことに感謝に堪えないが、NHKは民間企業体とは一応別個に考えるということで中体連とも了解済であること、また全国選抜大会は名目は別として実質的には選手権大会と同様であり、水連主催の選手権大会は私企業の後援は求めない方針を確立していることおよびNHKを含めたのは唯一の公共企業体であることなどの理由により朝日側の申出はことわることと決定した。従ってこの結果前述の同社側の申入れの次第もあり、この際通信競技大会は全国大会が認められた以上、無意味な存在となるので本年から廃止することとなった次第である。

“ソ連水泳コーチ来日す、”

今般日・ソスポーツ交流計画の一環として、ソ連の水泳コーチであるクリューコフ・ニコライ・ニクハイロノビッチ(36才)体育連盟競技会勤務員とナバトリコワ・マイナヤコフレフナ(36才)中央体育研究所員の両氏が、7月20日来日した。両氏は日本選手権大会を中心に約1ヵ月間日本に滞在し、日本水泳界の実情を視察することになっている。なお、両氏に対するお世話役としては大阪大学の松本博士に委嘱することとなっている。

“国体水泳準備状況進む、”

第16回国民体育大会夏季大会は9月14日から17日まで、福島県会津若松市において開催されるが、周知のとおり夏季大会が東北地方で行われるのは今回が初めてであり、各方面からその成果が期待されている。同市の実行委員会は早くから準備に着手し、7月中には競泳、水球、飛込各プールとも殆んど完成し開会を待つのみとなっている。しかし時期が9月中旬ではあり、気温の低下、水温の調整等種々難点と思われていた問題も多かったが、気象状況は統計上からもさほどではなくまたプールの設計、構造も本部深谷委員長の適切な指導と地元の

熱意により立派なものが完成されたようである。ともかく東北地方で行われる初の夏季大会ではあるが、昨年の熊本大会に負けられないよう立派な成果が得られるよう祈りたい。

“米国ジュニア選手来日す、”

今回水泳連盟は中学生強化の一環として読売新聞社の後援により米国ジュニアのトップクラス男女4名を招聘した。氏名は次のとおりである。

ドンナ・デ・パロナ(女)

ケリー・ハインズ(女)

ディック・ロス(男)

トム・シヤミソン(男)

コーチ兼シヤペロンは、ローズマリー・ダウソン夫人。

これらのジュニア選手は、米国AAUの南太平洋協会所属のアマチュアとして登録され、全米でトップクラスの少年少女であるが、なかでもドンナ・デ・パロナ嬢(14才)は、ローマ大会にも出場したほか現在女子400m個人メドレーの世界記録(5:36.5)保持者である。一行は東京都民大会を皮切りに横浜、名古屋、天理、大阪、高岡の各地で日本の中学生の親善競技会に出席し、7月16日羽田発帰国した。4選手の来日は東京大会を3年後に控えた現在日本の中学生にとりこの上ない刺戟を与へたものといへよう。

“渡米高校選手決定す、”

8月18日から3日間ロサンゼルスで開かれる全米屋外選手権大会に出場する高校選手は7月30日夜の選考委員会において別項のとおり決定した。監督、コーチ、マネジャーは準備のためさきに決定済みであった。

“AAU招待選手、”

さきに8月18日から開かれる全米屋外選手権にAAUより山中毅選手ほか1名を招待する旨申出があったが、7月30日夜の選考委員会において、山中選手ほか1名は次のとおり平泳の松本健次郎選手(佐伯鶴城高)と決定した。

山中毅(大洋漁業K.K.)

松本健次郎(佐伯鶴城高)

“ユニバーシアード大会出場選手決定す、”

8月25日からブルガリアのソフィヤで開催されるユニバーシアード大会へ出場する競泳、飛込2、および欧州遠征(同大会にも出場)の水球11選手は、7月30日の選考委員会において別項のとおり決定した。

日本選手権大会に学ぶ

日本水泳連盟が招いた外国選手は、噂どおりの強味とすばらしい泳ぎをみせ、東京オリンピックをめざす日本の若い人たちに大きな刺激を与えるとともに強化面でもたしかに役立ったものがあるものとする。もち論、彼らの個々につき分析すれば種々意見もあろうが、おそろしく速いピッチとスタミナの配分の妙など手本とするに足るものが多かったように感じる。

レースの結果は、200mバタフライと200mと400mの自由形を除く7種目をアメリカなど招待選手にタイトルをさらわれた。背泳のストック、平泳のジャストレムスキー、自由形のサントス、それに山中を破って一躍スターダムにのしあがったサアリなどは、若さにまかせた力量感あふれるたくましい泳ぎをみせ実力の程を遺憾なく発揮したことは見事であった。きたえあげた筋肉がそのまま躍動するかのようなジャストレムスキーの泳ぎは、ピッチと体力をうまくミックスさせた芸術品ともいへようか。招いた選手は総体的に小がらであり日本の選手とそう大して違わないだけに示唆されるものがあるような気がする。それにしても南米のホープ、ドス・サントスは、年令的には峠を越した22才とはいえ、強大な体力とバネのきく泳ぎをみせたが、予選で出した55秒1は、ローマ大会(サントスは決勝3位)の優勝記録(55秒2)をしのご立派なものであり、底力の深さを思わせた。

ともかく招待選手は、トロイを除き実力十分というところだが、日本選手も若手、ベテランとも大いに活躍し関係者を喜ばせた。山中は1500mで16才の少年サアリに敗れはしたが、記録は彼の最高のものであるし、400mにしても他を寄せつけず果敢な泳ぎをみせたことは、期待に十分応えたものといえよう。その他藤本は世界史上3位の2分02秒9をものにし、中川、福島、吉無田、大崎、福井、石原などの中堅、ベテランが相次ぐ日本新や自己最高を出したことは大いに賞されよう。自由形陣は、若手がやや伸びなやんでいるなかで、平泳は高校、大学の新進がお家芸の一大事とばかり、ジャストレムスキーに喰いさがりそれぞれベスト記録をものにしたことは「平泳」健在を感じさせるものであった。特に石川、松本、山南らの高校生は東京大会用の新進として今後の活躍が大いに期待される。高校生の主力は今回アメリカへ派遣され、全米屋外選手権という檜舞台に出場することになったが、大いに腕を磨き技術を修得してきて貰いたい。

さらに特筆に値するのは、この大会で女子中学生がベ

テランを押へ堂々1位或は上位に入賞するという金字塔をうちたてたことである。女子の100m、200m平泳決勝とともに優勝した田上和子嬢(八代三中)、女子800m自由形(11分06秒2)で3位となった早川一枝嬢(富士中)であるが、東京大会を控え中学生強化対策が急がれている折柄これら中学生諸君への期待は大きい。どうか男女中学生の俊秀が大学日本選手権の覇権をかちとり、往時の夢を再現できる日の1日も早からんことを切望するものである。それにしてもアメリカ選手らの強さは何によってつくられたものか。専門的検討にまつとしても、要はきびしいトレーニング〜猛練習以外にはないようである。ともあれ、選手強化第1年度の日本選手権としては得るところが非常に多かったものとする。

(プールサイドから)

“来日米国ジュニア選手の記録、”

(女) ドナ・デバロナ (13才) パーケリーYMCA

世界記録 400m個人メドレー 5:36.5

昨年度世界ランキング 17位 100m自由形 1:04.3
6位 200m " 2:21.3
11位 400m " 4:58.9
9位 1500m " 20:18.2

ローマオリンピック 400m リレー予選第1泳者ラップ 1:06.5

その時の記録 4:18.9

全米屋外選手権 100m自由形 3位 1:04.6
200m " 4位 2:21.3
400m " 3位 5:01.0

◎ 400m個人メドレー優勝 5:36.5

エイシグループ

長水路 50y自由形 11・12才 ① 27.1(新)
50y背泳 " ① 31.5(")
50y平泳 " ④ 37.4
50yバタフライ " ① 29.3(新)
200yリレー " ② 第1泳者
200m個人メドレー " ① 2:48.6(新)

(男) トム・ジャミソン (13~14才) フレノスYMCA

長水路 50y自由形 13~14才 ② 24.8
100y " " ② 55.3 } 1960
110y " " ② 59.7 }
50m自由形 11~12才 28.4---1959

(男) ディク・ロス (13才) フレモントヒルズ

55y自由形 11~12才 ① 30.1(新)
55y背泳 " ⑤ 37.0
55y平泳 " ① 39.6(新)
50m平泳 " ② 38.7
55yバタフライ " ③ 33.4

全国中学生選抜大会等の実施要項決定す

水泳連盟は愈々3年後に迫まった東京大会への強化を期するため、かねてより中学生対策につき関係機関と折衝協議を続けていたが、この程第一回全国選抜大会等各種大会の実施要項を決定し、7月29日開催される代議員会に報告する運びとなった。

特に変わった点は、過去6回にわたって行われてきた通信競技を発展的に解消して都道府県大会とし、水泳教室

(実質的な地区大会)を経て全国選抜大会に出場せしめることとしたことであり、終戦以来中学生の県外試合が禁止されていた制限はこれにより大きく変革したことがある。

なお、男子1500m自由形が登場したことは、東京大会への積極的意欲がうかがわれ注目に値する。

都道府県中学校水泳競技大会

主催 日本水泳連盟 全国中学校体育連盟
後援 文部省、全日本中学校々長会、全国教育委員長協議会、日本放送協会(申請中)
主管 日本水泳連盟加盟団体、都道府県教育委員会、都道府県中学校体育連盟

一、期日 昭和36年8月6日(日)
同日1~4時NHKのテレビ、ラジオを通じて全国各地域に放送の予定

二、場所① 各都府県は1会場とし主管団体で協議決定し日本水泳連盟に通知する。
但、北海道は3会場とする。
期日会場は決定次第おそくとも7月20日迄に日本水泳連盟迄報告の事

三、競技種目

男子	自由形	100m, 200m, 400m, 1500m
	平泳	100m, 200m
	バタフライ	100m, 200m
	背泳	100m, 200m
	リレー	800m, 400mメドレー
女子	自由形	100m, 200m, 400m
	平泳	100m, 200m
	バタフライ	50m, 100m
	背泳	50m, 100m
	リレー	400m, 400mメドレー

四、参加資格

中学校生徒で主管団体および生徒の在籍する学校長の認める日本国籍(沖縄を含む)の者。

五、申込制限

① 1人2種目、1種目1校3名以内。(リレーを除く)

六、申込方法

① 参加者は申込書2通(学年、生年月日明記)を7月27日(木)正午必着にて、主管団体に提出する。(学校毎に取纏める)

② 申込みを受けた主管団体は、申込書各1通を一括して7月30日必着にて日本水泳連盟に送附すること。

七、表彰

男女別各種目の入賞者中3位迄に賞品6位迄に賞状を、および男子、女子優勝校に優勝旗を授与して表彰する。その優勝の決定は、1位7点、2位5点、……6位1点として得点の多い学校を優勝とする。得点同数の場合はリレーの順位により、決らない場合は入賞者の多い学校を上位とする。リレーは4名として計算する。尚、きまらない場合は1位の数の多い方を上位とする。(以下6位迄)

八、補助金 一会場に金2万円也を補助する。

九、地区水泳教室および全国大会への参加資格

1. 水泳教室

本大会各種目決勝において下記記録を突破した者およびこれに続く上位3名(リレーは1チーム)は主管団体の推薦を得て地区水泳教室に参加できる。

2. 全国大会

① 本大会各種目決勝において下記記録を突破した者は同種目に限り主管団体の推薦を得て全国大会に参加することができる。

② 地区水泳教室において定められたる資格を得て主管団体の推薦を受けた者(註、水泳教室要項参照のこと)

		男子	女子
自由形	100m	1:04.0	1:14.0
	200m	2:20.0	2:44.0

	400m	5:05.0	6:00.0
	1500m	19:40.0	—
平 泳	100m	1:19.0	1:32.0
	200m	2:53.0	3:15.0
バタフライ	50m	—	38.0
	100m	1:12.0	1:27.0
	200m	2:45.0	—
背 泳	50m	—	39.0
	100m	1:16.0	1:25.0
	200m	2:45.0	—
リレー	400m	—	5:20.0

	800m	9:40.0	—
メドレー	400m	5:00.0	5:53.0

(註) 記録は50mプールを基準としているので25mプールの場合は折返し1回毎に1秒を加算する。
(加算は日本水泳連盟において行う)

十、大会記録の報告

日本水泳連盟加盟団体は本大会成績の詳細をプログラムを添えて競技終了後速かに速達便にて日本水泳連盟え(学年別を明記)報告すること。尚、大会終了後直ちにプログラムに記録を記入した略式の報告書をNHK担当員を通じて日本水泳連盟に送附のこと。以上

第 9 回 水 泳 教 室

- 主 催** 日本水泳連盟 全国中学校体育連盟
- 後 援** 文部省 全日本中学校々長会 全国教育委員長協議会 日本放送協会(申請中)
- 主 管** 都道府県教育委員会 各地区日本水泳連盟加盟団体 各地区中学校体育連盟
- 一、期 日** 8月13日(日)を中心とした3日間(期間中随時放送の予定)
- 二、場 所**
- 北海道
 - 東 北 8月12, 13, 14日
秋田県八橋プール
 - 関 東 8月14, 15, 16日
埼玉県大宮県営プール
 - 中 部 8月14, 15, 16日
富山県高岡プール
 - 近 畿 8月16, 17日
奈良県天理プール
 - 中 国 3月14, 15, 16日
広島県
 - 四 国 8月10, 11, 12日
高知県高知市プール
 - 九 州 8月10, 11, 12日
大分県別府温泉プール

三、地域区分

- 北海道 (全域)
- 東 北 青森, 秋田, 岩手, 山形, 宮城, 福島, 新潟
- 関 東 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野
- 中 部 静岡, 愛知, 三重, 岐阜, 福

井, 石川, 富山

- 近 畿 滋賀, 京都, 大阪, 和歌山, 奈良, 兵庫
- 中 国 岡山, 広島, 山口, 鳥取, 島根
- 四 国 徳島, 香川, 愛媛, 高知
- 九 州 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 鹿児島, 宮崎, 大分, 及び沖縄

四、指導員

各地区強化委員長 主管団体指導員

五、参加者

各都道府県大会で標準記録を突破した者及びこれに続く決勝上位3名(但, リレーは1チーム)

六、申込規定

参加者は所定の申込書に次の書類を添附して申込むこと。

1. 学校長の推薦書
2. 健康診断書

但、過去1ケ年以内の陽転者及び健康に不安ある者は除く

七、引卒者

各都道府県教育委員会関係者又は中学校教員

八、申込期日

8月 日必着

九、申込場所

申込書2通を作製し、1通を日本水泳連盟、他の1通を各地区主管団体に送る。

- ① 日本水泳連盟
東京都千代田区丸ノ内2の2丸ビル 722区
- ② イ, 北海道地区

- ロ、東北地区
- ハ、関東地区
- ニ、中部地区
- ホ、近畿地区
- ヘ、中国地区
- ト、四国地区
- チ、九州地区

外に通用されるものである。

リレーは③による

		男子	女子
自由形	100m	1:08.0	1:23.0
	200m	2:35.0	3:10.0
	400m	5:30.0	6:48.0
	1500m	22:10.0	—
平 泳	100m	1:25.0	1:39.0
	200m	3:03.0	3:31.0
バタフライ	50m	—	45.0
	100m	1:20.0	1:47.0
	200m	3:05.0	—
	背 泳	50m	—
	100m	1:23.0	1:35.0
	200m	3:00.0	—
リレー	400m	—	6:00.0
	800m	10:50.0	—
メドレー	400m	5:24.0	6:36.0

十、集合期日及び時刻

十一、集合場所

十二、解散

十三、参加費用

旅費、宿泊費共に参加者の負担とする。但、日本水泳連盟に於て1人当600円の参加費を補助する。

十四、参加者携行品

筆記具、水褌、水着、タオル、運動衣上下、運動靴、ホマキ、洗面用具、着替、風呂敷（所持品には氏名を書き入れておくこと）

十五、日課（基準）

起床 7,00 体操 7,10 朝食 7,30
 実技 9,00 ~ 12,00 昼食 12,30
 実技 13,30 ~ 18,00 夕食 18,30
 学科 20,00 ~ 21,00 就寝 21,30

十六、表彰

この教室に於て優秀な成績を収めた個人（記録会に於て優秀な記録を出した者、各種目6名但しリレーは3組）賞品及び賞状を、及び個人表彰者多数を出した学校（各地区毎に男女別3校）を表彰する。

十七、全国大会への参加資格について

この教室の記録会に於て次の成績を収めた者を主管団体（地区強化委員長及主管団体指導員）は直ちに全国大会の参加適格者として、氏名、記録を各都道府県所轄主管団体に通知する。

通知を受けたその主管団体は右適格者を全国大会参加者として、日本水泳連盟に追加推薦する。

① 記録会に於て各種目上位3名（各都道府県大会に於て標準記録を突破既に全国大会参加資格ある者は除く）

② ①に次ぐ上位3名までの者で次の記録を突破した者は更に追加できる。但、1種目追加できる数は3名以名である。

③ リレーについては各種目上位2チームとし記録突破によって追加できるのは1チームとする。1地区3チームを越えてはならない。

水泳教室) この標準記録は府県大会で既に全国大会標準記録) 出場資格を得た者及び水泳教室記録会各種目3位迄（既に資格ある者を除く）以

(例)

1, 2位は既に府県大会に於て1:04.0以上をマークして全国大会に出場する資格あるものとする。

水泳教室記録会決勝成績

100m自由形

- 1. 1:03.8
- 2. 1:04.8
- 3. 1:05.5
- 4. 1:06.8
- 5. 1:07.8
- 6. 1:08.0
- 7. 1:08.0
- 8. 1:08.4

}府県大会で資格あり

}上位3名で資格を①により獲得

}②により資格獲得

但、1500m自由形は順位を問わず24分を越えた者は参加資格を失う。

リレーは出場資格を取得した時と同一メンバーで申込むものとする。

十八、本水泳教室記録会の結果の報告は都道府県大会の場合と同様に記録会終了後直ちにNHK職員を通じてプログラムに結果を記入した略式報告書を提出すると共に正式報告書にプログラムを添えたものを日本水泳連盟宛速達便で送附すること。

以上

第 1 回 全 国 中 学 生 選 抜 水 泳 競 技 大 会

主 催 日本水泳連盟 全国中学校体育連盟
 後 援 文部省 全日本中学校長々会 全国教育委員
 員長協議会 日本放送協会（申請中）
 主 管 静岡県教育委員会 浜名湾游泳協会 静岡
 県中学校体育連盟

一、期 日 昭和36年 8 月23日（水）～25日（金）

二、場 所 静岡県 浜松市菅元城プール

三、実施要項

1. 種 目

男 子

自 由 形 100m, 200m, 400m, 1500m
 平 泳 100m, 200m
 バタフライ 100m, 200m
 背 泳 100m, 200m
 リ レ ー 800m, 400mメドレー

女 子

自 由 形 100m, 200m, 400m
 平 泳 100m, 200m
 バタフライ 50m, 100m
 背 泳 50m, 100m
 リ レ ー 400m, 400mメドレー

2. 申込資格

次の各号に該当する者は主管団体の推薦を得て申
 込むことができる。

但しリレーは出場資格を取得した時と同一メンバ
 ーでなければならない。個人種目に出場する者を
 以て補充することは差支えない。

① 各都道府県大会の各種目決勝競技で次の記録
 を突破した者（申込は突破した種目に限る）

		男 子	女 子
自 由 形	100m	1:04.0	1:14.0
	200m	2:20.0	2:44.0
	400m	5:05.0	6:00.0
	1500m	19:40.0	—
平 泳	100m	1:19.0	1:32.0
	200m	2:53.0	3:15.0
バタフライ	50m	—	38.0
	100m	1:12.0	1:27.0
	200m	2:45.0	—
背 泳	50m	—	38.0
	100m	1:16.0	1:27.0
	200m	2:45.0	—

リ レ ー 400m — 5:20.0
 800m 9:40.0 —

メドレー 400m 5:00.0 5:53.0

② 各地区水泳教室の記録会決勝で各種目上位3名
 （①の該当者を含まない）但、リレーは上位2チ
 ーム（1500mは24分を越えてはならない）

③ 地区水泳教室の記録会決勝で②に次ぐ3名及び
 リレー1組にして次の記録を突破した者

		男 子	女 子
自 由 形	100m	1:08.0	1:23.0
	200m	2:35.0	3:10.0
	400m	5:30.0	6:48.0
	1500m	22:10.0	—
平 泳	100m	1:25.0	1:39.0
	200m	3:03.0	3:31.0
バタフライ	50m	—	45.0
	100m	1:22.0	1:47.0
	200m	3:05.0	—
	背 泳	50m	—
	100m	1:23.0	1:35.0
	200m	3:00.0	—
リ レ ー	400m	—	6:00.0
	800m	10:50.0	—
メドレー	400m	5:24.0	6:36.0

但、②③の該当者は地区水泳教室主管団体より全
 国大会出場資格を得たることの通知を受けて後、
 申込むこと。

3. 表 彰

優秀なる成績を収めた者は表彰する。

(イ) 個人……各種目決勝6位まで賞品及び賞状を
 授与し表彰する。

(ロ) 学校……成績優秀な男女各3校を表彰する。

4. 申込規定

(イ) 1名2種目以内（リレーを除く）

（府県大会又は水泳教室で資格を得たる種目）

(ロ) 申込書正副2通を作製し各府県主管団体で取
 まとめ各都道府県教育委員会を経て下記宛申込
 むこと。

正、東京都千代田区丸ノ内2の2 丸ビル722区

日本水泳連盟

副、静岡県浜松市田町308 宮本秀夫方

浜名湾游泳協会

—（以下17頁へ続く）—

競泳着順判定用音響式指示法

の一実験に就いて

沖電気株式会社 塘 正 夫

競泳着順判定を機械的に行う一手段として、泳者の身体の一部、主として手又は指がプールサイドに接触した際に生ずる機械的振動をプールの水中および附近の空中から来る雑音と分離してピックアップせんとする目的で、特殊の水中マイクロフォンを利用する方法の原理実験を行ったので、その概要を報告し諸賢の御批判を得たい。

特殊水中マイクとしては持合せのあった磁歪振動子とチタバリハイドロフォンを用いた。

磁歪振動子としては、永久磁石で励磁した共振周波数30K Cの角型振動子を用いた(現品見本呈示)この振動子は振動面の大きさ約 $3.5 \times 3.5 \text{ cm}$ で長さ約6 cmそのインピーダンス30オームであって、この出力を約70db増巾した後、シンクロスロープで出力波形を観察、シンクロの読みからその電圧と周波数を測定した。

測定回路のブロック図は、図の最上段に示した通りで結果はその下に記入した通りである。写真撮影の余猶がなかったのでシンクロの図形をスケッチしたものである。図の第2段目は、この磁歪振動子の振動面を空中で手掌で軽くたたいた場合の出力波形であって、最初に30K Cのピークが約5ミリ秒の間±40V程出て、そのあと約100サイクルの振動電圧が順次減退し乍ら約50ミリ秒続くことを示す。第2段目の右側の図は左側の図の横軸を引きのばして30K Cのピーク電圧の様相をわかり易くしたものである。

図の第3段目は同じ磁歪振動子の振動面を空中で爪で軽くこすった場合の出力波形、第4段目の左は同じく水中で爪先で軽くこすった場合の出力波形であって、空中の場合は30K Cのピーク電圧が約±25V発生しそのあとに約100サイクルの波形が逐次減衰し乍ら続くことは、手掌でたたいた場合と同様であるが、水中の場合は、30K Cのピーク電圧が約±6Vであり、そのあとに続く減衰電波は約4K Cとなって0.8ミリ秒程度で消滅する。

30K Cのピーク電圧のみを取り出すためには、空中の場合は2K Cのパスフィルターを、水中の場合は4K Cのハイパスフィルターを入れれば容易に目的を達することが出来たから、実際の場合には4K Cのハイパス

フィルター1ケを使用すれば、空中並に水中の妨害雑音の主成分と思われる4K C以下の周波数を遮断しつつ、30K Cを取り出すことが出来るわけで、着順判定用には30K Cのピーク電圧のみを利用すればよさそうであるが、唯水中では指で軽くさわった場合の出力が小さ過ぎて、70dbの増巾では観察出来ない程度であったので、磁歪振動子を利用する方法は適格か否か不明である。

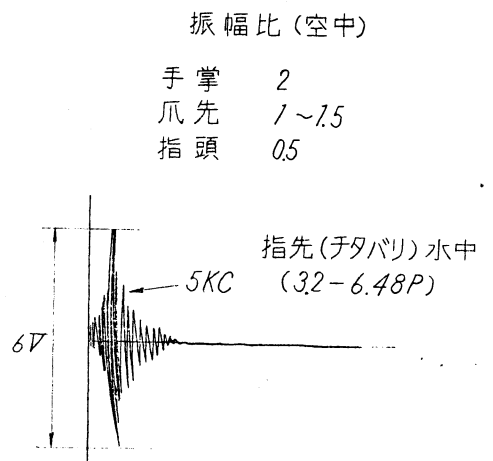
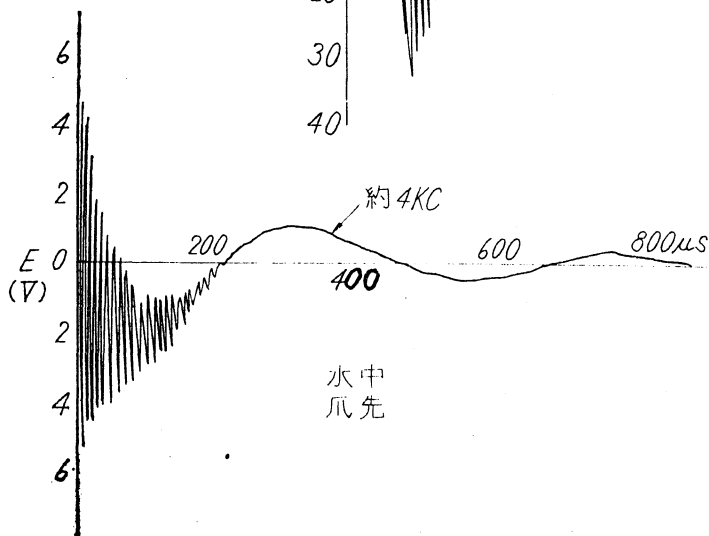
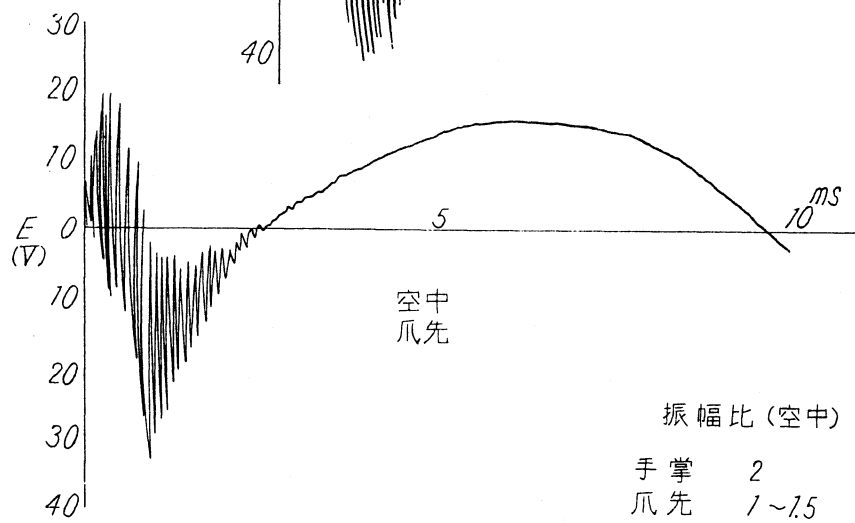
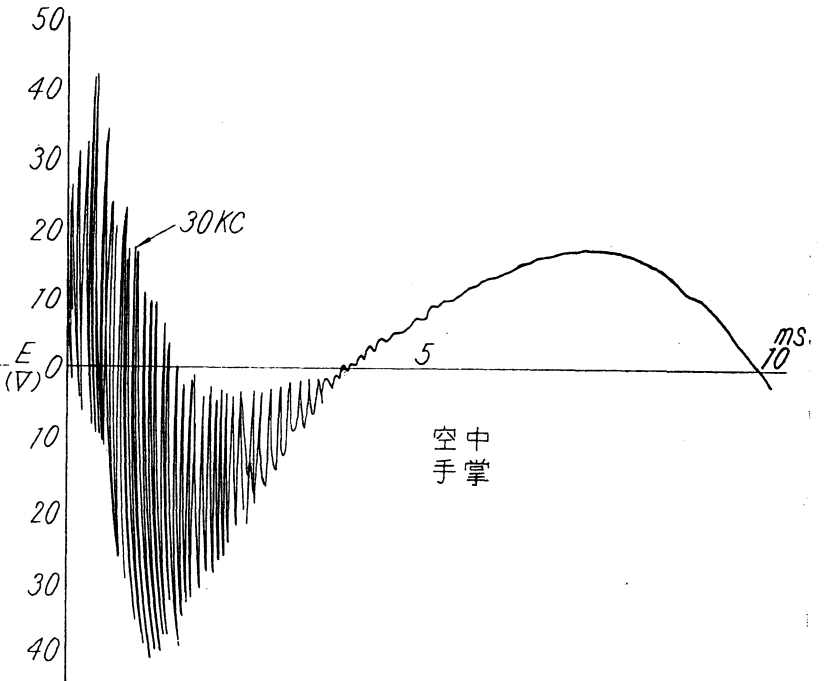
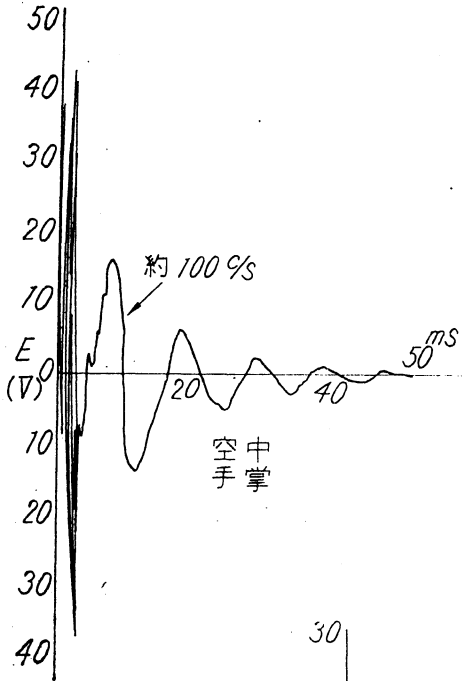
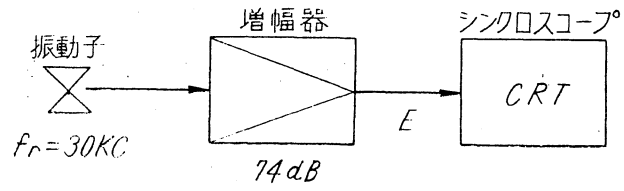
尚空中の場合に、手掌、爪先、指頭で触れた場合のピーク出力電圧の比を見ると、図の第3段右側に記した様に、手掌の時2、爪先が1~1.5、指頭が0.5程度であって、手掌でたたいた場合に比し、指頭でさわった場合はその $\frac{1}{4}$ 程度しか出力がなかったわけで、水中の場合には、振動子に水によるダンピングが加わるために、空中の場合の割合以上に指頭でさわった時の出力が小さくなって、観測不能であったわけである。

次に、チタバリハイドロフォンによる実験であるが、チタバリハイドロフォンとしては、直径3.8 cm、高さ3.0 cm、肉厚0.3 cmをネオプレンで覆って防水したものを用いた(現品見本呈示)

このハイドロフォンの共振周波数は42K Cで、ハイドロフォンとしての静電容量が約3000pfあるから、そのインピーダンスは周波数によって異なるわけであるが、この出力を約68db増巾して受聴器に出し、肉耳で聞いて見ると、手掌、爪、指頭何れの場合も、空中、水中共に水をかきまぜる音、その他の妨害雑音とははっきり分離して接触音を聞き分けられることが確認された。

水道の蛇口をハイドロフォンの上約30 cmの所に置いて、Water jet と見なされる程度に水を出し乍ら、指頭で軽くハイドロフォンをこすった場合でも、接触音を水のはねかる音と区別して聞き分けられるから、チタバリハイドロフォンの場合は、目的にかなう見込がかなりある様に思われる。

然し、このハイドロフォンは30K C程度から以下の周波数に対しては殆んどフラットな特性であるから、フィルター無しでそのまま波形を観察しても、妨害雑音のレベルが高く耳では聞き分けられる場合でも、シンクロの図形の上で接触音を見出すことは全然出来ない。そこ



スポーツは体力をつくるか

レイモンド・A. ウェイス 訳・宮畑虎彦

次の文は、アメリカ保健体育レクリエーション協会の機関誌にのった「スポーツは体力をつくるか」という題の記事の一部である。筆者は Raymond A. Weiss という教育学者である。

「悲しいことに、週1回テニスをしたんでは、テニスをするのに十分な体力は得られないというのが事実である。週末にテニスをして楽しもうと思えば、毎日運動をして週末に備えなければならないということになる。……

経験によると規則正しく練習すれば、親善試合を行なう程度の体力を保持することができる。しかし、試合に勝つのが目的だとすれば、そのスポーツを練習するだけでは、試合に必要な筋力や持久力は発達しないことがある。

1927年、ワイズミュラーが100ヤードを51秒で泳ぎ世界記録をつくったころ、ワイズミュラーのトレーニングは一にも二にも泳ぐだけであった。もし今ワイズミュラーが全盛であったとしても、昔の練習

方法のままだったらどうにもならんだろう。現在の選手は毎日毎日、ワイズミュラーがやったように何時間も泳ぐが、それでやめない。選手は何時間も泳いだ上に、陸上で強い体力増強の運動をして、腕、肩、上体、脚の泳ぎに必要な筋力と持久力をやしろ。こうしてワイズミュラーの51秒のレコードは48.2秒に短縮された。ワイズミュラーのころなら、筋肉を硬くする危険があるので強い運動はよくないといわれていたから、体力をつける練習という考え方には、そっぽをむいただろう。エール大学の名コーチキップスが体力をつける練習を選手にやらせはじめたのは革新的なことであった。キップスの思いつきがあたって、鍛えられたエールの選手たちは次々と記録を更新し、大学の試合では年々優勝した。今日、泳ぐ練習だけしかないチームは、水泳よりずっと強い運動をやっている選手たちのすぐれた体力に対抗できない。水泳は、泳ぐだけでは試合に勝つのに必要な程度の体力を発達させない。

で色々フィルターを入れて実験を重ねた結果、今回の実験条件に於いては、3.2~6.4 K C のバンドパスフィルターを入れるのが最もよさそうに思われたので、波形観測には全部3.2~6.4 K C のバンドパスフィルターを入れて測定を行った。然し実際の場合にはこのバンドパスが一番よいか否か、改めて実際のプールで競泳して見てきめなければならないと思う。

測定結果は図の最下段右端に鉛筆で記入した様に、水中で指頭でハイドロフオンの受音面をこすった場合の出力が±6 V程度で、周波数は約5 K Cのみで、ピークが出てそのまま減衰する。

空中でこすった場合及び水中で爪先、手掌でこすった場合の出力は、これとほぼ同じ様な波形で電圧が上の場合より大きい。

尚水道の水を約30 cm上から水面に流した時の音による出力電圧は、水中でハイドロフオンの振動面を指頭でこすって3.2~6.4 K Cフィルターを入れて5 K Cの出力電圧が±6 Vの時、5 K Cの成分で約2 Vであったから、実際の場合もこの程度の妨害電圧で済むならば、何とか目的に沿う着順判定機が出来るわけである。

然し本実験は、手掌又は指頭がハイドロフオンに接触

する強さが、実際競泳の場合にはどの程度になるものかを知らずに、唯想定によって行ったものであるから、以上の実験で水道の流下音と指頭による接触音とを区別し得たからと云って、果して実用になるかどうか不明で、今後更に研究を要するものと思う。特に手掌の急激なストロークによる Water jet がハイドロフオンの振動面にはげしくぶつかってから、指先が軽く触れる様な場合があれば、Water jet によるハイドロフオン出力と指先の接触によるハイドロフオン出力を区別することが、唯フィルターの挿入のみによって解決し得るか否か甚だ疑問である。

尚今後研究を進めて、チタバリハイドロフオン方式が適当なフィルターとの組合せによって、目的に沿う見込が立った時には、本実験に用いた様な円筒型のチタバリ振動子は用いず、厚さ約1.0 cm程度の disc 型チタバリ振動子一(現品見本呈示)を何個か用いて、その前面を適当な振動板で覆い、後面を緩衝してやれば、厚さの比較的少い着順判定用のハイドロフオンが得られると思う。然しこれの実現のためにはかなりの実際に則した実験的研究を必要とする。

以上

昭和36年度

日本選手権水上競技大会

7月28日～30 神宮プール(50m)公認

気温 34.0° 31.0° 31.0° 水温27.0° 26.5° 27.5°

男子		2. 崎久保道博(中京商高) 58.8	55.3 (日本国際新)
		3. 近藤 至男(勝村建設) 59.2	2. S.クラーク(アメリカ) 56.2
		4. 望月清一郎(白水会) 1:00.8	3. 石原 勝記(BSタイヤ) 56.8
		G組	4. 福井 清(稲泳会) 57.2
100m自由形		1. 松岡 義郎(日 大) 58.9	5. 清水 啓吾(三水会) 57.4
予選A組		2. 竹本 昭和(稲泳会) 59.0	6. 見上 勝記(白水会) 57.6
1. M.ドス・サントス(ブラジル)		3. 末永 豪(法泳会) 59.1	7. A.ディムヤッティ
55.1 (日本国際新)		4. 池田 芳玄(天理大) 59.5	(インドネシア) 57.8
2. 古川 徹(白木屋) 59.6		5. 菅 正文(白水会) 59.9	200m自由形
3. 十河 英記(稲泳会) 1:00.2		6. 白井 克郎(旭化成) 1:00.0	予選A組
4. 餅米 清治(三水会) 1:00.4		7. 林 正夫(聖ポール) 1:00.0	1. 清水 啓吾(三水会) 2:08.5
B組		準決勝A組	2. 後藤 忠治(日 大) 2:09.2
1. 福井 清(稲泳会) 58.5		1. M.ドス・サントス(ブラジル)	3. 見上 勝紀(白水会) 2:11.1
2. 田代 信一(八代東高) 58.8		55.2 (日本国際新)	(1:02.0)
3. 久保田宇利(自由丘高) 59.1		2. 見上 勝紀(白水会) 57.2	4. 十河 英記(稲泳会) 2:12.6
4. 岩崎 邦宏(佐伯鶴城高) 59.3		3. 福井 清(稲泳会) 57.6	5. 阿部 紀夫(法泳会) 2:12.7
5. 石川 浩(法泳会) 59.8		4. 松岡 義郎(日 大) 58.5	B組
C組		5. 崎久保道博(中京商高) 58.5	1. 石原 勝記(BSタイヤ) 2:07.4
1. 清水 啓吾(三水会) 57.4		6. 吉見 行雄(日大豊山高) 58.7	(59.0)
2. 石原 勝記(BSタイヤ) 57.7		7. 近藤 至男(勝村建設) 59.3	2. 国分 通男(法泳会) 2:07.8
3. A.ディムヤッティ		B組	3. 石田 修一(白水会) 2:11.8
(インドネシア) 57.9		1. S.クラーク(アメリカ) 55.8	4. 戸崎 修身(聖ポール) 2:12.5
4. 中谷 庸彦(白水会) 58.5		2. A.ディムヤッティ	5. 田代 信一(八代東高) 2:12.5
5. 吉見 行雄(日大豊山高) 59.2		(インドネシア) 58.2	C組
6. 森田 公人(日 大) 59.8		3. 中谷 庸彦(白水会) 58.3	1. 門口 伯康(稲泳会) 2:08.0
7. 葉室 正孝(鹿本高) 1:00.8		4. 竹本 昭和(稲泳会) 58.6	(1:00.4)
D組		5. 田代 信一(八代東高) 58.7	2. 岩崎 邦宏(佐伯鶴城高) 2:10.7
1. S.クラーク(アメリカ) 56.8		6. 末永 豪(法泳会) 59.0	3. 末永 豪(法泳会) 2:10.8
2. 見上 勝紀(白水会) 58.0		7. 岩崎 邦宏(佐伯鶴城高) 59.0	4. 森田 公人(日 大) 2:12.2
3. 後藤 忠治(日 大) 58.7		C組	5. 中間 勉(BSタイヤ) 2:12.7
4. 戸崎 修身(聖ポール) 1:00.3		1. 清水 啓吾(三水会) 57.4	D組
5. 紺屋 国守(海上自衛隊) 1:00.5		2. 石原 勝記(BSタイヤ) 57.5	1. 岡部 幸明(稲泳会) 2:08.3
6. 沢田 武(四日市高) 1:00.8		3. 後藤 忠治(日 大) 57.8	0. 石井 宏(日 大) 2:09.4
E組		5. 杉本 汎史() 57.8	(1:02.1)
1. 中村 良三(駿台ク) 59.1		5. 中村 良三(駿台ク) 58.0	3. 中谷 庸彦(白水会) 2:10.9
2. 山口 正人(日 大) 59.9		6. 池田 芳玄(天理大) 59.2	4. 崎久保道博(中京商高) 2:11.0
3. 中間 勉(BSタイヤ) 1:00.4		7. 久保田宇利(自由丘高) 59.6	E組
4. 松永 健二(日 大) 1:00.5		決勝	1. 福井 誠(八幡製鉄) 2:04.3
5. 浅野 純孝(白水会) 1:00.5		1. M.ドス・サントス(ブラジル)	(59.7)
F組			
1. 杉本 汎史(日 大) 58.7			

2. 森田 武男(日大豊山高) 2:11.4
F組

1. 講本 昌男(同志社大) 2:10.5
2. 福井 清(稲泳会) 2:13.0
G組

1. S.クラーク(アメリカ) 2:07.6
(58.7)

2. 笈田 光治(国士館大) 2:11.1
3. 吉村 喜平(旭化成) 2:12.5
H組

1. 池田 芳玄(天理大) 2:11.1
(1:01.9)

2. 山口 正人(日大) 2:13.0
I組

1. 藤本 達夫(白水会) 2:05.7
(59.9)

決勝

1. 藤本 達夫(白水会) 2:02.9
2. 福井 誠(八幡製鉄) 2:04.5
(59.3)

3. 石原 勝記(日大) 2:06.4
4. 清水 啓吾(三水会) 2:06.8

5. S.クラーク(アメリカ) 2:06.8
6. 岡部 幸明(稲泳会) 2:07.1

7. 門口 伯康(〃) 2:07.6
8. 後藤 忠治(日大) 2:08.0

9. 国分 通男(法泳会) 2:08.6

400m自由形

予選A組

1. 藤本 達夫(白水会) 4:32.2
(1:02.3 2:10.7 3:20.5)

2. 門口 伯康(稲泳会) 4:36.2
3. 榎山 稔(日本鋼管) 4:46.2

4. 石井 進一(日大) 4:49.8
B組

1. 国分 通男(法泳会) 4:38.5
(1:04.1 2:14.7 3:27.1)

2. 吉村 喜平(旭化成) 4:42.5
3. 大池 巖(愛知学高) 4:49.4
C組

1. 浦 満弘(八幡製鉄) 4:41.0
(3:29.2)

2. 石井 宏(日大) 4:42.6
(1:04.9 2:16.7)

3. 古木 輝巳(白水会) 4:45.1
D組

1. 福井 誠(八幡製鉄) 4:28.1
(1:01.3 2:08.2 3:17.5)

2. 佐々木末昭(白水会) 4:35.8
3. 岡部 幸明(稲泳会) 4:38.9
E組

1. 梅本 利三(稲泳会) 4:34.2
(1:03.9 2:12.4 3:23.1)

2. 森田 武男(日大豊山高) 4:41.4
3. 佐原 年明(白水会) 4:42.4

4. 藤島 祥三(柳井商高) 4:45.4
5. 岡村 文博(駿台ク) 4:46.1

6. 北村 忠夫(聖ポール) 4:47.7
P組

1. 松木登八郎(日大) 4:35.8
(1:04.7 2:14.7 3:25.1)

2. 講本 昌男(同志社大) 4:43.0
G組

1. R.サアリ(アメリカ) 4:37.0
(3:27.4)

2. 庄司 敏夫(BSタイア) 4:38.5
3. 坂元 昭紀(法泳会) 4:39.4
(2:15.4)

H組

1. 山中 毅(大洋漁業) 4:34.0
(1:03.5 2:13.3 3:23.1)

2. 笈田 光治(国士館大) 4:44.4
3. 阿部 紀夫(法泳会) 4:44.6
決勝

1. 山中 毅(大洋漁業) 4:17.6
(1:00.0 2:04.7 3:11.0)

2. 福井 誠(八幡製鉄) 4:26.1
3. R.サアリ(アメリカ) 4:28.1
(1:02.7 2:11.0 3:21.4)

4. 藤本 達夫(白水会) 4:28.1
(1:02.8 2:11.0 3:20.3)

5. 松木登八郎(日大) 4:30.0
(1:03.1 2:11.0 3:20.4)

6. 梅本 利三(稲泳会) 4:33.8
(1:03.4 2:12.2 3:23.1)

7. 佐々木末昭(白水会) 4:36.5
(1:03.7 2:13.8 3:25.2)

8. 国分 通男(法泳会) 4:37.8
(1:03.4 2:13.7 3:26.4)

9. 門口 伯康(稲泳会) 4:39.0
(1:02.4 2:12.4 3:25.7)

1500m自由形

予選A組

1. 梅本 利三(稲泳会) 18:33.2
(1:06.2 4:44.4 5:58.7

7:12.4 8:25.9 9:39.7
10:54.1 12:08.8 13:24.2

14:39.4 15:55.7 17:11.6)

2. 庄司 敏夫(BSタイア) 18:33.2
3. 井原 啓之(聖ポール) 19:03.7

4. 藤島 祥三(柳井商工高) 19:16.0
5. 渡辺 恒夫(今治北高) 19:20.6
B組

1. 佐々木末昭(白水会) 18:26.6
(1:06.3 2:19.3 3:33.4

4:48.3 6:03.1 7:17.5
8:32.2 9:47.2 11:02.2

12:17.5 13:31.6 14:46.4
16:00.9 17:15.3)

2. 山田 忠信(小松実高) 19:41.5
3. 丸井 久人(日大豊山高) 19:44.0
C組

1. 山中 毅(大洋漁業) 17:48.5
(1:04.5 2:13.7 3:23.4

4:32.6 5:43.1 6:54.8
(正式)8:08.5 9:21.3 10:34.3

11:46.4 12:58.6 14:11.0
15:24.2 16:37.0)

2. 浦 満弘(八幡製鉄) 18:43.1
3. 佐原 年明(白水会) 18:49.1

4. 阿部 紀夫(法泳会) 18:53.9
5. 唐松 辰一(駿台ク) 19:31.8
D組

1. R.サアリ(アメリカ) 18:15.8
2. 松木登八郎(日大) 18:17.0
(1:06.8 2:18.1 3:30.6

4:44.0 5:57.8 7:11.0
8:24.3 9:38.3 10:52.5

12:06.5 13:20.8 14:35.7
15:50.0 17:04.0)

3. 坂元 昭紀(法泳会) 18:24.0
4. 岡村 文博(駿台ク) 19:22.1

5. 清水 清彦(中京商高) 19:39.3
E組

1. 榎山 稔(日本鋼管) 18:51.2
(1:06.4 2:19.0 3:34.0

4:49.6 6:05.4 7:21.4
8:37.8 9:54.6 11:11.3

12:27.9 13:44.6 15:01.4
16:18.8 17:35.6)

2. 一色 讓 (日 大) 19:13.4
3. 山田 康弘 (稲 泳 会) 19:16.7
4. 木田 和夫 (八代一中) 19:27.7
5. 大池 巖 (愛知学高) 19:44.9

決勝

1. R. サアリ (アメリカ)
17:21.8 (日本国際新)
(1:04.0 2:13.0 —
4:32.7 5:44.6 6:53.8
8:03.7 9:14.8 10:25.5
11:36.6 12:46.6 13:56.9
15:06.1 16:14.2)
2. 山中 毅 (大洋漁業) 17:25.5
(1:03.5 2:12.2 3:21.8
4:32.1 5:43.0 6:53.4
8:03.5 9:14.6 10:25.4
11:36.0 12:46.6 —
— —)
3. 松木登八郎 (日 大) 18:04.4
(1:05.0 2:16.0 3:27.6
4:39.8 5:52.8 7:05.0
8:18.7 9:32.2 10:45.0
11:58.4 13:10.8 14:24.2
15:38.0 16:52.6)
4. 佐々木末昭 (白 水 会) 18:10.7
(1:05.7 2:16.5 3:28.7
4:40.8 7:06.0 8:19.4
9:32.5 10:45.4 13:13.0
14:57.6 15:42.6)
5. 庄司 敏夫 (BSタイア) 18:17.6
(1:06.0 2:16.9 3:29.6
4:42.1 5:55.0 7:09.0
8:23.2 9:37.3 10:51.6
12:06.5 13:21.4 14:36.6
15:52.0 17:06.5)
6. 梅本 利三 (稲 泳 会) 18:24.6
(1:04.7 2:15.5 3:27.8
4:41.0 5:54.3 7:08.6
8:23.6 9:38.3 10:53.2
12:08.4 13:23.7 14:38.6
15:54.7 17:10.7)
7. 坂元 昭紀 (法 泳 会) 18:28.3
(1:06.2 2:19.0 3:31.9
4:45.2 5:59.2 7:12.3

8:26.6 9:41.5 10:56.3
12:12.1 13:27.9 14:43.7
15:59.0 17:14.8)

8. 佐原 年明 (白 水 会) 18:49.4
9. 浦 満弘 (八幡製鉄) 19:00.2

100m平泳

予選A組

1. 敷石 義秋 (日 大) 1:13.9
2. 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:14.5
3. 岡崎 貞彦 (駿 台 大) 1:15.3
4. 篠田 博史 (白 水 会) 1:16.6
5. 宮下 宗重 (ミツヤ送風機)
1:16.6

B組

1. 大崎 剛彦 (稲 泳 会) 1:13.8
2. 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:15.2
3. 山中 堂志 (白 水 会) 1:16.4

C組

1. C. ジャストレムスキー
(アメリカ) 1:10.7
(世界新) (日本国際新)

2. 中川 清 (稲 泳 会)
1:12.3 (日本新)
3. 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 1:14.8
4. 中野 勇治 (宇部興産) 1:15.4
5. 寺尾 友孝 (聖ポール) 1:15.7

D組

1. 和気 統 (日 大) 1:14.3
2. 坪田 充功 (日本鋼管) 1:15.5
3. 野々村嘉昭 (白 水 会) 1:16.0

C組

1. 石川 健二 (日大豊山高)
1:12.5 (日本新)
2. 宮本 英 (白 水 会) 1:16.0

F組

1. 鈴木 紘之 (三 水 会) 1:16.2
2. 木曾 雄吉 (聖ポール) 1:16.6

G組

1. 永井 正員 (東京日産) 1:16.7

H組

1. 名倉 健藏 (BSタイア) 1:15.3
2. 樋口 裕 (白 水 会) 1:15.8
3. 重松 親征 (朝倉農高) 1:16.0
4. M. スクリ (インドネシア) 1:16.0
5. 加藤 浩時 (稲 泳 会) 1:16.5

準決勝

A組

1. C. ジャストレムスキー
(アメリカ) 1:10.0
(世界新, 日本国際新)

2. 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:13.9
3. 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:14.0
4. 和気 統 (日 大) 1:14.6
5. 重松 親征 (朝倉農高) 1:15.2
6. 坪田 充功 (日本鋼管) 1:15.7
7. M. スクリ (インドネシア) 1:16.5

B組

1. 中川 清 (稲 泳 会)
1:12.3 (日本新)
2. 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 1:13.9
3. 中野 勇治 (宇部興産) 1:14.2
4. 敷石 義秋 (日 大) 1:14.5
5. 寺尾 友孝 (聖ポール) 1:14.6
6. 宮本 英 (白 水 会) 1:16.3
7. 鈴木 紘之 (三 水 会) 1:16.6

C組

1. 石川 健二 (日大豊山高)
1:12.4 (日本新)
2. 大崎 剛彦 (稲 泳 会) 1:13.1
3. 樋口 裕 (白 水 会) 1:15.1
4. 名倉 健藏 (BSタイア) 1:15.1
5. 岡崎 貞彦 (駿 台 大) 1:15.4
6. 野々村嘉昭 (白 水 会) 1:16.1
7. 山中 堂志 (") 1:16.1

決勝

1. C. ジャストレムスキー
(アメリカ) 1:10.7
(世界新, 日本国際新)

2. 中川 清 (稲 泳 会)
1:12.1 (日本新)
3. 大崎 剛彦 (稲 泳 会)
1:12.5 (日本新)
4. 石川 健二 (日大豊山高)
1:12.6 (日本対)

5. 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:13.6
6. 山南 宏一 (") 1:14.0
7. 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:14.4

200m平泳

予選A組

1. 岡崎 貞彦 (駿 台 大) 2:41.1
(1:17.2)
2. M. スクリ (インドネシア) 2:44.4

3. 重松 親征 (朝倉農高) 2:46.7

B組

1. 石川 健二(日大豊山高) 2:38.8

(1:17.4)

2. 樋口 裕 (白水会) 2:42.3

3. 坪田 充功 (日本鋼管) 2:44.2

4. 篠原 豊 (日 大) 2:45.0

5. 木曾 雄吉 (聖ポール) 2:46.6

C組

1. 大崎 剛彦 (稲泳会) 2:41.1

(1:17.8)

2. 野々村嘉昭 (白水会) 2:42.6

3. 名倉 健蔵 (BSタイア) 2:46.1

4. 木村 智彦 (駿台ク) 2:46.5

5. 兵藤 正時 (長良高) 2:47.0

D組

1. C.ジャストレムスキー

(アメリカ) (1:12.8)2:33.6

(世界新, 日本国際新)

2. 山南 宏一(佐伯鶴城高) 2:41.0

3. 中野 勇治 (宇部興産) 2:46.3

E組

1. 敷石 義秋 (日 大) 2:38.7

2. 松本健次郎(佐伯鶴城高) 2:39.0

(1:15.3)

3. 黒塚 正機 (白水会) 2:46.4

F組

1. 和気 統 (日 大) 2:40.3

(1:16.5)

2. 重松 盛人 (八幡製鉄) 2:41.2

3. 寺尾 友孝 (聖ポール) 2:45.2

4. 加藤 浩時 (稲泳会) 2:46.7

G組

1. 中川 清 (稲泳会) 2:39.6

(1:17.5)

決勝

1. C.ジャストレムスキー

(アメリカ) (1:13.7)2:34.0

(世界新, 日本国際新)

2. 敷石 義秋 (日 大) 2:38.0

3. 松本健次郎(佐伯鶴城高) 2:38.0

4. 大崎 剛彦 (稲泳会) 2:38.5

5. 中川 清 (") 2:38.5

6. 石川 健二(日大豊山高) 2:39.0

7. 山南 宏一(佐伯鶴城高) 2:39.1

8. 和気 統 (日 大) 2:39.8

6. 岡崎 貞彦 (駿台ク) 2:44.8

100mバタフライ

予選A組

1. 岩本 光司 (稲泳会) 1:02.3

2. 富安 守弘 (白水会) 1:03.4

3. 遠藤 英康(日大豊山高) 1:05.0

4. 那須 純哉 (聖ポール) 1:05.1

5. 宮脇 隆史 (法泳会) 1:05.3

6. 山下 洋二 (東教大) 1:05.5

B組

1. 中島 功 (日 大) 1:02.1

2. 上田 紀男 (法泳会) 1:04.5

3. 田中 美雄 (稲泳会) 1:04.6

4. 杉本 紘一 (法二高) 1:05.1

C組

1. 大賀 睦郎 (八代東高) 1:03.0

2. 吉無田春男 (稲泳会) 1:03.4

3. 鈴木 竜蔵 (白水会) 1:04.6

4. 飯田 智康 (法泳会) 1:04.9

D組

1. M.トロイ (アメリカ) 1:02.4

(29.0)

2. 武市 啓志 (日 大) 1:03.7

3. 三好 恭弘 (白水会) 1:03.9

4. 神坂 忠一 (聖ポール) 1:04.7

5. 富田 幸人 (国士館大) 1:05.9

E組

1. 井筒 賢造 (稲泳会) 1:02.8

2. 小島 英光 (法泳会) 1:05.0

F組

1. A.ニコラオ (アルゼンチン)

1:01.3

2. 須藤 洋一 (駿台ク) 1:04.1

3. 渡辺 春男 (東 芝) 1:04.7

4. 金親 義弘 (大阪高) 1:05.3

G組

1. 佐藤 好助 (八幡製鉄) 1:02.8

2. 増永 文昭 (西田病院) 1:02.8

3. 芥川巳之助 (三水会) 1:04.2

4. 小戒 紀一 (白水会) 1:05.4

5. 赤毛 秀次 (聖ポール) 1:05.4

6. 丸山 高正 (BSタイア) 1:05.9

準決勝A組

1. A.ニコラオ (アルゼンチン)

1:01.6

2. 佐藤 好助 (八幡製鉄) 1:02.5

3. 増永 文昭 (西田病院) 1:02.5

4. 須藤 洋一 (駿台ク) 1:03.7

5. 神坂 忠一 (聖ポール) 1:03.9

6. 三好 恭弘 (白水会) 1:04.0

7. 渡辺 春男 (東 芝) 1:04.8

B組

1. 中島 功 (日 大) 1:02.0

2. 井筒 賢造 (稲泳会) 1:02.6

3. 大賀 睦郎 (八代東高) 1:03.1

4. 武市 啓志 (日 大) 1:03.1

5. 芥川巳之助 (三水会) 1:04.1

6. 鈴木 竜蔵 (白水会) 1:04.3

7. 飯田 智康 (法泳会) 1:05.4

C組

1. M.トロイ (アメリカ) 1:02.4

2. 岩本 光司 (稲泳会) 1:03.6

3. 吉無田春男 (") 1:03.6

4. 富安 守弘 (白水会) 1:04.0

5. 田中 英雄 (稲泳会) 1:04.4

6. 上田 紀男 (法泳会) 1:04.7

決勝

1. A.ニコラオ (アルゼンチン)

1:00.1

2. 中島 功 (日 大) 1:01.6

3. M.トロイ (アメリカ) 1:02.0

4. 佐藤 好助 (八幡製鉄) 1:02.0

5. 井筒 賢造 (稲泳会) 1:02.3

6. 増永 文昭 (西田病院) 1:02.8

岩本 光司 (稲泳会) キケン

200mバタフライ

予選A組

1. 佐藤 好助 (八幡製鉄) 2:21.6

2. 那須 純哉 (聖ポール) 2:22.8

(2:07.9)

3. 武市 啓志 (日 大) 2:25.5

4. 田中 英雄 (稲泳会) 2:27.6

5. 馬場 政義 (白水会) 2:28.4

B組

1. 三好 恭弘 (白水会) 2:20.2

2. 杉本 紘一 (法二高) 2:20.5

(1:07.2)

3. 飯田 智康 (稲泳会) 2:22.7

4. 丸山 高正 (BSタイア) 2:26.9

5. 井上 敦雄 (日 大) 2:29.7

C組

1. 小島 英光 (法泳会) 2:26.4

2. 鈴木 竜蔵 (白水会) 2:26.5
3. 神坂 忠一 (聖ポール) 2:27.3
4. 中村 征春 (伊都高) 2:28.2

(1:09.0)

5. 大賀 睦郎 (八代東高) 2:29.8

D組

1. M.トロイ (アメリカ) 2:19.6
2. 増永 文昭 (西田病院) 2:19.7
3. 井筒 賢造 (稲泳会) 2:21.3
4. 上田 紀男 (法泳会) 2:23.4

(1:05.7)

5. 富安 守弘 (白水会) 2:25.8

E組

1. 吉無田春男 (稲泳会) 2:20.0

(1:05.6)

2. A.ニコラオ (アルゼンチン)

2:20.2

3. 中島 功 (日大) 2:22.3

4. 宮脇 隆史 (法泳会) 2:29.4

5. 山下 洋二 (東教大) 2:29.9

F組

1. 須藤 洋一 (駿台ク) 2:20.2

2. 岩本 光司 (稲泳会) 2:22.9

(1:06.4)

3. 金親 義弘 (大阪高) 2:25.1

4. 赤毛 秀次 (聖ポール) 2:25.5

5. 伴 国雄 (中京商高) 2:29.7

G組

1. 芥川巳之助 (三水会) 2:26.7

2. 水野 隆晴 (駿台ク) 2:29.7

決勝

1. 吉無田春男 (稲泳会)

2:17.4 (日本新)

2. 井筒 賢造 (稲泳会) 2:17.9

3. 杉本 紘一 (法二高) 2:20.0

4. 増永 文昭 (西田病院) 2:20.3

5. 須藤 洋一 (駿台ク) 2:20.4

6. 佐藤 好助 (八幡製鉄) 2:21.0

7. M.トロイ (アメリカ) 2:21.3

8. 三好 恭弘 (白水会) 2:21.4

9. A.ニコラオ (アルゼンチン)

(1:04.7) 2:23.3

100m背泳

予選A組

1. 広瀬 俊之 (成城大) 1:06.2

2. 才野 武士 (聖ポール) 1:07.7

3. 徳武 茂 (白水会) 1:09.3

4. 光本 市郎 (山鹿高) 1:09.9

B組

1. 福島 滋雄 (日大) 1:05.7

2. 片岡 輝男 (聖ポール) 1:09.1

3. 園田 和博 (旭化成) 1:09.8

C組

1. 伊藤 圭祐 (中京商高) 1:04.9

2. 勝又 完一 (駿台ク) 1:08.3

3. 酒井 良明 (BSタイア) 1:08.6

4. 管 征夫 (白水会) 1:08.8

D組

1. 五十嵐武清 (修徳高) 1:05.7

2. 国清 勲 (稲泳会) 1:08.7

3. 高嶺 隆二 (三水会) 1:10.0

E組

1. T.ストック (アメリカ) 1:03.5

2. 富田 一雄 (BSタイア) 1:05.7

3. 林 祐士郎 (諫早商高) 1:08.7

4. 田中 広征 (伝習館高) 1:09.5

F組

1. 渡辺 和夫 (東京トヨペット)

1:05.0

2. 中原 紀 (八幡製鉄) 1:06.6

3. 三杉 庄治 (天理高) 1:08.9

4. 中島 勝昭 (駿台ク) 1:09.8

準決勝A組

1. T.ストック (アメリカ) 1:03.9

2. 富田 一雄 (BSタイア) 1:06.1

3. 広瀬 俊之 (成城大) 1:07.3

4. 国清 勲 (稲泳会) 1:08.1

5. 林 祐士郎 (諫早商高) 1:03.7

6. 園田 和博 (旭化成) 1:09.5

B組

1. 伊藤 圭祐 (中京商高) 1:06.1

2. 中原 紀 (八幡製鉄) 1:06.3

3. 五十嵐武清 (修徳高) 1:06.3

4. 酒井 良明 (BSタイア) 1:07.8

5. 管 征夫 (白水会) 1:08.6

6. 徳武 茂 (〃) 1:09.4

7. 中島 勝昭 (駿台ク) 1:10.0

C組

1. 渡辺 和夫 (東京トヨペット)

1:05.8

2. 福島 滋雄 (日大) 1:05.8

3. 勝又 完一 (駿台ク) 1:07.0

4. 才野 武士 (聖ポール) 1:08.3

5. 片岡 輝男 (〃) 1:08.5

6. 三杉 庄治 (天理高) 1:08.8

7. 光本 市郎 (山鹿高) 1:09.2

決勝

1. T.ストック (アメリカ) 1:02.9

2. 富田 一雄 (BSタイア) 1:05.3

3. 福島 滋雄 (日大) 1:05.4

5. 渡辺 和夫 (東京トヨペット)

1:05.5

6. 五十嵐武清 (修徳高) 1:05.7

7. 中原 紀 (八幡製鉄) 1:06.3

伊藤 圭祐 (中京商高) 失格

200m背泳

予選A組

1. 才野 武士 (聖ポール) 2:27.0

(1:09.0)

2. 管 征夫 (白水会) 2:31.3

B組

1. 福島 滋雄 (日大)

(1:07.4) 2:20.5 (日本新)

2. 片岡 輝男 (聖ポール) 2:26.5

3. 大隅 潔 (駿台ク) 2:29.9

4. 林 祐士郎 (諫早商高) 2:31.0

C組

1. 渡辺 和夫 (東京トヨペット)

(1:08.6) 2:27.8

2. 勝又 完一 (駿台ク) 2:29.7

D組

1. T.ストック (アメリカ)

(1:04.8) 2:16.5 (日本国際新)

2. 中原 紀 (八幡製鉄) 2:24.2

3. 古賀 宣樹 (国土館大) 2:29.2

E組

1. 五十嵐武清 (修徳高) 2:25.6

2. 富田 一雄 (BSタイア) 2:26.7

(1:09.4)

F組

1. 伊藤 圭祐 (中京商高) 2:24.2

(1:08.8)

2. 高嶺 隆三 (三水会) 2:29.8

G組

1. 広瀬 俊之 (成城大) 2:25.7

(1:08.5)

2. 酒井 良明 (BSタイア) 2:27.2

3. 国清 勲 (稲泳会) 2:27.2

決勝

1. T.ストック (アメリカ) (1:04.7)2:14.0(世界新, 日本国際新)
2. 福島 滋雄 (日 大) 2:19.8 (日本新)
3. 富田 一雄 (B S タイア) 2:22.5
4. 伊藤 圭祐 (中京商高) 2:23.7
5. 中原 紀 (八幡製鉄) 2:23.9
6. 五十嵐武清 (修徳高) 2:24.8
7. 広瀬 俊之 (成城大) 2:25.3
8. 才野 武士 (聖ポール) 2:26.5
9. 片岡 輝男 (") 2:26.9

女子

100m自由形

予選A組

1. 和田 映子 (天理大) 1:09.4
2. 小畑 昭子 (筑紫女学) 1:10.5
3. 中西 満子 (旭化成) 1:14.1
4. 小島寿美子 (横学高) 1:14.9

B組

1. 辻本 妙子 (五条高) 1:10.0
2. 岩井 鈴子 (日本生命) 1:12.9
3. 高島 美枝 (成女中) 1:14.4
4. O.ベルティウィ (インドネシア) 1:14.5

C組

1. 佐藤 喜子 (ロート製薬) 1:06.3
2. 宮崎孔美子 (白木屋) 1:12.5
3. 道家 高子 (東洋レ) 1:12.8
4. 内野 典子 (八王子四中) 1:14.2

決勝

1. 佐藤 喜子 (ロート製薬) 1:06.1
2. 和田 映子 (天理大) 1:08.0
3. 辻本 妙子 (五条高) 1:08.8
4. 小畑 昭子 (筑紫女学) 1:09.9
5. 宮崎孔美子 (白木屋) 1:13.0
6. 道家 高子 (東洋レ) 1:13.0
7. 岩井 鈴子 (日本生命) 1:13.0

200m自由形

予選A組

1. 小畑 昭子 (筑紫女学) 2:35.2 (1:13.3)
2. 小林由美子 (ロート製薬) 2:35.3
3. 高松 千歳 (宇部興産) 2:35.6
4. 辻本 妙子 (五条高) 2:39.9

B組

1. 佐藤 喜子 (ロート製薬) 2:32.7 (1:10.7)
2. 原 富子 (東洋レ) 2:35.7
3. 上原 恵子 (旭化成) 2:38.0

C組

1. 和田 映子 (天理大) 2:33.2 (1:12.7)
2. 窪 美代子 (旭化成) 2:33.4

決勝

1. 佐藤 喜子 (ロート製薬) 2:26.3 (1:07.6)
2. 窪 美代子 (旭化成) 2:29.9
3. 和田 映子 (天理大) 2:32.2
4. 小畑 昭子 (筑紫女学) 2:33.8
5. 高松 千歳 (宇部興産) 2:34.3
6. 原 富子 (東洋レ) 2:35.5
7. 小林由美子 (ロート製薬) 2:37.0
8. 上原 恵子 (旭化成) 2:38.0

400m自由形

予選A組

1. 窪 美代子 (旭化成) 5:22.1 (— 2:36.1 3:59.2)
2. 早川 一枝 (富士中) 5:25.4
3. 虎野 昭子 (帝塚山短大) 5:26.6
4. 高松 千歳 (宇部興産) 5:29.0

B組

1. 原 富子 (東洋レ) 5:32.0
2. 小林由美子 (ロート製薬) 5:33.8

C.D組

1. 芝原 笑子 (旭化成) 5:22.1 (1:13.1 2:34.6 3:59.2)
2. 木村トヨ子 (筑紫女学) 5:22.8
3. 石渡 雅子 (天理大) 5:30.0
4. 寺井 貴子 (ロート製薬) 5:38.6
5. ヌラエニ (インドネシア) 5:38.8

決勝

1. 芝原 笑子 (旭化成) 5:14.8 (— 2:33.5 3:54.4)
2. 窪 美代子 (旭化成) 5:17.5
3. 虎野 昭子 (帝塚山短大) 5:21.2
4. 高松 千歳 (宇部興産) 5:21.9
5. 木村トヨ子 (筑紫女学) 5:24.5
6. 原 富子 (東洋レ) 5:24.9
7. 石渡 雅子 (天理大) 5:27.1
8. 早川 一枝 (富士中) 5:30.7

9. 小林由美子 (ロート製薬) 5:38.1

800m自由形決勝

1. 芝原 笑子 (旭化成) (10:50.9 (日本新) (1:14.2 2:35.2 3:57.3 5:20.5 6:43.5 8:06.0 9:28.4)
2. 木村トヨ子 (筑紫女学) 10:59.8 (日本新)
3. 早川 一枝 (富士中) 11:06.7 (日本新)
4. 虎野 昭子 (帝塚山短大) 11:11.4
5. 石渡 雅子 (天理大) 11:24.5
6. 寺井 貴子 (ロート製薬) 11:46.3
7. ヌラエニ (インドネシア) 11:51.5
8. 宮井 洋子 (旭化成) 11:54.3
9. 平山 礼子 (") 11:58.7

100m平泳

予選A組

1. I.トピン (インドネシア) 1:27.7
2. 石川海記子 (宇部興産) 1:28.3
3. 山崎 幸子 (成女高) 1:29.1
4. 生田 敏子 (清水丘高) 1:29.4

B組

1. 山本 憲子 (筑紫女学) 1:25.9
2. 西田千穂子 (旭化成) 1:29.1

C組

1. 田上 和子 (八代三中) 1:25.4
2. 青木 幸子 (東洋レ) 1:26.7

決勝

1. 田上 和子 (八代三中) 1:24.8
2. 山本 憲子 (筑紫女学) 1:25.2
3. 青木 幸子 (東洋レ) 1:25.7
4. I.トピン (インドネシア) 1:27.6
5. 石川海記子 (宇部興産) 1:27.7
6. 山崎 幸子 (成女高) 1:28.4
7. 西田千穂子 (旭化成) 1:28.5

200m平泳

予選A組

1. 田上 和子 (八代三中) 3:05.1 (1:26.9)
2. 生田 敏子 (清水丘高) 3:08.7
3. I.トピン (インドネシア) 3:09.3

B組

1. 西田千穂子 (旭化成) 3:07.7
2. 石川海記子 (宇部興産) 3:09.6

3. O.イン(インドネシア) 3:11.7
 4. 山崎 幸子(成女高) 3:12.5
C組
 1. 青木 幸子(東洋レ) 3:02.9
 (1:28.6)
 2. 山本 憲子(筑紫女学) 3:06.9
 3. 渡辺 和子(東田中) 3:13.4
決勝
 1. 田上 和子(八代三中) 3:01.8
 2. 青木 幸子(東洋レ) 3:03.1
 (1:28.4)
 3. 山本 憲子(筑紫女学) 3:05.2
 4. 西田千穂子(旭化成) 3:06.6
 5. 石川海記子(宇部興産) 3:08.6
 6. I.トビン(インドネシア) 3:09.8
 7. 生田 敏子(清水丘高) 3:11.7
 8. 山崎 幸子(成女高) 3:14.7
100mバタフライ
予選A組
 1. 高橋 栄子(佐伯鶴城高) 1:18.4
 2. T.ダムヤッティ
 (インドネシア) 1:19.9
B組
 1. 中西美智代(五条高) 1:15.5
 2. 諸林八重子(旭化成) 1:17.2
 3. 大高 幸子(東洋レ) 1:18.1
C組
 1. 松中佐江子(帝塚山短大) 1:16.5
 2. 松岡 明子(東洋レ) 1:17.5
 3. 黒田 梶子(二階堂高) 1:21.1
 4. 片岡 幸子(日本生命) 1:23.0
決勝
 1. 中西美智代(五条高) 1:15.3
 2. 諸林八重子(旭化成) 1:16.0
 3. 松中佐江子(帝塚山短大) 1:16.5
 4. 松岡 明子(東洋レ) 1:17.0
 5. 高橋 栄子(佐伯鶴城高) 1:18.0
 6. 大高 幸子(東洋レ) 1:18.3
 7. T.ダムヤッティ
 (インドネシア) 1:18.3
200mバタフライ決勝
 1. 松中佐江子(帝塚山短大) 2:49.3
 (1:19.7)
 2. 松岡 明子(東洋レ) 2:50.1
 3. 諸林八重子(旭化成) 2:53.0
 4. 中西美智代(五条高) 2:53.0

5. 黒田 梶子(二階堂高) 2:53.5
 6. T.ダムヤッティ
 (インドネシア) 2:55.5
 7. 高橋 栄子(佐伯鶴城高) 2:59.8
100m背泳
予選A・B組
 1. 岡田八詠子(五条高) 1:20.5
 2. 松元 妙子(旭化成) 1:20.6
 3. 江原紀久子(東洋レ) 1:23.6
C組
 1. 田中 聰子(八幡製鉄) 1:14.5
 2. 四本 博美(日体大) 1:16.9
 3. 中島 孝子(横浜学園) 1:22.5
独泳
 1. O.ニイオ(インドネシア) 1:18.8
決勝
 1. 田中 聰子(八幡製鉄) 1:12.0
 2. 四本 博美(日体大) 1:17.1
 3. O.ニイオ(インドネシア) 1:18.6
 4. 松元 妙子(旭化成) 1:18.6
 5. 岡田八詠子(五条高) 1:19.9
 6. 中島 孝子(横浜学園) 1:20.4
 7. 江原紀久子(東洋レ) 1:23.2
200m背泳
予選A組
 1. 四本 博美(日体大) 2:48.1
 (1:22.0)
 2. 中島 孝子(横浜学園) 2:52.4
B組
 1. 田中 聰子(八幡製鉄) 2:47.3
 2. O.ニイオ(インドネシア) 2:49.9
 3. 松元 妙子(旭化成) 2:51.3
 4. 岡田八詠子(五条商) 2:55.7
決勝
 1. 田中 聰子(八幡製鉄)
 (1:14.3) 2:33.2(世界新)
 2. 四本 博美(日体大) 2:46.0
 3. 松元 妙子(旭化成) 2:49.2
 4. O.ニイオ(インドネシア) 2:50.6
 5. 中島 幸子(横浜学園) 2:53.5
 6. 岡田八詠子(五条商) 2:53.7
飛 込
男子飛板飛込
 1. T.ゴンプ(アメリカ)
 154.12(61.60)

2. 金戸 俊介(日大)
 134.00(56.32)
 3. 土佐 忠雄(稲泳会)
 133.30(58.33)
 4. 田原 和夫(日大)
 132.73(57.81)
 5. 山野外嗣夫(北陸軽金属)
 130.37(59.63)
 6. 谷口 博(稲泳会)
 124.02(49.70)
男子高飛込
 1. T.ゴンプ(アメリカ)
 151.92(75.97)
 2. 金戸 俊介(日大)
 150.53(80.59)
 3. 田原 和夫(日大)
 146.47(80.09)
 4. 山野外嗤夫(北陸軽金属) 136.14
 5. 岡田 良平(日大) 131.82
 6. 土佐 忠雄(稲泳会) 128.17
女子飛板飛込
 1. 津谷鹿乃子(倉敷レ)
 127.88(62.43)
 2. 渡辺久美子(リッカーミシン)
 122.19(75.30)
 3. 角倉佐久子(日本生命)
 106.83(52.39)
 4. 石黒のぶよ(帝塚山短大)
 106.36(49.92)
 5. 出口 和子(天理大)
 95.03(48.91)
 6. 常盤三千子(青学大)
 94.06(44.03)
女子高飛込
 1. 渡辺久美子(リッカーミシン)
 90.20(51.22)
 2. 津谷鹿乃子(倉敷レ)
 86.00(45.76)
 3. 友江嘉代子(日本ダンロップ)
 76.44(41.56)
 4. 葛目千鶴子(日体大)
 68.95(49.73)
 5. 小野ゆかり(船橋水協)
 68.10(47.66)
 6. 森 淳子(自由学園OG)
 66.72(52.80)

水 球	
予選 7月28日	
法泳会B 14 — 2 城北高	
済々黷 10 — 9 駿台ク	
中大 0 — 7 全慶応	
三水会 5 — 3 稲泳会B	
法泳会A 3 — 13 白水会	
全学習院 7 — 5 成蹊高	
稲泳会A 13 — 4 慶大	
五八ク 6 — 4 成城大	
7月24日	
済々黷 7 — 6 法泳会B	
桜泳会 14 — 0 済々黷	
全学習院 0 — 20 白水会	
五八ク 3 — 2 稲泳会A	
準決勝第一 7月29日	
桜泳会 — 全慶応	

1	0
1	1
1	0
2	0
計 5 — 1	審判, 名取
五八ク —	白水会
3	0
0	1
0	2
1	0
計 4 — 3	審判, 藤岡
三位決定戦 7月30日	
白水会 —	全慶応
2	2
0	2
1	1
2	1
計 5 — 6	審判, 近藤

決勝戦 7月30日	
桜泳会	五八ク
猪口 GK	檀野
柴田 LB	浅沼
青山 RB	村川
内田 HB	山本
米原 LF	宮村
酒井 CF	高木
藤本 RF	阿部
田久保	遊佐
桑山	堀
遊井	桑原
房野	

7	{	2	1	
		2	1	
		2	0	
		1	0	
	}			2
				審判, 名取

第 3 回 末 弘 記 念 室 内 選 手 権

4月1日, 2日 東京都屋内プール (50m) 公認
 気温 25° 水温25.9°

男子ノ部

100m自由形

予選A

1 中村 良三 (駿台ク)	58.5
2 杉本 汎史 (桜泳会)	58.7
3 菅 正文 (白水会)	59.5

B

1 石原 勝記 (BSタイヤ)	57.6
2 松岡 義郎 (桜泳会)	59.6

C

1 D.ディクソン(豪州)	58.0
2 福井 清 (稲泳会)	58.7
3 見上 勝紀 (白水会)	59.2

D

1 後藤 忠治 (桜泳会)	59.0
2 竹本 昭和 (稲泳会)	59.2
3 清水 啓吾 (三水会)	59.8
4 山口 正人 (五条高OB)	59.8

E

1 中谷 庸彦 (白水会)	58.6
---------------	------

2 十河 英記 (桜泳会)	59.9
F	
1 田代 信一 (八代東高)	59.6

準決勝A

1 石原 勝記 (BSタイヤ)	58.4
2 杉本 汎史 (桜泳会)	58.8
3 見上 勝紀 (白水会)	58.8
4 中谷 庸彦 (〃)	58.9
5 竹本 昭和 (稲泳会)	58.9
6 田代 信一 (八代高)	59.1
7 清水 啓吾 (三水会)	59.2

B

1 D.ディクソン(豪州)	57.9
2 後藤 忠治 (桜泳会)	58.5
3 福井 清 (稲泳会)	58.5
4 中村 良三 (駿台ク)	58.8
5 菅 正文 (白水会)	58.8
6 松岡 義郎 (桜泳会)	59.1
7 山口 正人 (五条高OB)	1:00.0

決勝

1 D.ディクソン(豪州)	56.3
---------------	------

2 中村 良三 (駿台ク)	57.8
3 石原 勝記 (BSタイヤ)	57.8
4 福井 清 (稲泳会)	58.1
5 後藤 忠治 (桜泳会)	58.4
6 杉本 汎史 (〃)	58.8
7 見上 勝紀 (白水会)	58.8

200m自由形

予選A

1 A.ウッド (豪州)	2:10.0
2 十河 英記 (稲泳会)	2:15.3

B

1 杉本 汎史 (桜泳会)	2:12.7
2 吉村 喜平 (旭化成)	2:13.9
3 鈴木 高行 (聖ポール)	2:15.6

C

1 山中 毅 (大洋漁業)	2:10.6
2 笈田 光治(宮乃城高OB)	2:13.1
3 岡部 幸明 (稲泳会)	2:13.4
4 北村 忠夫 (聖ポール)	2:14.1
5 見上 勝紀 (白水会)	2:14.2

D

- 1 石原 勝記 (BSタイヤ) 2:10.5
- 2 岩本 功治(柳井商工OB) 2:14.3
- 3 松岡 義郎 (桜泳会) 2:14.3
- 4 中村 良三 (駿台ク) 2:14.7

E

- 1 石井 宏 (桜泳会) 2:10.5
- 2 後藤 忠治 () 2:12.0
- 3 国分 道男 (法泳会) 2:12.8
- 4 戸崎 修身 (聖ポール) 2:15.8

F

- 1 D.ディクソン (豪州) 2:09.9
- 2 丸山 長敏 (BSタイヤ) 2:10.5
- 3 門口 伯康 (稲泳会) 2:10.6

決勝

- 1 山中 毅 (大洋漁業) 2:03.0
- 2 D.ディクソン (豪州) 2:05.4
- 3 A.ウッド () 2:05.4
- 4 石井 宏 (桜泳会) 2:09.1
- 5 石原 勝記 (BSタイヤ) 2:10.5
- 6 丸山 長敏 () 2:10.9
- 7 門口 伯康 (稲泳会) 2:11.4
- 8 杉本 汎史 (桜泳会) 2:12.4
- 9 後藤 忠治 () 2:12.9

400m自由形

予選A

- 1 石井 宏 (桜泳会) 4:37.7
- 2 今枝 啓祐 (駿台ク) 4:48.8
- 3 石田 修一 (白水会) 4:49.8
- 4 小野寺正志 (法泳会) 4:56.1
- 5 講本 昌男 (同志社大) 4:57.0

B

- 1 丸山 長敏 (BSタイヤ) 4:46.2
- 2 松木登八郎 (桜泳会) 4:47.8
- 3 森田 武男 (日大豊山高) 4:54.4
- 5 古木 輝巳 (白水会) 4:57.0

C

- 1 山中 毅 (大洋漁業) 4:33.4
- 2 A.ウッド (豪州) 4:33.4
- 3 佐々木末昭 (臼杵高OB) 4:44.7
- 4 一色 譲 (桜泳会) 4:48.7
- 5 藤田 昌計 (川崎重工) 4:49.4

D

- 1 R.ウィンドル (豪州) 4:37.2
- 2 門口 伯康 (稲泳会) 4:47.5
- 3 国分 通男 (法泳会) 4:47.7

E

- 1 梅本 利三 (桜泳会) 4:39.9
- 2 中坊 昌美 (BSタイヤ) 4:49.7

F

- 1 庄司 敏夫 (BSタイヤ) 4:45.0
- 2 阿部 紀夫 (法泳会) 4:50.8
- 3 北村 忠夫 (聖ポール) 4:50.8
- 4 島田勇次郎 (稲泳会) 4:55.8
- 5 田中 正紀 (駿台ク) 4:56.2

決勝

- 1 山中 毅 (大洋漁業) 4:20.6
(1:00.4 2:05.7 3:12.9)
- 2 A.ウッド (豪州) 4:24.9
- 3 R.ウィンドル () 4:25.5
- 4 梅本 利三 (稲泳会) 4:34.1
- 5 石井 宏 (桜泳会) 4:37.1
- 6 庄司 敏夫 (BSタイヤ) 4:43.6
- 7 丸山 長敏 () 4:44.2
- 8 佐々木末昭 (臼杵高OB) 4:44.5
- 9 門口 伯康 (桜泳会) 4:45.8

800m自由形

予選A

- 1 今枝 啓祐 (駿台ク) 10:04.7
- 2 阿部 紀夫 (稲泳会) 10:08.4
- 3 石田 修一 (白水会) 10:19.4
- 4 井原 啓之 (聖ポール) 10:19.4
- 5 島田勇次郎 (稲泳会) 10:27.5

B

- 1 佐々木末昭(臼杵高OB) 10:03.9
- 2 中坊 昌義(BSタイヤ) 10:08.9
- 3 坂元 昭紀 (法泳会) 10:12.5
- 4 佐原 年昭 (白水会) 10:21.4
- 5 田中 正紀 (駿台ク) 10:29.7

C

- 1 R.ウィンドル(豪州) 9:42.3
- 2 梅本 利三 (桜泳会) 10:00.8
- 3 庄司 敏夫(BSタイヤ) 10:05.4
- 4 一色 譲 (桜泳会) 10:12.9
- 5 小野寺正志 (法泳会) 10:25.4

D

- 1 藤田 正計 (川崎重工) 10:05.7
- 2 松木登八郎 (桜泳会) 10:09.8
- 3 唐松長一(柳井商工OB) 10:20.9

決勝

- 1 R.ウィンドル(豪州) 9:13.9
- 2 梅本 利三 (稲泳会) 9:41.0
- 3 庄司 敏夫 (BSタイヤ) 9:58.2

- 4 佐々木末昭 (臼杵高OB) 9:59.6
- 5 中坊 昌夫 (BSタイヤ) 10:02.9
- 6 藤田 昌計 (川崎重工) 10:02.9
- 7 阿部 紀夫 (法泳会) 10:04.8
- 8 松木登八郎 (桜泳会) 10:04.8
- 9 今枝 啓祐 (駿台ク) 10:09.5

100m平泳

予選A

- 1 樋口 裕 (白水会) 1:15.0
- 2 中村 昌彦 (桜泳会) 1:17.3
- 3 岡崎 貞彦 (高知商OB) 1:17.4
- 4 福永 恵輔(日大豊山OB) 1:18.0

B

- 1 木村 智彦 (駿台ク) 1:16.7
- 2 衛藤 孝 (桜泳会) 1:17.4
- 3 重松 親征 (朝倉農高) 1:17.4

C

- 1 和気 統 (桜泳会) 1:14.9
- 2 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:15.6
- 3 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 1:16.4
- 4 中田馨二郎 (白水会) 1:17.8

D

- 1 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:14.3
- 2 中川 清 (稲泳会) 1:14.4
- 3 木曾 雄吉 (聖ポール) 1:16.3
- 4 宮本 英 (白水会) 1:17.6

E

- 1 大崎 剛彦 (稲泳会) 1:14.9
- 2 篠田 博史 (白水会) 1:16.5
- 3 寺尾 友孝 (聖ポール) 1:17.0
- 4 榎本俊一郎 (桜泳会) 1:17.3
- 5 野々村嘉昭 (白水会) 1:17.6

F

- 1 敷石 義秋 (桜泳会) 1:16.3
- 2 名倉 健蔵 (BSタイヤ) 1:17.7

準決勝A

- 1 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:13.9
- 2 樋口 裕 (白水会) 1:14.2
- 3 大崎 剛彦 (桜泳会) 1:14.6
- 4 敷石 義秋 (桜泳会) 1:15.1
- 5 寺尾 友孝 (聖ポール) 1:16.3
- 6 衛藤 孝 (桜泳会) 1:16.8
- 7 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 1:16.9

B

- 1 中川 清 (稲泳会) 1:13.1
- 2 和気 統 (桜泳会) 1:15.4

- 3 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:15.9
 4 木曾 雄吉 (聖ポール) 1:16.5
 5 篠田 博史 (白水会) 1:16.8
 6 木村 智彦 (駿台ク) 1:16.8
 7 中村 昌彦 (桜泳会) 1:17.7

決勝

- 1 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 1:13.3
 2 和気 統 (桜泳会) 1:13.7
 3 中川 清 (稲泳会) 1:14.0
 4 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:14.2
 5 樋口 裕 (白水会) 1:14.2
 6 大崎 剛彦 (稲泳会) 1:14.9
 7 敷石 義秋 (桜泳会) 1:15.8

200m平泳

予選A

- 1 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 2:45.2
 2 中川 清 (稲泳会) 2:45.2
 3 木曾 雄吉 (聖ポール) 2:47.6
 4 山中 堂志 (白水会) 2:47.6

B

- 1 和気 統 (桜泳会) 2:43.6
 2 樋口 裕 (白水会) 2:44.9
 3 木村 智彦 (駿台ク) 2:45.6
 4 加藤 浩時 (稲泳会) 2:48.8
 5 小笹 勝二 (岩手高OB) 2:49.2

C

- 1 敷石 義秋 (桜泳会) 2:43.0
 2 佐藤 行雄 (稲泳会) 2:49.0

D

- 1 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 2:41.5
 2 重松 盛人 (八幡製鉄) 2:47.3
 3 東 英明 (駿台ク) 2:47.4
 4 中田馨二郎 (白水会) 2:49.5

E

- 1 岡崎 貞彦 (高知商OB) 2:44.4
 2 篠田 博史 (白水会) 2:47.6
 3 石川 健二 (日大豊山高) 2:48.1
 4 名倉 健蔵 (BSタイヤ) 2:49.6

決勝

- 1 和気 統 (桜泳会) 2:41.6
 2 松本健次郎 (佐伯鶴城高) 2:41.9
 3 樋口 裕 (白水会) 2:42.4
 4 敷石 義秋 (桜泳会) 2:42.8
 5 山南 宏一 (佐伯鶴城高) 2:44.7
 6 中川 清 (稲泳会) 2:45.3
 7 岡崎 貞彦 (高知商OB) 2:45.9

- 8 重松 盛人 (八幡製鉄) 2:46.1
 9 木村 智彦 (駿台ク) 2:46.1

100mバタフライ

予選A

- 1 増永 文昭 (西田病院) 1:04.3
 2 須藤 洋一 (駿台ク) 1:05.2
 3 飯田 智康 (法泳会) 1:05.6
 4 赤毛 秀次 (尾道高OB) 1:05.9
 5 吉無田春男 (稲泳会) 1:05.9

B

- 1 井筒 賢造 (稲泳会) 1:04.5
 2 大賀 睦郎 (八代東高) 1:06.0
 3 久保田宇利 (自由ヶ丘高) 1:06.0
 4 神坂 忠一 (津山高OB) 1:06.1

C

- 1 開田 幸一 (日興証券) 1:05.3
 2 小戎 紀一 (白水会) 1:06.7
 3 宮脇 隆史 (法泳会) 1:06.8
 4 水野 隆晴 (小牧高OB) 1:06.8

D

- 1 富安 守弘 (白水会) 1:04.6

E

- 1 三好 恭弘 (白水会) 1:05.8
 2 小島 英光 (法泳会) 1:06.4

準決勝A

- 1 開田 幸一 (日興証券) 1:03.5
 2 増永 文昭 (西田病院) 1:03.5
 3 須藤 洋一 (駿台ク) 1:03.8
 4 吉無田春男 (稲泳会) 1:04.1
 5 神坂 忠一 (津山高OB) 1:04.9

- 6 小島 英光 (法泳会) 1:05.4
 7 赤尾 秀次 (尾道高OB) 1:05.7

B

- 1 井筒 賢造 (稲泳会) 1:03.5
 2 富安 守弘 (白水会) 1:04.5
 3 飯田 智康 (法泳会) 1:05.3
 4 久保田宇利 (自由ヶ丘高) 1:05.4
 5 三好 恭弘 (白水会) 1:05.6

- 6 大賀 睦郎 (八代東高) 1:05.7
 7 小戎 紀一 (白水会) 1:07.6

決勝

- 1 増永 文昭 (西田病院) 1:02.2
 2 井筒 賢造 (稲泳会) 1:02.9
 3 開田 幸一 (日興証券) 1:02.9
 4 須藤 洋一 (駿台ク) 1:03.3
 5 富安 守弘 (白水会) 1:03.9

- 6 吉無田春男 (稲泳会) 1:04.7
 7 飯田 智康 (法泳会) 1:05.4

- 6 吉無田春男 (稲泳会) 1:04.7
 7 飯田 智康 (法泳会) 1:05.4

200mバタフライ

予選A

- 1 三好 恭弘 (白水会) 2:27.5
 2 富田紀久男 (桜泳会) 2:31.2
 3 神坂 忠一 (津山高OB) 2:31.5

B

- 1 吉無田春男 (稲泳会) 2:22.7
 2 水野 隆晴 (小牧高OB) 2:29.8
 3 小戎 紀一 (白水会) 2:34.4

C

- 1 井筒 賢造 (稲泳会) 2:25.1
 2 飯田 智康 (法泳会) 2:27.3
 3 富安 守弘 (白水会) 2:29.4
 4 金親 義弘 (大阪高) 2:31.8

D

- 1 須藤 洋一 (駿台ク) 2:24.7
 2 増永 文昭 (西田病院) 2:27.8
 3 鈴木 竜蔵 (白水会) 2:31.2
 4 宮脇 隆史 (法泳会) 2:32.6

決勝

- 1 井筒 賢造 (稲泳会) 2:20.7
 2 吉無田春男 (") 2:22.2
 3 須藤 洋一 (駿台ク) 2:23.3
 4 増永 文昭 (西田病院) 2:24.6
 5 飯田 智康 (法泳会) 2:26.9

- 6 三好 泰弘 (白水会) 2:28.9
 7 小野 隆晴 (小牧高OB) 2:30.0
 8 富安 守弘 (白水会) 2:31.3
 9 富田紀久男 (桜泳会) 2:34.3

100m背泳

予選A

- 1 渡辺 和夫 (東京トヨペ) 1:04.7
 2 中原 紀 (八幡製鉄) 1:07.4
 3 古賀 宣樹 (国士館大) 1:07.4
 4 酒井 良明 (BSタイヤ) 1:08.8

B

- 1 五十嵐武清 (修徳高) 1:07.7
 2 徳武 茂 (白水会) 1:10.3

C

- 1 福島滋雄 (日大豊山高OB) 1:06.6
 2 広瀬 俊之 (成城大) 1:07.4
 3 才野 武士 (聖ポール) 1:08.0
 4 菅 征夫 (佐伯鶴城OB) 1:09.8
 5 高島 隆二 (三水会) 1:10.2

- 6 三杉 庄治 (天理高) 1:10.5
D
1 富田 一雄 (BSタイヤ) 1:04.8
2 片岡 輝男 (聖ポール) 1:07.4
3 伊藤 圭祐 (中京商高) 1:07.7
4 中島 勝昭 (駿台ク) 1:09.3
5 藤原 浩 (法泳会) 1:10:3
6 青木 守喬 (日大豊山) 1:10.5

決勝

- 1 渡辺 和夫 (東京トヨベ) 1:04.2
2 富田 一雄 (BSタイヤ) 1:04.5
3 福島 滋雄 (日大豊山高) 1:05.9
4 広瀬 俊之 (成城大) 1:07.1
5 片岡 輝男 (聖ポール) 1:07.4
6 中原 紀 (八幡製鉄) 1:07.7
7 古賀 宣樹 (国士館大) 1:08.8

200m背泳

予選A

- 1 広瀬 俊之 (成城大) 2:29.0
2 伊藤 圭祐 (中京商高) 2:30.4
3 五十嵐武清 (修徳高) 2:31.4

B

- 1 富田 一雄 (BSタイヤ) 2:25.5
2 才野 武士 (聖ポール) 2:27.8
3 中原 紀 (八幡製鉄) 2:28.1
4 徳武 茂 (白水会) 2:37.8
5 舟橋 淑行 (稲泳会) 2:30.0
6 青木 守喬 (日大豊山) 2:39.9

C

- 1 渡辺 雅夫 (東京トヨベ) 2:28.3
2 片岡 輝男 (聖ポール) 2:29.4
3 中島 勝昭 (駿台ク) 2:31.1
4 酒井 良昭 (BSタイヤ) 2:33.2

D

- 1 福島 滋雄(日大豊山OB)2:27.8
2 三杉 庄治 (天理高) 2:34.0
3 商嶺 隆二 (三水会) 2:34.8
4 菅 征夫(佐伯鶴城OB)2:34.8
5 田中 透 (三瀬高OB) 2:38.5
6 河田 俊輔 (桜泳会) 2:39.3

決勝

- 1 富田 一雄 (BSタイヤ) 2:23.6
2 渡辺 和夫 (東京トヨベ) 2:25.5
3 福島 滋雄(日大豊山OB)2:27.3
4 才野 武士 (聖ポール) 2:27.6
5 中原 紀 (八幡製鉄) 2:28.3

- 6 広瀬 俊之 (成城大) 2:28.3
7 片岡 輝男 (聖ポール) 2:28.8
8 伊藤 圭祐 (中京商) 2:29.1
9 中島 勝昭 (駿台ク) 2:30.0

400m個人メドレー

- 1 久保田宇利 (自由丘OB) 5:54.5
2 藤田 修孝 (日大豊山中) 6:34.0

女子ノ部

100m自由形

予選A

- 1 J.アンドリュウ(豪州) 1:09.4
2 窪 美代子 (旭化成) 1:10.3
3 斎藤 弘子 (椛山女) 1:12.3
4 高嶋 美枝 (成女ク) 1:16.1
5 宮崎孔美子 (白木屋) 1:16.8

B

- 1 H.パーティー(豪州) 1:07.2
2 大岩 香苗 (椛山女) 1:12.6
3 高野 洋子 (淑徳高) 1:14.2

C

- 1 佐藤 喜子 (ロート製薬) 1:06.8
2 江坂 君子 (椛山女) 1:09.3
3 玉木 良江 (成女高) 1:16.7

D

- 1 殿上 玲子 (成女ク) 1:13.1
2 辻本 妙子 (五条高) 1:13.8
3 深谷 澄子 (椛泳会) 1:16.5
4 戸田 史 (成女高) 1:16.5

決勝

- 1 H.パーティー(豪州) 1:05.8
2 佐藤 喜子 (ロート製薬) 1:07.3
3 J.アンドリュウ(豪州) 1:07.8
4 江坂 君子 (椛山女) 1:09.0
5 窪 美代子 (旭化成) 1:09.9
6 斎藤 弘子 (椛山女) 1:13.0
7 大岩 香苗 (椛山女) 1:13.9

200m自由形

予選A

- 1 芝原 笑子 (旭化成) 2:36.4
2 島川 浩子 (白木屋) 2:40.9
3 殿上 玲子 (成女高) 2:46.2
4 大岩 香苗 (椛山女) 2:46.3

B

- 1 江坂 君子 (椛山女) 2:34.6
2 窪 美代子 (旭化成) 2:36.1

- 3 虎野 昭子 (帝塚山高) 2:45.5
4 木村トヨ子 (筑紫女) 2:47.7
5 新子 正子 (五条高) 2:49.3

C

- 1 H.パーティー(豪州) 2:36.5
2 辻本 妙子 (五条高) 2:48.4
3 小畑 昭子 (筑紫女) 2:49.1

決勝

- 1 H.パーティー(豪州) 2:23.5
2 窪 美代子 (旭化成) 2:33.7
3 江坂 君子 (椛山女) 2:33.9
4 芝原 笑子 (旭化成) 2:34.5
5 島川 浩子 (白木屋) 2:39.5
6 殿上 玲子 (成女高) 2:43.6
7 木村トヨ子 (筑紫女) 2:43.8
8 大岩 香苗 (椛山女) 2:45.7

400m自由形

予選A

- 1 H.パーティー(豪州) 5:22.9
2 芝原 笑子 (旭化成) 5:32.1
3 虎野 昭子 (帝塚山高) 5:43.5
4 斎藤 弘子 (椛山女) 5:50.8
5 高野 洋子 (淑徳高) 6:04.6
6 早川 一枝 (富士中) 6:16.2

B

- 1 島川 浩子 (白木屋) 5:37.2
2 木村 豊子 (筑紫女) 5:55.8
3 新子 正子 (五条高) 6:03.0
4 小畑 昭子 (畑紫女) 6:03.6
5 斎 尚子 (椛泳会) 6:10.4
6 梅下 延子 (天理高) 6:11.1

決勝

- 1 H.パーティー(豪州) 5:10.7
2 芝原 笑子 (旭化成) 5:31.0
3 虎野 昭子 (帝塚山高) 5:32.3
4 島川 浩子 (白木屋) 5:33.5
5 斎藤 弘子 (椛山女) 5:51.9
6 木村 豊子 (筑紫女) 5:53.3
7 小畑 昭子 (〃) 5:59.6
8 新子 正子 (五条高) 6:00.9
9 高野 洋子 (淑徳高) 6:01.4

100m平泳

予選A

- 1 山本 憲子 (筑紫女) 1:29.8
2 古賀 春恵 (日女大) 1:30.6
3 浜中 翠 (椛山女) 1:33.1

- 4 秋山 幸子 (成女高) 1:36.3
 5 磯村 昌子 (淑徳高) 1:36.4
 6 渡辺 和子 (東田中) 1:36.9

B

- 1 高松 好子 (川崎重工) 1:26.2
 2 山崎 幸子 (成女高) 1:28.0
 3 田上 和子 (八代三中) 1:30.5
 4 田中 清恵 (天理高) 1:30.5
 5 河合 和美 (淑徳高) 1:32.0
 6 村島 伊志乃 (白木屋) 2:34.2
 7 永坂美恵子 (淑徳高) 1:35.3
 8 佐藤 園子 (二階堂高) 1:38.0
 9 小島 史子 (梶泳会) 1:38.8

決勝

- 1 高松 好子 (川崎重工) 1:25.1
 2 山崎 幸子 (成女高) 1:27.0
 3 田中 清恵 (天理高) 1:28.7
 4 山本 憲子 (筑紫女) 1:28.9
 5 田上 和子 (八代三中) 1:30.0
 6 古賀 春恵 (日女大) 1:30.5
 7 河合 和美 (淑徳高) 1:31.4

200m平泳

予選A

- 1 山崎 幸子 (成女高) 3:08.8
 2 田中 清恵 (天理高) 3:10.3
 3 山本 憲子 (筑紫女) 3:15.5
 4 河合 和美 (淑徳高) 3:16.1
 5 小島 史子 (梶泳会) 3:29.8

B

- 1 高松 好子 (川崎重工) 3:01.2
 2 田上 和子 (八代三中) 3:16.5
 3 生田 敏子 (清水丘高) 3:17.6
 4 浜中 翠 (梶山女) 3:19.8
 5 秋山 幸子 (成女高) 3:19.8
 6 永坂美恵子 (淑徳高) 3:21.5
 7 磯村 昌子 (〃) 3:23.0
 8 佐藤 園子 (二階堂高) 3:28.8

決勝

- 1 高松 好子 (川崎重工) 2:58.2
 2 田中 清恵 (天理高) 3:08.1
 3 山崎 幸子 (成女高) 3:10.2
 4 河合 和美 (淑徳高) 3:13.9
 5 山本 憲子 (筑紫女) 3:14.3
 6 生田 敏子 (清水丘高) 3:16.0
 7 浜中 翠 (梶山女) 3:17.6
 8 田上 和子 (八代三中) 3:17.9

- 9 秋山 幸子 (成女高) 3:21.5

100mバタフライ

予選A

- 1 松中佐江子 (帝塚山学) 1:18.5
 2 森下多恵子 (天理高) 1:24.0
 3 村松美智子 (淑徳高) 1:25.2
 4 山田佐代子 (五条高) 1:25.7
 5 中西美智代 (〃) 1:32.6
 6 行縄 美代 (白木屋) 1:34.9

B

- 1 J.アンドリュウ(豪州) 1:19.2
 2 黒田 栞子 (二階堂高) 1:21.0
 3 諸林八重子 (旭化成) 1:24.5
 4 高橋 栄子 (佐伯鶴城) 1:26.2
 5 宮原真紀子 (白木屋) 1:27.9
 6 和田 和美 (淑徳高) 1:28.0
 7 川上 静江 (〃) 1:31.2

決勝

- 1 J.アンドリュウ(豪州) 1:08.9 (世界新)
 2 松中佐江子 (帝塚山高) 1:16.7
 3 黒田 栞子 (二階堂高) 1:20.8
 4 諸林八重子 (旭化成) 1:22.4
 5 森下多恵子 (天理高) 1:23.2
 6 山田佐代子 (五条高) 1:24.7
 7 村松美智子 (淑徳高) 1:25.0

200mバタフライ

決勝

- 1 J.アンドリュウ(豪州) 2:38.4
 2 黒田 栞子 (二階堂高) 2:55.9
 3 諸林八重子 (旭化成) 3:10.2
 4 村松美智子 (淑徳高) 3:10.8
 5 宮原真紀子 (白木屋) 3:15.5
 6 高橋 栄子 (佐伯鶴城) 3:17.3
 7 森下多恵子 (天理高) 3:19.8
 8 和田 靖子 (淑徳高) 3:23.8
 9 中村 靖子 (三菱銀行) 3:28.3

100m背泳

予選A

- 1 四本 博美 (鹿児島水協) 1:19.5
 2 中島 孝子 (横浜学) 1:20.4
 3 松元 好子 (旭化成) 1:21.7
 4 山中サカエ (成徳高) 1:27.7
 5 福島利恵子 (成女高) 1:28.9
 6 白井 和子 (二階堂高) 1:29.0

B

- 1 松永 涼子 (天理高) 1:21.1
 2 岡田八詠子 (五条高) 1:23.6
 3 金井 厚子 (二階堂高) 1:24.1
 4 林 かほり (淑徳高) 1:24.2
 5 岸 赫子 (梶山女) 1:26.9
 6 望月三枝子 (成女高) 1:27.5

決勝

- 1 四本 博美 (鹿児島水協) 1:18.8
 2 中島 孝子 (横浜学) 1:19.5
 3 松永 涼子 (天理高) 1:20.7
 4 松元 好子 (旭化成) 1:21.1
 5 岡田八詠子 (五条高) 1:24.2
 6 金井 厚子 (二階堂高) 1:24.2
 7 林 かほり (淑徳高) 1:25.2

200m背泳

予選A

- 1 四本 博美 (鹿児島水協) 2:51.8
 2 松永 涼子 (天理高) 2:55.6
 3 金井 厚子 (二階堂高) 3:01.9
 4 佐藤 礼子 (白木屋) 3:07.1
 5 林 かほり (淑徳高) 3:09.5
 6 浦上 涼子 (熊西高) 3:11.6

B

- 1 中島 孝子 (横浜学) 2:53.5
 2 松元 好子 (旭化成) 2:58.0
 3 岸 赫子 (梶山女) 3:03.7
 4 岡田八詠子 (五条高) 3:08.3
 5 山中サカエ (成徳高) 3:08.4
 6 望月三枝子 (成女高) 3:10.7
 7 白井 和恵 (二階堂高) 3:10.9

決勝

- 1 四本 博美 (鹿児島水協) 2:50.0
 2 松永 涼子 (天理高) 2:52.8
 3 中島 孝子 (横浜学) 2:54.2
 4 松元 妙子 (旭化成) 2:57.3
 5 金井 厚子 (二階堂高) 3:02.1
 6 岸 赫子 (梶山女) 3:04.4
 7 佐藤 礼子 (白木屋) 3:05.8
 8 山中サカエ (成徳高) 3:13.0
 9 岡田八詠子 (五条高) 3:13.5

200m個人メドレー

- 1 村松美智子 (淑徳高) 3:04.7
 2 黒田 栞子 (二階堂高) 3:04.9
 3 島川 浩子 (白木屋) 3:07.8
 4 宮崎孔美子 (〃) 3:10.3
 5 佐藤 礼子 (〃) 3:12.9

6 中村 靖子 (二階堂高) 3:28.1 7 飯田 尚子 (二階堂高) 3:30.2

第 33 回 早 慶 対 抗

6月4日 神宮プール (50m) 公認

気温26° 水温23°

100m自由形

1 福井 清 (早 大) 58.5
 2 清水 啓吾 (慶 大) 58.6
 3 竹本 昭和 (早 大) 59.2
 4 十河 英紀 (") 59.8
 5 餅米 清治 (慶 大) 1:00.5
 6 田村 武司 (") 1:01.4

200m自由形

1 清水 啓吾 (慶 大) 2:08.5
 2 門口 伯康 (早 大) 2:09.6
 3 岡部 幸明 (") 2:11.4
 4 竹本 昭和 (") 2:16.7
 5 餅米 清治 (慶 大) 2:17.8
 6 田村 武司 (") 2:18.4

400m自由形

1 梅本 利三 (早 大) 4:38.4
 2 門口 伯康 (") 4:44.6
 3 岡部 幸明 (") 4:45.0
 4 竹林 功男 (慶 大) 4:45.6
 5 茂沢 方尙 (") 5:04.9

6 宮内 雅範 (慶 大) 5:12.9

1500m自由形

1 梅本 利三 (早 大) 18:38.5
 2 竹村 功男 (慶 大) 18:59.5
 3 山田 康弘 (早 大) 19:25.4
 4 奥田 桂次 (") 19:52.6
 5 宮内 雅範 (慶 大) 21:03.6
 6 茂沢 方尙 (") 21:21.8

200m平泳

1 大崎 剛彦 (早 大) 2:40.8
 2 中川 清 (") 2:42.7
 3 加藤 浩時 (") 2:44.5
 4 鈴木 紘之 (慶 大) 2:53.0
 5 大串昌司郎 (") 2:56.8
 6 加藤 靖彦 (") 2:56.8

200mバタフライ

1 井筒 賢造 (早 大) 2:21.0
 2 吉無田春男 (") 2:21.8
 3 岩本 光司 (") 2:23.2
 4 芥川己之介 (慶 大) 2:30.6

5 丸谷 良介 (慶 大) 2:38.0

6 中村 孝雄 (") 2:39.4

200m背泳

1 国清 勲 (早 大) 2:28.9
 2 高嶺 隆二 (慶 大) 2:32.0
 3 舟橋 淑行 (早 大) 2:35.3
 4 吉武 慎博 (") 2:40.1
 5 鈴木 勝 (慶 大) 2:44.3

800mリレー

1 柳谷・門口・岡部・梅本 (早 大) 8:50.9
 2 竹林・餅米・清水・田村 (慶 大) 9:06.5

400mメドレーリレー

1 高嶺・鈴木・芥川・田村 (慶 大) 4:34.9

得点

早大 36
 慶大 12

第 26 回 日・明・立三大学対抗

6月11日 神宮プール (50m) 認公

気温28° 水温23°5

100m自由形

1 中村 良三 (明) 58.5
 2 杉本 汎史 (日) 58.5
 3 後藤 忠治 (") 58.5
 4 松岡 義郎 (") 59.4
 5 戸崎 修身 (立) 59.8

200m自由形

1 石井 宏 (日) 2:08.0
 2 後藤 忠治 (") 2:11.2
 3 鈴木 高行 (立) 2:12.6
 4 戸崎 修身 (") 2:13.8

400m自由形

1 松木登八郎 (日) 4:36.9
 2 石井 宏 (") 4:42.1
 3 一色 譲 (") 4:45.3
 4 今枝 啓祐 (明) 4:46.5

800m自由形

1 松木登八郎 (日) 9:42.8
 2 今枝 啓祐 (明) 9:55.2
 3 森田 武男 (日) 9:56.2
 4 一色 譲 (") 10:03.0

200m平泳

1 和氣 統 (日) 2:39.8
 2 敷石 義秋 (") 2:40.1
 3 岡崎 貞彦 (明) 2:42.7
 4 石川 健二 (日) 2:43.3

200mバタフライ

1 須藤 洋一 (明) 2:22.4
 2 富田紀久男 (日) 2:25.0
 3 神坂 忠一 (立) 2:26.4
 4 水野 隆晴 (明) 2:27.2

200m背泳

1 福島 滋雄 (日) 2:24.3

2 勝又 完一 (明) 2:27.5	8:56.7	4:23.5
3 片岡 輝男 (立) 2:28.1	3 今枝・秋元・岩本・中村 (明)	3 片岡・木曾・神坂・戸崎 (立)
4 才野 武士 (〃) 2:28.1	9:01.8	4:27.5

800mリレー

1 後藤・杉本・松木・石井 (日)	8:43.3
2 鈴木・戸崎・小泉・北村 (立)	

400mメドレー・リレー

1 勝又・岡崎・須藤・中村 (明)	4:23.2
2 福島・衛藤・中島・山口 (日)	

得点

日大	92
明大	47
立大	33

第 6 回 日本大学 中央大学 対抗水上競技大会

6月18日 神宮プール (50m) 公認

気温 水温

100m自由形

1 松岡 義郎 (日)	58.9
2 見上 勝紀 (中)	58.9
3 後藤 忠治 (日)	59.0
4 杉本 汎史 (〃)	59.0
5 中谷 庸彦 (中)	59.2
6 森田 公人 (日)	59.4

4.50.0	6:05.6	7:21.3
8:34.2	9:52.9	11:08.1
12:23.8	13:39.1	14:54.6
16:09.5	17:25.8)	
3 佐原 年明 (中)	18:48.8	
4 一色 譲 (日)	18:56.4	
5 石井 宏 (〃)	18:59.2	
6 森田 武男 (〃)	19:01.1	

1 富安 守弘 (中)	2:24.6
2 三好 恭弘 (〃)	2:24.7
3 鈴木 竜蔵 (〃)	2:24.8
4 馬場 政儀 (〃)	2:27.6
5 中島 功 (日)	2:28.7

200m自由形

1 藤本 達夫 (中)	2:06.2
2 後藤 忠治 (日)	2:09.5
3 見上 勝紀 (中)	2:10.2
4 杉本 汎史 (日)	2:10.6
5 石田 修一 (中)	2:11.7
6 松岡 義郎 (日)	2:12.1

100m平泳

1 敷石 義秋 (日)	1:13.7
2 和気 統 (〃)	1:13.8
3 中村 昌彦 (〃)	1:14.8
4 樋口 裕 (中)	1:14.9
5 山中 堂志 (〃)	1:15.4
6 石川 健二 (日)	1:15.4

100m背泳

1 福島 滋雄 (日)	1:07.4
2 徳武 茂 (中)	1:09.4
3 管 征夫 (〃)	1:10.1
4 河田 俊輔 (日)	1:10.6
5 田中 透 (〃)	1:10.7
6 坂口 達也 (中)	1:10.7

400m自由形

1 藤本 達夫 (中)	4:33.1
(1:03.5 2:13.9 3:25.3)	
2 松木登八郎 (日)	4:35.5
3 石井 宏 (〃)	4:36.0
4 佐々木末昭 (中)	4:38.5
5 一色 譲 (日)	4:44.4
6 森田 武男 (〃)	4:46.8

200m平泳

1 敷石 義秋 (日)	2:38.2
(1:11.6)	
2 石川 健二 (〃)	2:40.5
3 和気 統 (〃)	2:40.8
4 樋口 裕 (中)	2:41.3
5 野々村嘉昭 (〃)	2:44.1
6 中村 昌彦 (日)	2:44.9

200m背泳

1 福島 滋雄 (日)	2:22.4
(1:09.1)	
2 坂口 達也 (中)	2:31.3
3 管 征夫 (〃)	2:33.2
4 徳武 茂 (〃)	2:33.6
5 田中 透 (日)	2:34.0

1500m自由形

1 松木登八郎 (日)	18:35.7
(1:06.6 2:19.6 3:34.2	
4:49.8 6:05.7 7:21.6	
8:37.2 9:53.3 11:08.4	
12:24.2 13:39.7 14:54.3	
16:09.6 17:25.8)	
2 佐々木末昭 (中)	18:36.2
(1:06.8 2:20.0 3:34.5	

100mバタフライ

1 中島 功 (日)	1:02.0
2 富安 守弘 (〃)	1:03.5
3 三好 恭弘 (中)	1:05.9
4 鈴木 竜蔵 (〃)	1:05.9
5 小我 紀一 (〃)	1:06.6
6 武市 啓志 (日)	1:07.5

800mリレー

1 松木・後藤・杉本・石井 (日)	8:34.2
(2:09.0 2:08.6 2:08.9 2:07.7)	
2 見上・佐々木・古木・藤本 (中)	8:38.0

400mメドレー・リレー

1 福島・敷石・中島・後藤 (日)	4:16.2
(1:05.6 1:13.4 1:00.1 57.1)	
2 管・富安・樋口・藤本 (中)	4:24.1

附属高校800mリレー

(日大豊山) 9:11.3

(中大杉並) 9:55.3

1 吉見・丸井・山田・森田

2 堤・姫野・横川・鈴木

第 8 回 早 大 対 九 州

6月11日

小倉市民プール (50m) 公認

気温26°C 水温22°C

100m自由形

1 石原 勝記	(九)	58.4
2 福井 清	(早)	58.4
3 吉無田春男	(〃)	59.3
4 竹本 昭和	(〃)	59.9

200m自由形

1 福井 誠	(九)	2:06.4
2 吉無田春男	(早)	2:09.0
3 岡部 幸明	(〃)	2:11.0
4 門口 伯康	(〃)	2:11.1

400m自由形

1 福井 誠	(九)	4:40.6
2 梅本 利三	(早)	4:44.9
3 庄司 敏夫	(九)	4:46.2
4 門口 伯康	(早)	4:47.5
5 吉村 喜平	(九)	4:47.4
番外 山中 毅 (大洋漁業)		4:32.0

800m自由形

1 梅本 利三	(早)	9:51.8
2 庄司 敏夫	(九)	9:53.4
3 吉村 喜平	(〃)	10:07.6
4 山田 康弘	(早)	10:18.8
番外 山中 毅 (大洋漁業)		9:34.4

100m平泳

1 中川 清	(早)	1:13.5
2 重松 盛人	(九)	1:16.0
3 大崎 剛彦	(早)	1:16.9
4 山南 宏一	(九)	1:16.9
5 松本健次郎	(〃)	1:17.0

200m平泳

1 松本健次郎	(九)	2:41.2
2 重松 盛人	(〃)	2:41.3
3 中川 清	(早)	2:41.3
4 山南 宏一	(九)	2:44.1
5 大崎 剛彦	(早)	2:46.4

100mバタフライ

1 佐藤 好助	(九)	1:02.9
2 井筒 賢造	(早)	1:03.6
3 増永 文昭	(九)	1:03.8
4 岩本 光司	(早)	1:04.8
5 大賀 睦郎	(九)	1:04.9

200mバタフライ

1 佐藤 好助	(九)	2:22.5
2 井筒 賢造	(早)	2:22.5
3 岩本 光司	(〃)	2:25.1
4 田中 英雄	(〃)	2:29.4

5 丸山 高正 (九) 2:29.5

100m背泳

1 富田 一雄	(九)	1:06.4
2 中原 紀	(〃)	1:07.6
3 国清 勲	(早)	1:09.5
4 林 祐士郎	(九)	1:10.2
番外 酒井 良明	(〃)	1:09.4

200m背泳

1 富田 一雄	(九)	2:24.0
2 中原 紀	(〃)	2:28.7
3 酒井 良明	(〃)	2:30.3
4 国清 勲	(早)	2:30.6

200mリレー

1 中間・富田・福井・石原	(九)	1:44.6
2 福井・十河・門口・吉無田	(早)	1:45.8

400mメドレー・リレー

1 富田・松本・佐藤・石原	(九)	4:21.5
2 国清・大崎・井筒・福井	(早)	4:23.2

第 37 回 早 関 対 抗

6月18日

大阪プール (50) 公認

気温26°C 水温23°C

100m自由形

1 福井 清	(早)	58.1
		(27.4)
2 十河 英記	(〃)	59.6
3 竹本 昭和	(〃)	59.8
4 深谷 寿郎	(関)	1:00.2

200m自由形

1 岡部 幸明	(早)	2:09.8
2 門口 伯康	(〃)	2:11.2
3 竹本 昭和	(〃)	2:13.8
4 深谷 寿郎	(関)	2:19.4
番外 山中 毅 (早OB)		2:04.2
	(28.2 59.6 1:30.8)	

400m自由形

1 梅本 利三	(早)	4:41.8
2 岡部 幸明	(〃)	4:48.5
3 山田 康弘	(〃)	4:51.0
4 吉田 憲司	(関)	4:55.0
番外 山中 毅 (早OB)		4:27.7
	(1:02.2 2:09.6 3:19.2)	

800m自由形

1 梅木 利三 (早) 9:39.6
 (1:06.4 2:15.4 3:26.4
 4:40.2 5:54.6 7:09.0
 8:24.2)

2 山川 康弘 (早) 10:02.4
 3 吉田 憲司 (関) 10:11.2
 4 柳谷 透 (早) 10:18.4

200m平泳

1 大崎 剛彦 (早) 2:41.5
 36.8 1:17.9 1:59.9
 2 中川 清 (早) 2:42.0
 3 加藤 浩時 (〃) 2:44.4
 4 西口 寿悦 (関) 2:50.9

200mバタフライ
 1 吉無田春男 (早) 2:18.1
 (31.0 1:06.0 1:41.4)

2 井筒 賢造 (早) 2:21.8
 3 岩本 光司 (〃) 2:22.0
 4 北野 弘 (関) 2:43.2
 番外 田中 英雄 (早) 2:27.5

200m背泳

1 国清 勲 (早) 2:28.2
 2 舟橋 淑行 (〃) 2:36.0
 3 小林 東明 (関) 2:39.4

800mリレー

1 門口・岡部・吉無田・梅本

(早) 8:44.3
 (2:09.3 2:12.9
 2:11.7 2:10.4)

2 深谷・吉田・石村・崎山
 (関) 9:20.6

400mメドレー・リレー

1 国清・中川・吉無田・十河
 (早) 4:24.8
 (1:09.0 1:13.4
 1:03.0 59.4)
 2 小林・森・北野・深谷
 (関) 4:38.2

関 西 選 手 権

6月24日~25日 大阪プール (50) 公認

気温23°0 26°0 水温24°02 4°5

男 子

100m自由形

1 白井 克郎 (旭化成) 1:00.4
 (1:00.0)
 2 山本 新吾 (東邦商会) 1:00.6
 3 池田 芳玄 (天理水) 1:00.6
 (1:00.0)
 4 沢村 彰夫 (大丸京都) 1:00.6
 5 深谷 寿郎 (弦泳会) 1:00.6
 6 木下 勲 (清泳会) 1:00.8

200m自由形

1 山中 毅 (大洋漁業)
 (2:01.2世界新) 2:03.2
 (27.8 58.6 1:30.0)
 2 講本 昌男 (同 大) 2:08.3
 3 池田 芳玄 (天理大) 2:13.2

400m自由形

1 山中 毅 (大洋漁業) 4:28.5
 2 講本 昌男 (同 大) 4:42.3
 3 笠井 利昭 (大阪高) 4:53.0
 4 浜田 広幸 (関 大) 4:53.0

1500m自由形

1 吉田 憲司 (弦条会) 19:16.0
 2 木田 和夫 (八代一中) 19:25.3
 3 笠井 利昭 (大阪高) 19:40.6

100m平泳

1 脇内 竹則 (天理水) 1:16.8
 2 西口 寿悦 (弦泳会) 1:16.8
 3 小寺 隆昭 (尼崎北高) 1:17.2

200m平泳

1 西前 彰一 (天理水) 2:47.6
 2 高木 憲一 (旭化成) 2:48.0

100mバタフライ

1 金親 義弘 (大阪高) 1:03.9
 2 新井 沐 (天理水) 1:04.2
 3 来栖 寛 (〃) 1:04.3

200mバタフライ

1 金親 義弘 (大阪高) 2:23.8
 (31.2 1:06.0 1:43.0)
 2 来栖 寛 (天理水) 2:29.0
 3 中村 征春 (伊都高) 2:29.8
 (2:29.0)
 4 岩岡 祐一 (同 大) 2:29.9

100m背泳

1 三杉 庄治 (天理水) 1:08.6
 (1:08.7)
 2 園田 和博 (旭化成) 1:09.2
 3 井上富美造 (東山高) 1:10.0
 (1:09.9)

200m背泳

1 三杉 庄治 (天理水) 2:30.9

2 園田 和博 (旭化成) 2:35.4

女 子

100m自由形

1 佐藤 喜子 (ロート製薬) 1:05.7
 (1:05.6)
 2 和田 映子 (天理水) 1:08.2
 3 窪 美代子 (旭化成) 1:09.6
 4 辻本 妙子 (五条高) 1:10.0
 5 大高 幸子 (東洋レ) 1:11.6
 (1:11.2)

200m自由形

1 佐藤 喜子 (ロート製薬) 2:27.3
 2 小林由美子 (〃) 2:32.0
 (2:32.6)
 3 和田 映子 (天理水) 2:32.2
 4 窪 美代子 (旭化成) 2:33.4

400m自由形

1 芝原 笑子 (旭化成) 5:15.1
 (— 2:35.0 3:55.2)
 2 木村トヨ子 (筑紫女高) 5:22.2
 3 小林由美子 (ロート製薬) 5:23.2
 4 虎野 昭子 (帝塚山学) 5:31.2

800m自由形

1 芝原 笑子 (旭化成)
 (11:04.5日本新)10:58.8(日本新)

- (1:15.2 2:36.7 4:00.0
5:22.6 6:47.0 8:10.6
9:35.6)
- 2 木村トヨ子 (筑紫女高) 11:08.8
3 虎野 昭子 (帝塚山学) 11:31.5
4 寺井 貴子(ロート製薬) 11:51.6

100m平泳

- 1 田上 和子 (八代三中)
(40.9) 1:27.0 (中学新)
- 2 青木 幸子 (東洋レ) 1:28.3
3 田中 清恵 (天理水) 1:29.4
4 西田千穂子 (旭化成) 1:29.7

200m平泳

- 1 田上 和子 (八代三中) 3:03.8

- 2 青木 幸子 (東洋レ) 3:05.5
3 西田千穂子 (旭化成) 3:05.9
4 田中 清恵 (天理水) 3:06.0

100mバタフライ

- 1 松中佐江子 (帝塚山DG) 1:15.2
2 中西美智代 (五条高) 1:18.6
3 諸林八重子 (旭化成) 1:19.0
4 松岡 明子 (東洋レ) 1:19.1

200mバタフライ

- 1 松中佐江子 (帝塚山OG) 2:50.5
2 松岡 明子 (東波レ) 2:56.4
(2:53.9)
- 3 中西美智代 (五条高) 2:56.9
4 諸林八重子 (旭化成) 2:57.2

100m背泳

- 1 田中 聡子 (八幡製鉄) 1:11.6
(35.0)
- 2 松永 凉子 (天理水) 1:19.2
(1:18.9)
- 3 園田八詠子 (五条高) 1:20.2
4 松本 妙子 (旭化成) 1:20.5

200m背泳

- 1 田中 聡子 (八幡製鉄)
2:33.3(世界対)
35.8 1:14.5 1:54.4
- 2 松本 妙子 (旭化成) 2:51.8
3 松永 凉子 (天理大) 2:52.4

第 13 回 日 大 対 九 州

6月25日 石橋文化センタープール (50m) 公認

気温33°C 水温27°C

100m自由形

- 1 石原 勝記 (九) 57.2
2 杉本 汎史 (日) 57.6
3 後藤 忠治 (〃) 58.6
4 松岡 義郎 (日) 59.0
5 田代 信一 (九) 59.0

200m自由形

- 1 福井 誠 (九) 2:08.3
2 石原 勝記 (〃) 2:10.0
3 杉本 汎史 (日) 2:10.5
4 後藤 忠治 (〃) 2:11.0

400m自由形

- 1 福井 誠 (九) 4:31.4
2 松木登八郎 (日) 4:37.0
3 石井 宏 (〃) 4:37.8
4 庄司 敏夫 (九) 4:39.0
5 吉村 喜平 (〃) 4:41.6
6 森田 武男 (日) 4:44.6

800m自由形

- 1 松木登八郎 (日) 9:40.9
2 庄司 敏夫 (九) 9:45.9
3 石井 宏 (日) 9:51.5
4 森田 武男 (〃) 9:55.0
5 吉村 喜平 (九) 9:56.0

100m平泳

- 1 石川 健二 (日) 1:13.4
2 敷石 義秋 (〃) 1:13.6
3 松本健次郎 (九) 1:13.7
4 山南 宏一 (〃) 1:15.1
5 和気 統 (日) 1:15.0
6 重松 盛人 (九) 1:15.8
番外 中村 昌彦 (日) 1:15.3

200m平泳

- 1 松本健次郎 (九) 2:37.4
2 重松 盛人 (〃) 2:38.0
3 石川 健二 (日) 2:38.5
4 敷石 義秋 (〃) 2:40.0
5 山南 宏一 (九) 2:40.6
6 和気 統 (日) 2:42.6
番外 伊藤 靖博 (三瀬高) 2:43.9

100mバタフライ

- 1 増永 文昭 (九) 1:01.9
2 中島 功 (日) 1:02.0
3 佐藤 好助 (九) 1:02.0
4 大賀 睦郎 (〃) 1:03.6
5 武市 啓志 (日) 1:04.0

200mバタフライ

- 1 佐藤 好助 (九) 2:20.0
2 丸山 高正 (〃) 2:24.3
3 武市 啓志 (日) 2:28.0

- 4 中島 功 (〃) 2:29.4
5 富田紀久男 (〃) 2:30.0

100m背泳

- 1 富田 一雄 (九) 1:04.6
2 福島 滋雄 (日) 1:06.7
3 中原 紀 (九) 1:08.0
4 林 祐士郎 (〃) 1:08.5
番外 酒井良明(BSタイヤ) 1:07.5
〃 田中広征(伝習館高) 1:08.7

200m背泳

- 1 富田 一雄 (九) 2:22.0
2 福島 滋雄 (日) 2:25.6
3 中原 紀 (九) 2:28.8
4 酒井 良明 (〃) 2:30.0

200mリレー

- 1 田代・富田・福井・石原
(九) 1:43.2
- 2 杉本・石井・松岡・後藤
(日) 1:44.3

400mメドレー・リレー

- 1 福島・敷石・中島・後藤
(日) 4:15.0
- 2 富田・重松・佐藤・石原
(九) 4:19.5

全東京対抗水上競技大会

7月2日 神宮プール(50m)公認

気温29°5 水温23°5

100m自由形

1 山中 毅 (東)	57.4	(27.9)
2 見上 勝紀 (中)	58.5	
3 吉見 行雄 (東)	59.7	
4 近藤 至男 (富)	59.8	

200m自由形

1 藤本 達夫 (中)	2:05.8	(59.4)
2 見上 勝紀 (中)	2:10.1	
3 古木 輝巳 (中)	2:11.6	

400m自由形

1 藤本 達夫 (中)	4:34.1	(1:02.7 2:11.9 3:20.3)
2 佐々木末昭 (中)	4:39.6	
3 佐原 年昭 (中)	4:41.9	
4 森田 武男 (東)	4:45.4	

800m自由形

1 佐々木末昭 (中)	9:38.5	(1:03.1 2:14.5 3:28.1 4:41.8 5:55.8 7:10.2 8:24.9)
2 佐原 年昭 (中)	9:45.2	
3 一色 譲 (東)	10:08.8	
4 石田 修一 (中)	10:13.4	

100m平泳

1 石川 健二 (東)	1:15.1
2 山中 堂志 (中)	1:15.7
3 野々村嘉昭 (中)	1:16.0

200m平泳

1 樋口 裕 (中)	2:44.3	(2:19.6)
2 篠田 博史 (〃)	2:46.0	
3 野々村嘉昭 (〃)	2:46.1	

100mバタフライ

1 富安 守弘 (中)	1:03.9
2 久保田宇利 (東)	1:05.5
3 小戎 紀一 (中)	1:06.8

200mバタフライ

1 鈴木 竜蔵 (中)	2:24.1
-------------	--------

2 三好 恭弘 (〃)	2:24.2
3 富安 守弘 (〃)	2:25.0
4 馬場 政義 (〃)	2:28.1

100m背泳

1 渡辺 和夫 (東)	1:06.3
2 五十嵐武清 (〃)	1:06.8
3 広瀬 俊之 (〃)	1:07.1
4 菅 征夫 (中)	1:09.5

200m背泳

1 渡辺 和夫 (東)	2:28.7	
2 五十嵐武清 (〃)	2:28.7	(1:11.5)
3 坂口 達也 (中)	2:31.9	

400m個人メドレー

1 山中 毅 (東)	5:20.2	(日本新)	(1:08.9 2:31.1 4:12.5)
2 大林 敦 (中)	5:38.1	(日本新)	
3 坂口 達也 (〃)	5:41.8	(〃)	
4 久保田宇利 (東)	5:42.0	(〃)	
5 三好 恭弘 (中)	5:44.3		

200mリレー

1 菅・藤本・浅野・見上 (中)	1:45.2
2 下村・久保田・吉見・近藤 (東)	1:45.9

800mリレー

1 石田・藤本・古木・見上 (中)	8:40.5	(2:10.7 2:08.1 2:12.4 2:09.3)
2 森田・石井進・吉見・山中 (東)	8:51.7	(2:10.7 2:15.0 2:14.5 2:11.5)

1 石田・藤本・古木・見上 (中)	8:40.5
2 森田・石井進・吉見・山中 (東)	8:51.7
3 下村・久保田・吉見・近藤 (東)	1:45.9

400mメドレー・リレー

1 五十嵐・石川・久保田・吉見 (東)	4:23.3	(高校新)	(1:06.4 1:12.6 1:05.7 58.6)
---------------------	--------	-------	-----------------------------

徳武・樋口・富安・見上

(中) 失格

得点 中央大156—100全東京

中学生競技(日米交歓)

男子

100m自由形

1 D. ロス (米)	1:03.7
2 紙谷 竜夫 (立正)	1:06.2
3 中島 稔 (東田)	1:07.7

400m自由形

1 T. ジャミソン (米)	4:49.0	(1:03.4 2:19.1 3:35.8)
2 野口 和雄 (東田)	5:16.2	
3 菅野 直之 (麻布)	5:16.8	

200m平泳

1 D. ロス (米)	(1:24.1) 2:57.1
2 桜井 実 (日大一)	3:01.4
3 本多 光彦 (〃)	3:02.9
4 鈴木 光範 (東田)	3:02.9

100mバタフライ

1 D. ロス (米)	1:10.2
2 藤田 修孝 (日大豊山)	1:10.7
3 斎藤 哲 (立正)	1:15.0

100m背泳

1 T. ジャミソン (米)	1:11.4
2 小川 啓一 (東田)	1:19.0

女子

100m自由形

1 K. ヘインズ (米)	1:10.9
2 高島 美枝 (成女)	1:12.9
3 内野 典子 (八王子四)	1:14.1

200m平泳

1 D. デバロナ (米)	(1:29.5) 3:07.3
---------------	-----------------

2 渡辺 和子 (東 田) 3:18.9
 3 高野美代子 (") 3:19.6
 100mバタフライ

1 D.デパロナ (米) 1:12.3
 2 高橋 教子 (成 女) 1:28.9
 100m背泳

1 K.ヘインズ (米) 1:23.6
 2 水落志保美 (成 女) 1:24.4
 3 荻野由美子 (北 沢) 1:29.3

末 弘 牌 高 校

5月27日～28日 八幡製鉄大谷プール(50m)公認

気温24°5 24° 水温20° 19°5

男子ノ部

100m自由形

1 田代 信一 (八代東) 1:00.3
 2 広木 邦昭 (朝 倉) 1:01.6
 3 葉室 正孝 (鹿 本) 1:02.0
 4 堤 秀雄 (三 瀬) 1:02.8
 5 小江 義昭 (") 1:02.8

200m自由形

1 田代 信一 (八代東) 2:14.2
 2 藤島 祥三 (柳井商工) 2:16.0
 3 岩崎 邦宏 (佐伯鶴城) 2:16.4
 4 広木 邦昭 (朝 倉) 2:20.6
 5 葉室 正孝 (鹿 本) 2:22.8

400m自由形

1 藤島 祥三 (柳井商工) 4:45.4
 2 長野 優 (三 瀬) 4:50.6
 3 多田 寿元 (柳井商工) 4:52.8
 4 岩崎 邦宏 (佐伯鶴城) 4:57.7
 5 藤丸 靖久 (三 瀬) 4:59.0

1500m自由形

1 長野 優 (三 瀬) 19:38.7
 2 多田 寿之 (柳井商工) 19:38.7
 3 藤丸 靖久 (三 瀬) 19:49.8
 4 重永 義則 (熊 本 工) 20:02.7

100m平泳

1 松本健次郎 (佐伯鶴城) 1:13.1
 (1:12.9)
 2 山南 宏一 (") 1:14.9
 3 重松 親征 (朝 倉 農) 1:15.0
 (1:14.8)
 4 伊藤 靖博 (水 巻) 1:17.5
 (1:17.1)
 5 坂井 六次 (三 瀬) 1:18.1
 (1:16.9)

200m平泳

1 松本健次郎 (佐伯鶴城) 2:40.1
 (2:39.5)
 2 山南 宏一 (") 2:42.3
 3 重松 親征 (朝 倉 農) 2:45.5
 (2:45.2)
 4 伊藤 靖博 (水 巻) 2:45.5
 5 古屋 英昭 (諫 早 商) 2:50.6

100mバタフライ

1 大賀 睦郎 (八代東) 1:04.5
 2 甲斐田幾男 (三 瀬) 1:07.2
 (1:07.0)
 3 小手川 達 (臼 杵) 1:08.2
 (1:07.3)
 4 田中 保彦 (浮 羽) 1:08.6
 5 菅 隆則 (佐伯鶴城) 1:08.8

200mバタフライ

1 大賀 睦郎 (八代東) 2:33.3
 2 松田 磨 (佐伯鶴城) 2:33.5
 3 小手川 達 (臼 杵) 2:38.8
 4 菅 隆則 (佐伯鶴城) 2:38.8
 5 小池 康隆 (諫 早 商) 2:39.5
 (2:37.0)

100m背泳

1 林 祐士郎 (諫 早 商) 1:09.0
 2 田中 広征 (伝 習 館) 1:09.9
 3 浜砂 昭光 (延岡向洋) 1:11.1
 4 渡辺 勲 (柳井商工) 1:11.3
 5 光本 市郎 (山 鹿) 1:11.4
 6 三木 隆二 (八代東) 1:11.5

200m背泳

1 林 祐士郎 (諫 早 商) 2:30.9
 2 田中 広征 (伝 習 館) 2:32.6
 3 渡辺 勲 (柳井商工) 2:34.9
 4 光本 市郎 (山 鹿) 2:35.1

(2:34.9)

5 浜砂 昭光 (延岡向洋) 2:35.2
 6 成清一二三 (三 瀬) 2:35.9

400mリレー

1 堤・甲斐田・小江・長野
 (三 瀬) 4:09.5
 2 三木・田辺・大賀・田代
 (八代東) 4:13.5
 3 松田・松井・鹿内・岩崎
 (佐伯鶴城) 4:13.8
 4 中尾・渡辺・多田・藤島
 (柳井商工) 4:17.8

800mリレー

1 長野・藤丸・小江・堤
 (三 瀬) 9:15.5
 2 田原・渡辺・多田・藤島
 (柳井商工) 9:25.5
 3 松田・仲矢・富沢・岩崎
 (佐伯鶴城) 9:25.5
 4 三木・田辺・大賀・田代
 (八代東) 9:43.2
 5 池田・柳井・森下・小手川
 (臼 杵) 9:44.0

400mメドレー・リレー

1 三木・山田・大賀・田代
 (八代東) 4:36.1
 2 篠原・松本・松田・岩崎
 (佐伯鶴城) 4:38.0
 3 成清・高島・甲斐田・小江
 (三 瀬) 4:39.6
 4 林・古屋・小池・向井
 (諫 早 商) 4:42.8

得点

1 佐伯鶴城 54
 2 三 瀬 51

- 3 八代東 44
- 4 柳井商工 36
- 5 諫早商 26
- 6 臼 杵 13

女子ノ部

100m自由形

- 1 小畑 昭子 (筑紫女) 1:11.6
- 2 釜堀 福子 (朝 羽) 1:13.2
- 3 飯田キヌエ (") 1:13.5
- 4 田崎 栄子 (八代東) 1:15.0

200m自由形

- 1 小畑 昭子 (筑紫女) 2:38.4
- 2 釜堀 福子 (朝 羽) 2:44.1
- 3 飯田キヌエ (") 2:46.4
- 4 田崎 栄子 (八代東) 2:54.1

400m自由形

- 1 木村トヨ子 (筑紫女) 5:31.7
- 2 角 和 (朝 羽) 5:51.8
- 3 矢野 桂子 (八代東) 5:57.3
- 4 青木いち子 (鹿 本) 5:57.3

800m自由形

- 1 木村トヨ子 (筑紫女) 11:24.6
- 2 角 和 (朝 羽) 12:03.8
- 3 青木いち子 (鹿 本) 12:10.4
- 4 矢野 桂子 (八代東) 12:34.0

100m平泳

- 山本 憲子 (筑紫女) 1:27.5

- 2 松本 信子 (佐 伯) 1:32.1
- 3 浜野 増子 (") 1:33.6
- 4 江上 敦子 (朝 羽) 1:38.3

200m平泳

- 1 山本 憲子 (筑紫女) 3:07.8
- 2 浜野 増子 (佐 伯) 3:20.2
- 3 松本 信子 (") 3:22.2
- 4 江上 敦子 (朝 羽) 3:32.2
- 5 野口 幾子 (筑紫女) 3:34.3

100mバタフライ

- 1 高橋 栄子 (佐伯鶴城) 1:22.8
- 2 高岸 勝子 (八代東) 1:28.2
- 3 池田婦美子 (鹿 本) 1:29.2
- 4 諫山 和子 (朝 羽) 1:29.7
- 5 青木 禎子 (筑紫女) 1:41.4

200mバタフライ

- 1 高橋 栄子 (佐伯鶴城) 3:04.3
- 2 高岸 勝子 (八代東) 3:16.7
- 3 池田婦美子 (鹿 本) 3:31.2
- 4 諫山 和子 (朝 羽) 3:32.8
- 5 青木 禎子 (筑紫女) 3:45.5

100m背泳

- 1 寺井とも子 (筑紫女) 1:26.3
- 2 瀬戸 隆子 (宗 像) 1:27.0
- 3 国府 淳子 (筑紫女) 1:27.7
- 4 富田 早苗 (八代東) 1:28.7

200m背泳

- 1 国府 淳子 (筑紫女) 3:04.8

- 2 寺井とも子 (") 3:08.4
- 3 瀬戸 隆子 (宗 像) 3:10.8
- 4 富田 早苗 (八代東) 3:13.9

400mリレー

- 1 飯田・大坪・角・釜堀
(朝 羽) 5:07.3
- 2 小畑・山本・藤本・木村
(筑紫女) 5:09.6
- 3 富田・高岸・矢野・田崎
(八代東) 5:16.4
- 4 蒲島・池田・小川・青木
(鹿 本) 5:28.8

400mメドレー・リレー

- 1 寺井・山本・小畑・木村
(筑紫女) 5:38.0
- 2 富田・鋤田・高岸・田崎
(八代東) 5:52.7
- 3 蒲島・片淵・池田・青木
(鹿 本) 5:58.5
- 4 宮井・江上・諫山・釜堀
(朝 羽) 6:03.4

得点

- 1 筑紫女 86
- 2 朝 羽 56
- 3 八代東 39
- 4 佐 伯 29
- 5 鹿 本 27
- 6 佐伯鶴城 14

明 大 対 全 静 岡 県 対 抗

S 36.6月25日 浜松市宮之城プール (50m) 公認

気温22°C 水温23°C

100m自由形

- 1 中村 良三 (明 治) 59.0
- 2 秋元 敏雅 (") 1:01.3
- 8 岩本 功治 (") 1:01.9
- 4 西野 勝弘 (静 岡) 1:02.4
- 5 平田 肇悦 (") 1:02.7

200m自由形

- 1 秋元 敏雄 (明 治) 2:15.5
- 2 中村 良三 (") 2:15.7
- 3 尾形 俊樹 (静 岡) 2:16.5
- 4 岩本 功作 (明 治) 2:17.0

- 5 西野 勝弘 (静 岡) 2:21.8

400m自由形

- 1 今枝 啓祐 (明 治) 4:52.1
- 2 岡村 文博 (") 4:56.1
- 3 唐松 長一 (") 4:56.2
- 4 高橋 豊 (静 岡) 4:59.3
- 5 尾形 俊樹 (") 5:06.5

1500m自由形

- 1 今枝 啓祐 (明 治) 19:29.2
- 2 唐松 長一 (") 19:36.2
- 3 岡村 文博 (") 20:20.9

- 4 高橋 豊 (静 岡) 20:19.2

- 5 青山 勝利 (") 20:25.2

100m背泳

- 1 勝又 完一 (明 治) 1:07.6
- 2 大隅 潔 (") 1:09.8
- 3 中島 勝昭 (") 1:10.1
- 4 杉山 悟3 (静 岡) 1:11.7
- 5 加藤 泰三 (") 1:12.8

200m背泳

- 1 勝又 完一 (明 治) 2:29.5
- 2 大隅 潔 (") 2:32.0

3 中島 勝昭 (明 治) 2:33.5	100mバタフライ	(静 岡) 1:52.0
4 加藤 泰三 (静 岡) 2:37.2	1 須藤 洋一 (明 治) 1:03:6	800mリレー
5 匂坂 尚平 (") 2:37.6	2 水野 隆晴 (") 1:06.4	1 岩本・中村・秋元・今枝
100m平泳	3 加藤 寛 (静 岡) 1:09.6	(明 治) 19:01.0
1 岡崎 貞彦 (明 治) 1:16.0	200mバタフライ	2 尾形・西野・高橋・平田
2 木村 智彦 (") 1:16.8	1 須藤 洋一 (明 治) 2:23.3	(静 岡) 29:22.0
3 鈴木 欽次 (静 岡) 1:17.5	2 水野 隆晴 (") 2:30.1	400mメドレー
4 東 英明 (明 治) 1:18.7	3 星川 勲敬 (静 岡) 2:40.2	1 勝又・岡崎・須藤・中村
200m平泳	4 加藤 寛 (") 2:46.2	(明 治) 14:26.5
1 岡崎 貞彦 (明 治) 2:42.3	200mリレー	2 加藤・鈴木・星川・西野
2 木村 智彦 (") 2:46.6	1 中村・岩本・秋元・今枝	(静 岡) 24:42.6
3 東 英明 (") 2:49.4	(明 治) 1:49.5	
4 鈴木 欽次 (静 岡) 2:51.2	2 尾形・西野・平田・寺田	

ブラジル水泳界の近況

真 木 昌

御無沙汰して申し訳ありません。御親切に機関誌「水泳」を御送り下さって誠にありがたうございました。

東京オリンピックを目指していろいろと大切な事柄が山積みでさぞ大変な毎日でありませう。私も何とかして東京オリンピックに参加したいものと希って居ります。

「水泳」を見ていると、日本水泳界には選手の層が非常に厚く心強さを感じますが、超世界的選手の点で些か淋しさを覚えます。果してそれは何に原因しているのでしょうか。昔は、日本人の体質が、水泳に適しているとか、海に囲まれているから水泳が強いなど、或は、タタミの上で坐る生活をしているから、ヒザ、足首のパネが効く……等々。なる程それ等に一応の理はある様ですが、最近の様に、世界各国、特に濠州・北米或はソ聯から優秀な選手が出ている処を見ると、そんな事ばかりでもなさそうです。私もブラジルに来て既に十年の才月を殆ど、水泳関係で過して、各国の系統をひく人種に接しましたが、水泳に関しては、生れつきの素質と云う点で、人種的差異は感じられません。結局、生来の素質を如何にして最高度に磨き上げるかと云う事に尽きる様です。それには、13~3才でもう大人の技術と練習を身につけさせ

る必要を感じます。今の日本の学校制ではとかくそれが困難の様ですが、そこを何とか旨く切り開いて3年後の東京オリンピックにはもっともっと若い選手が続々と出てくれる様に遙かから期待して止みません。

扱て、私は、此の5月1日から、リオデジャネイロのクルビ・デ・レガタス・ヴァスコ・ダ・ガマと云うクラブの水泳コーチとして勤める事になりました。南米一の競技用水泳設備を持つ、ブラジルで最も大きな組織を有するスポーツクラブです。先年、鈴木、山下両君等も招かれてプール開きの国際試合を催した所です。精一杯頑張つて、良い選手を作り出したいと思っています。今後共何分の御指導を御願い致します。

新しい宛名は次の様ですから、関係各位に御面倒乍ら御知らせ下さる様御願い致します。

Sakae Maki

a/c club de Regatas Vasoco da Gama,

Estadio Aquatico Sao Januario;

Riode Janeiro, Brasil.

(((千葉真一先生を囲む座談会)))

— その 2 —

日 時 昭和35年 初秋の某日

場 所 東京浅草橋・千葉医院応接室

出席者 千葉真一氏、小林高志氏、菊田保孝氏

小林 何か、講武永田流といましたね、だからちょうど太田先生みたいに講武所の何かであったみたいに称号してあるんですがね。だからあのへんまでは何とか流で通っちゃったんだな。結局笹沼流大竹派ってなもんだ。

千葉 ああそうだね。

小林 それから伊東又七先生、これもね、伊東道場をやったんだ。これは離れてね。千代田小学校があった今の所じゃないかな、何か離れた道場を持っていた、伊東道場だけは。伊東、大竹、笹沼等の諸流は夏期以外には柔術又は剣舞の道場を開けり。

千葉 ああ、あそこね、伊東道場でも泳いだです。

小林 ああ、それで太田派の系統というか、流れがはっきりした。どこで太田派の道場というものが消えたかということはね、共脩会をよしたときで……

千葉 うん、結局小屋を建てる財源がなくなったんだね。又小屋を留守番する人物もないため。

小林 そりやね、われわれのところもそうなんですよ。日本会といってね、今の太田派みたいなもので、代々、誰かが次々とうけついでやって来たんです。僕等の時代から、僕等の少し後からやるやつがいなくなった。

菊田 月謝ぐらいじゃ建たないもんね。

千葉 ああ建たない、建たない。

小林 それにあの時分はね、水泳場を大事にしてね、第一ね、水泳で金をもらうなんて1等下品だといって侮辱するからね。だから自分の金で水泳の道場できなくなったときには、これも没落のときなんだ。それまでは金出しては、次の時代にゆずる。先輩がだんだんとゆづってやったんだ。だがだんだん時代が変わってきてね。

菊田 僕等の頃には清水がいたからね。あれ、大竹だとか伊藤だとか菓子屋みたいなね。

小林 そうですよ、だからわれわれの道場には売店がなかった。売店のある道場はこれはもう商売人だと云われ、だから月謝はとらん。われわれのところは非常にやがましかった。そういうふうに入道場というのはハカ

マをはいて来なくちゃ入れてくれない。制服制帽でなくちゃ入れない。学校と同じですね、外でアイスクリームたべちゃいけないんだから。氷をね、氷を飲んだらその日は泳がしてくれない。このように非常にやかましくって、昔の道場という気風があったですね、そうすると太田派の最後というのは横網共脩会でもう消えちゃったわけなんですか。

菊田 そうでしょうね。

小林 そうすると共脩会の人達がまあ日本体育会のその当時の水泳部の中心になって入ったわけですね。

千葉 共脩会の中野秀治というのがね、熊本出身の教師でね。

小林 これは岩本さんとはふかいわけですか。2人とも向井流ですね。

千葉 2人とも向井流。

小林 岩本さんの弟子が北海道にいましたがね、この間出て来ました。それで共脩会の向井流が太田派に合流したわけなんですか。

千葉 ああ、太田派のわれわれが行ってね、だから太田も向井流の泳ぎなんかをやはりそこで覚えた。

小林 そうすると今の太田流ってものを解剖していくとはっきりしているのは先生の弟子というものもう直接教わった弟子というのはみんななくなっちゃったんですな。

千葉 私の弟子？東京にはいないです。浜松のね。

小林 ああ浜松の浜名遊泳協会の前は先生がやったんですか、内田。

千葉 そうそう、あそこはずっと行っちゃった。

小林 それからね、先生が浜松弁天島へ行って教えられたもんだからね、それでその太田派の水泳をですね、浜松から教えに来たのは長野県の野尻遊泳協会なんです。野尻の連中は、みんな泳いでるんです。これはまあ少し言葉が行き過ぎますけど1人天狗になっていますからね、今はむしろくずれてるんだ。お前らの太田派はどこでならったんだといったら、いや浜名に教っちゃったと

いうんで、それでよく聞いたら内田千尋など来て、教えたというんだ。

千葉 内田千尋君がまだ小学の生徒で小さいときから教えた。京田というのね。

小林 京田だけは不思議でしたね、あれに師事しましたね、千住の山敷の道場に。向井流の。それであそこに鈴木伝明など来ちゃったんだ。だから私は京田武男という人は向井流だと思ってたんですよ。向井流道場で頑張ったですからね。

菊田 あの時はもう、そうやかましくなかったんだ。私の叔父なんてのは神伝流始めてね、それで厩橋の近くに細川とか何とかいうのがあったね。

小林 ああ、あった。

菊田 あるこへいって先生やったりなんかしてあったんだ。

小林 僕等は自分の太田派というのは結局ね、はっきり太田派であるという印をつけられたのは宇田川さんに始終教わったからです。そこではっきり太田派の人間だという区別をつけられた。それから本田さんと一緒になりましたね。本田さんというのは水泳連盟が戦争中交りましたね、水泳部会に。あのとき本田さんと私が日本泳法の顧問みたいな——というのを預りまして本田さんが部長で、私が副部長。その後ですぐに本田さんが君ならいいから代ってくれといわれて、私が代わりましたからね。本田さんが太田派を泳ぐときは水泳連盟の者じゃわからんから君が説明しろというわけで太田派の弟子扱いされておったんで何となく太田派の水泳の資格にはいっていったんですよ。だから、どこか、その甲府の連中みたいに太田派だ太田派だというのは違った意味で、まあ多少近い意味での水泳を教ったんですよ。あとの太田道場の一つがどこからつながってくるかわからないんですよ。まあ先生のとこのお弟子さんならこれがまっすぐにきてる太田派だという感がするが、それもなかなかみつからないし、それから宇田川さんの方もポヤッと消えちゃったし、本田先生の方のはいわゆる道場じゃなくて、学校で教えていた水泳部の水泳できてるもんですからね。だから太田派というものは何か明確でないですね。それで千葉先生に一度オフィシャルに伺って後へ伝えておくことははっきりすると思ってね。ですから今佐々木——さんも何といいますか天理の水泳の審査などにも一応太田派の審査員としてみてもらってますけれども、これもだから佐々木さんがどこで太田派になったかということとははっきりわからないんですよ。お聞きしたこともあります。おれもわからんなあというお話だったんですけど。結局あれは高師の連中に房州でもって一高の水泳部で教わったんじゃないかという気もするし、そこんと

こがはっきりしてないんですね。この間も斎藤——さんの追悼会で話が出たんですけどね。何かあそこの神伝流というのも梅沢義光さんを中心としたあれからの神伝流があそこの学校の神伝流になってるんでね。一高の。だから梅沢さんがどこから神伝流を伝えられたか知らんけれども何かそのへんでポッと系統があいまいしてるんですよ。だから今でもそういうあいまいとしたのがかなりあるから、まあ少くともいろんなものをですね、系統だてておきたいと思ひましてね。だからそういう議論が出てくるとね。今おれが何をいうかという人がだいぶん危なくなってくるんでね。

菊田 梅沢さんは向井流にも始終来とったし房州で教えとって、東京へ来て教えたしね。

小林 そうするとそこではっきりしてくるんだね。だからいわゆる道場で正統の流派を教わった人と、学枝の水泳部でやった流派と大変違うんですね。学校の水泳部で教わったのはだいぶん変型してきてましてね、いわゆる先生のおっしゃるように流とか、講道館流になりかねない水泳が多いんで、オーソドックスなものは継いでない、という危険はある。

千葉 そうそう水府流太田派で松輪やってるね、あれはほとんど嘉納先生の嘉納塾の塾生のために設けた水泳場で本田に委嘱され本田から私へ受け継がれている。松輪やった人達がほとんど今いないからね（杉村陽太郎、徳川慶久、九条良致、醍醐忠信、安永五三次（塾生監尾田信忠師）（何れも故人）

小林 松輪燈火の横の所ですね、いいところですね、私しも考えてみますと、松輪までこないかといわれたんですが私は隅田川で水泳やってるもんですから、そこまで行く手はないんで、一度行ってみたけれどもまああまり面白くないもんですからね。

千葉 どこですか。

小林 岬の側。いいところですよ、その時はえらく不便なところでねえ。

千葉 そうですよ三浦三崎の近く松輪館という旅館を借りてね。

小林 大塚でなくてね。

千葉 分教場がね、うちのすぐ前にあった。嘉納さん、〇〇さん、清水とまああそこの開拓者だね、それで僕の従弟なんかあそこの道場へ行っていた。あそこは寄宿舎になっていてね。

小林 そう寄宿舎なんです。あそこはね中学の連中が通った。そうすると今のお話で結局横網の共修会に同居しておったときをもって太田道場は終末を告げた。

千葉 ああ、そうですね、そうなるんですね。

小林 その後は結局先生とか本田さんとか、宇田川さ

んのところで一応普及させておいたということになるわけですね。

千葉 道場でなくなったもんですからね。

小林 そうすると太田派道場ってものを引き継いでやる人がなくなった。

千葉 そうそう。

菊田 そうですね。

小林 そういう意味で太田派水泳道場みたいな型で継いでやろうとしてやっとなった日本体育会とかわれわれの日本〇〇会というものがね、太田派を表号して、やっとなった形になっていた。だから日本体育会、あれは太田派の泳ぎですよ。日本体育会、昔の体育会の人にもいましたよ、水泳じゃなくてですよ。体育会の事務局などの人がね書記だったかな、おじいさんでしたかね。それだの何か日本体育会やってた人がいたものですからよく知ってましたよ。古い石橋司だとか、加藤進だとかね、後藤〇〇とかね、あれは体育会を飽きたらなくて研究会を作っ出ていった連中なんですけどね、松沢もその中にいたんだ一時。そうだもんですから、後からの日本遊泳連盟のときにわれわれがそんなわけで手伝わされて行ったんだけど、そうすると千葉先生はその後のお話はあまりご存じないわけですか、道場がなくなった後は、

千葉 水交会という会がそのときできていたんですがね、太田水泳場にいた連中の会で、私がドイツから帰ってきたときにまあ水交会で歓迎会をやってくれましたけれども、その頃はもう道場なかったんです。

小林 高橋雄治さんの後はどうなったんですか。

千葉 高橋其三という弟がいたんですがね、これは温和しい人で泳ぎのあと継いだ話もきかないしですねまあ高橋雄治という人は死にましたけどね。

小林 いつごろだったんですか、なくなられたのは。

千葉 あれは割合に早かったですよ、あれは工学士ですからね、水泳はまたぶきっちゃでね、まあ腕力とか暴力とか、その100回の千鳥がけなどは高橋だからやったんですよ、手は野球をやってたからこんなに曲ってるしね。どうも泳ぎは感心しなかったです。そのかわり頑固でね、もうどんなところへでも、とにかく千鳥がけだけは成功したですね。

小林 何か千鳥がけというのは昔から各派あったらしいですね。神伝流に知った人がおりましたがね、松本へ古い人が来てね、長野県の詩を作った人なんですけどね、それはね荒井さんという古い師範学校でして来た人に聞いたんですがね、神伝流の上田といったかな、それがあそこへ流れておったんですね。松本の範師がやはり講武所で水泳をやったその神伝流の人達が松本へ来て、藩の城の用水堀やなんかで教えて、明治20何年頃までや

っていたらしいですね、その話聞きますとね、やはり例の千鳥がけを何か神伝流の面白い話ないですかといったら、私はよくわからんけれども千鳥がけとって、こういうふうにやってるんだという、その何回という話をしました。千鳥がけというのは隅田川道場では一つの標準になった試験方法かも知れないですね。

千葉 また千鳥がけで泳がなくちゃわからん、こういういったんじゃ方向がわからん、つまりこう行って、もどって、それでこう行ってまたもどって、こう行くからね。その間に引き汐、上げ汐とかね。

小林 私どもはね、やはり研究会ってやつは、せり水の　　ですから引き汐になってきますとね、研究会の道場では細川さんの前からやらされるんですが、それでせって行ってですね、家の方のかどがせれない道を曲ってましてね、それで上げ汐になるときは両方から入れましてね、どうしても角のところでもってひっかかっちゃう。あそこでまごまごすると一つ所に一時間位、せってますね、やはり子供ですからねもうかなり行っとうと思っ首上げると……

千葉 そうそう一高の房州の鷹の島と沖ノ島との回泳（遠泳）あれもね一つ所に汐のあげてくるのを待っているよりしかたがない。

菊田 僕らのときはね、二つに分かれて半分は第一中学と第三中学の　　片方は遊泳協会の　　学校の生徒は左側、協会の方の生徒は右の方へと。

小林 それで一中には神伝流の泳ぎが多いんだね。

菊田 そう、東京にいる連中は泳ぎに来てたでしょう。第三中学とね。

小林 だけど昨年、天理で泳いだ一中の連中の一水会の泳ぎかなんかの片手抜きというのはおかしな泳ぎしておったね。

菊田 それは斎藤君からの伝授なんだろう。

小林 そうか、なるほどね、それで従来の神伝流の伝統を破った水府流の泳ぎに近い……

菊田 それでね、去年だか、1昨年だか、池上君にね、来てもらってね……

小林 だいたい伊東でもきっと各派の連中、いろんな連中来て、水泳の実技のこともいろいろお伺いしたいんでしょうし、今の太田派の、太田先生から受理して、そして経路がこういう経路で、このへんまでに、こんなのが出て来て、この連中で太田派道場は終止符をうったんだということを先生にお話いただければ非常に喜ぶと思えますね、今まで太田派というものがどう伝わってどこで伝統がつながってるのかわからないですね、ですからわれわれも太田派だというし、こっちも太田派だというしね。しかし太田派という伝統がどこから来て太田派

か見当がつかないですね。

千葉 私は浜松浜名湾へ行ってね、本多とか、竹下とかと皆方々の地方でやっておるからね。

小林 福井へ行ったときはですね、平野豊も、頼まれてね、われわれも手伝いに行きましたよ、大野中学とかね、大野中学の校長さんが非常に有名な人なんです、それで日本泳法の何ですか、三校合同の形状でしてね。

菊田 もっともその時分にはまだクロールなんか発達しない時分だね。

小林 ない。飛びこみがきれいだというんでね。

千葉 ああ、とびこむとね、スーツとって、来るのが大変だよ。福井の中学水泳部何とか言う流れの早い川で飛び込みを見せると京田に頼まれ橋の上から飛び込んだが流れが早いのでアト橋まで泳いで帰って来るのが中々骨がおれた。

小林 まだ先生お元気でいらっしゃいますが、僕の友人の石井君というのは先生の後輩なんですけど、同じ系統のお医者さんなんですけど、元気で今でも泳がれるかと驚いてました。だからそこは日本泳法の特質です。今のスピード、スイミングの連中はあの年になって泳げるもんかと、先生は武道として水泳をやっておられるんだからそういうことができるんだと話しておいたんですけど。

そのアマチュアクラブとの試合は先生が東京でやられたのをごらんになったわけですか。

千葉 ええ、あのときは清田正人なんてね。

小林 誰かけいれんを起されて負けた記憶がありますかね。

千葉 うん、あの頃ではね、原田というのが割りと速かったね、短距離のね、それとさっきの清田正人相当早いのがいたですよ。それから太田水泳場でね、講道館流とかなんとかさっき話したでしょう。池部正人という立体のうまいのがいたですよ、これは巻き足ですがね、八幡流、あれは……

小林 あれは両方でやかましいんですよ、同じとうすい術でも八幡流と上〇下〇とがあって摩擦があるらしいです。何か河合流というのがありますがね、同じとうすい術でも、これもね、やはりうるさいんですよ、一応。

千葉 とにかく池部なんていうのは手の先と足の先でスーと蛙みたいだね、それから甲冑御前ね、これもあざやかでしたね、非常に足の利く人だったな。

小林 そのせいですかね、あの平井権仙さん、本場の絵かきだからいいですけど、天理でやりましたけれど、これは大体絵かきで有名な人が水面をかくから尙うまく見えてね。

千葉 とにかく水の中で、ああやってやっているところ

ろがミソなんだけど、隅田川は上げ汐があり引き汐がある、ちゃんと流されないようにやってて画くんだからね。

小林 われわれも隅田川で、泳ぎをやったものだから、このいわゆる御前泳ぎというやつね、つれ御前、まああの時代の人達はつれ御前というが、揃え御前ともいうがね、あれやるとねきれいに泳ぐ格好に見えたんだけどね、今プールでやってみると流れがないので、送り足を使わなくちゃならないんだ、骨が折れてしまうがね、どうも隅田川なんかでやってると非常に楽に流れてていかれるがね。

菊田 私がね、この間何十年振りかで逢ったんだよ、神宮プールで。松友勇というの。1中出てね、松沢君よりも先輩なんだよ、それで何か会があると松沢さんが杉友君の家へ行くそうだよ、それで杉友さんは僕らより先輩だけど、プールで何十年振りかであったんだよ、それがね、やはりレコード持ってるって話だよ。

小林 泳ぎの話なんですけど、片抜きの問題ですね。

千葉 うん、片抜きというのは太田先生がやりだしたんだけど結局泳ぎそのものが不合理であるというのかね、うまくゆかない。

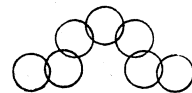
小林 今いっている、われわれが現在泳いでいるものは。

千葉 片抜き1重伸

小林 もう1つはいってくと二重になるわけですね。隅田川でよくやった。

千葉 ああ二重のし。

小林 ですから名称も自分達を教えた人の名称を以って、名称にしてしまうから、統一されてないですね。まあ泳ぎをみればああそうか、あれのいってるのは、これはそうじゃないなあと名称の違い出て来るんですけどね。
(完)



日本競泳史上女子50傑(9)

(昭和36年7月20日現在)

◎左肩に(日)とあるは当時の日本記録。

◎順位は同記録のものは同位とした。ただし2回出したものはその上位とした。

◎記録のところに◎とあるは最高記録を2回出したもの、表には先に出したもののみ記した。

◎次回は男子背泳100m背泳の予定。

(島田)

100m バタフライ

順位	氏名	所属	時間	年齢	場所	年月日	大会名
(日) 1	松中 佐江子	帝塚短大	1:12.1	(19)	大阪	35-8-27	関西学生
(日) 2	宮部 シズエ	天理水	1:13.0	(22)	"	35-6-26	関西選手権
3	和田 映子	天理大	1:16.4	(19)	"	33-8-22	日豪大阪
	片岡 幸子	五条高	1:16.4	(17)	浜松	34-8-23	日本高校
5	大高 幸子	東洋レ	1:17.4	(20)	高岡	35-8-30	全国勤労者
6	寺垣内 達代	帝塚山学	1:18.1	(20)	大阪	33-8-22	日豪大阪
7	黒田 梶子	二階堂高	1:18.3②	(16)	神宮	35-7-23	日本選手権
8	高嶺 由紀子	旭化成	1:18.3	(21)	旭化成	34-8-11	天理対九州
9	斎藤 弘子	椋山高	1:18.4	(16)	浜松	36-6-11	浜名湾高校
(日) 10	榎本 千恵子	伊都高	1:18.6	(17)	神宮	31-8-18	日本高校
	中西 美智代	五条高	1:18.6	(15)	大阪	36-6-25	関西選手権
12	諸林 八重子	旭化成	1:19.0	(18)	"	"	"
13	松岡 明子	東洋レ	1:19.1	(19)	"	"	"
14	森下 多恵子	天理高	1:19.2	(17)	"	35-8-6	近畿高校
	高橋 栄子	佐伯鶴城	1:19.2	(15)	津山市営	36-7-2	中国対九州
16	中村 靖子	東京都	1:19.6	(16)	高岡	33-9-16	国体女子
17	山谷 トシ子	川崎重工	1:20.0	(19)	大阪	34-8-15	関西実業団
18	和田 靖子	淑徳高	1:20.2	(17)	浜松	36-6-11	浜名湾高校
19	川上 静江	淑徳中	1:20.5	(14)	愛知淑徳	36-6-18	愛知中新人
20	松枝 喜代美	下田北高	1:20.9	(18)	神宮	32-8-24	日本高校
	村松 美智子	淑徳高	1:20.9	(16)	"	35-8-19	"
22	平谷 銀子	東洋レ	1:21.8	(19)	大阪	33-8-22	日豪大阪
23	今井 嬰	土佐女高	1:22.2	(17)	神宮	32-8-17	日本選手権
24	山田 佐代子	五条高	1:22.6②	(17)	"	35-8-21	日本高校
25	浅川 栄子	広島県	1:22.7	(17)	"	34-9-22	国体女子
26	島田 直美	天理	1:23.1	(21)	瀬高	35-6-19	天理対九州
27	富山 清美	二階堂高	1:23.4	(17)	神宮	33-8-3	東京選手権
28	川本 マチ子	大洲高	1:23.5	(17)	浜松	34-8-22	日本高校

29	原田 美代子	筑紫女高	1:23.6	(18)	瀬高	34-8-30	国体福岡
	多田 米子	五条高	1:23.6	(18)	大阪	35-8-6	近畿高校
31	小藪 紀代子	"	1:24.0②	(16)	"	32-8-10	"
	大沢 朝子	信愛高	1:24.0	(17)	高知	33-8-23	日本高校
33	宮原 真紀子	白木屋	1:24.1	(19)	高岡	35-8-30	全国勤労者
	渥美 和子	下田北高	1:24.1	(17)	浜松	35-9-4	静岡スポーツ
35	浦畑 チズ子	帝塚短大	1:24.2	(19)	大阪	30-9-6	近畿大学
	小島 みどり	椛山高	1:24.2	(18)	振甫	34-7-24	愛知高校
37	山口 美恵子	成女高	1:24.3②	(18)	神宮	35-7-9	東京選手権
38	木村 多鶴子	伊都高	1:24.3	(16)	大阪	34-6-21	関西選手権
39	薦野 良江	天理高	1:25.2	(17)	天理	33-9-28	奈良新人
	満園 洋子	鹿児島県	1:25.2	(16)	神宮	34-9-22	国体女子
	歳岡 明美	鳥取県	1:25.2	(18)	"	"	"
42	中田 澄子	奈良県	1:25.6	(19)	甲子園	31-9-25	"
43	中谷 トキ子	帝塚山高	1:25.8	(16)	浜松	34-8-22	日本高校
44	高岸 勝子	八代東高	1:25.9	(17)	津山市営	36-7-2	中国対九州
45	藤田 陽子	旭化成	1:26.5	(18)	神宮	31-8-11	日本選手権
	江坂 君子	椛山中	1:26.5	(14)	振甫	33-9-21	愛知新人
	浅沼 節子	京都女	1:26.5	(17)	大阪	35-8-6	近畿高校
48	下村 昌代	進徳高	1:26.6	(15)	津山市営	36-7-2	中国対九州
49	金井 輝子	帝塚山高	1:27.0	(15)	布施	35-9-4	大阪府高校
50	田村 重子	椛山高	1:27.2	(15)	振甫	35-7-3	愛知選手権

200m バタフライ

順位	氏名	所属	時間	年齢	場所	年月日	大会名
1	松中 佐江子	帝塚山大	2:44.6	(19)	大阪	35-8-28	関西学生
2	宮部 シズエ	天理	2:46.3	(21)	旭化成	34-8-1	天理対九州
3	片岡 幸子	五条高	2:51.0②	(17)	天理	34-8-2	奈良高校
4	黒田 梶子	二階堂高	2:51.5	(16)	神宮	35-7-24	日本選手権
5	松岡 明子	京洋レ	2:53.9	(18)	大阪	36-6-24	関西選手権
6	森下 多恵子	天理高	2:55.7	(17)	"	35-8-7	近畿高校
7	寺垣内 達代	帝塚山大	2:56.4	(20)	"	33-9-7	関西女子
8	中西 美千代	五条高	2:56.9	(15)	"	36-6-24	関西選手権
9	諸林 八重子	旭化成	2:57.2	(18)	"	"	"
10	和田 映子	五条高	2:59.0	(18)	天理	32-6-9	奈良記録会
11	斎藤 弘子	椛山高	2:59.1	(16)	浜松	36-6-10	浜名湾高校
12	和田 靖子	淑徳高	2:59.5	(17)	"	"	"
13	高橋 栄子	佐伯鶴城	3:00.9	(15)	津山市営	36-7-2	中国対九州
14	中村 靖子	二階堂高	3:01.9	(16)	神宮	33-8-14	日本選手権

15	山田佐代子	五条高	3:04.1	(18)	大阪	36-6-24	関西選手権
16	浅川栄子	進徳高	3:04.4	(17)	浜松	34-8-21	日本高校
	村松美智子	淑徳高	3:04.4	(16)	振甫	35-7-17	愛知高校
18	宮原真紀子	白木屋	3:04.8	(19)	都屋内	35-4-3	室内選手権
19	今井 嬰	土佐女高	3:05.0	(17)	神宮	32-8-25	日本高校
20	山谷トシ子	五条高	3:07.2	(18)	天理	33-8-3	奈良高校
21	松枝喜代美	下田北高	3:07.6	(18)	神宮	32-8-25	日本高校
22	浅沼節子	京都女	3:08.4	(17)	大阪	35-8-7	近畿高校
23	島田直美	天理水	3:08.5	(22)	"	36-6-24	関西選手権
24	大沢朝子	信愛高	3:09.2②	(17)	浜松	33-7-20	静岡西高
25	高嶺由紀子	九州	3:09.2	(21)	旭化成	34-8-1	天理対九州
26	下村昌代	進徳高	3:09.9	(15)	津山市営	36-7-2	中国対九州
27	高岸勝子	八代東高	3:10.2	(17)	大津中	36-6-18	熊本選手権
28	原田美代子	九州	3:10.9	(18)	旭化成	34-8-1	天理対九州
29	榎本千恵子	東津レ	3:11.9	(20)	神宮	34-7-21	日本選手権
30	小島みどり	椛山高	3:12.4	(16)	振甫	32-7-27	愛知高校
	多田米子	五条高	3:12.4	(18)	大阪	35-8-7	近畿高校
32	佐藤公子	天理水	3:13.2	(15)	"	36-6-24	関西選手権
33	小藪紀代子	五条高	3:14.2	(17)	天理	33-8-3	奈良高校
34	木村多鶴子	伊都高	3:14.9	(16)	浜松	34-8-22	日本高校
35	富山清美	二階堂高	3:15.2	(17)	高知	33-8-22	"
36	中田澄子	天理学	3:16.2	(20)	別府	32-11-10	天理対九州
37	満園洋子	宮之城高	3:16.6	(16)	熊本	34-8-8	九州高校
38	山口美恵子	成女高	3:19.5	(18)	大宮	35-8-14	関東高校
39	星川園江	信愛高	3:19.6	(18)	振甫	34-8-10	中部高校
40	中谷トキ子	帝塚山高	3:20.1	(16)	布施	34-8-8	近畿高校
41	矢野節子	天理高	3:20.2	(17)	高知	33-8-22	日本高校
42	大平なら子	宮之城高	3:20.6	(17)	佐世保南	33-7-6	九州各県
43	宮脇百合子	椛山高	3:21.3	(17)	浜松	35-6-1	浜名湾高校
44	金井輝子	帝塚山高	3:21.7	(15)	布施	35-9-4	大阪府高校
45	小原弘手	天理高	2:22.4	(16)	神宮	35-8-19	日本高校
46	釜堀福子	朝羽高	3:23.0	(15)	宮崎	35-8-5	九州高校
47	行繩美代	二階堂高	3:23.9	(15)	神宮	32-8-25	日本高校
48	藤田陽子	旭化成	3:24.0	(19)	旭化成	32-6-30	宮崎選手権
49	岩野恵美子	大嶺高	3:24.3	(17)	津山市営	36-7-2	中国対九州
50	田村重子	椛山高	3:25.0	(15)	振甫	35-7-3	愛知選手権



坂本宗隆

アメリカ

◎全米学生 3/23~25 聖ワシントン大学 25y

50y自	1. F.レガッキー	21.4(米学新)
	2. S.ジャックマン	21.7
	3. R.パドヴァン	22.2
100y自	1. S.ジャックマン	48.5(米学新)
	2. F.レガッキー	48.7
	3. R.ハンター	49.2
220y自	1. M.ローズ (豪)	2:00.6(米学新)
	2. R.ブリック	1:01.6
	3. D.ロウ	2:02.1
440y自	1. M.ローズ (豪)	4:17.9(米新)
	2. W.チェーズ	4:22.1
	3. W.ダーントン	4:22.2
1500m自	1. M.ローズ (豪)	17:21.8
	2. W.チェーズ	17:33.0
	3. G.ハインリッヒ	17:44.4
100y平	1. R.ネルソン	1:02.1(米新)
	2. G.コレット	1:02.2
	3. R.クラーク	1:03.0
200y平	1. R.クラーク	2:13.4(米新)
	2. T.コヴァッチ	2:16.3
	3. G.グリーン	2:19.5
100yバ	1. D.ギランダース	52.9(米新)
	2. L.ラーソン	53.3
	3. A.ウオルフ	53.6
200yバ	1. D.ギランダース	1:58.6
	2. G.ハインリッヒ	2:01.7
	3. D.ラウンサヴェル	2:02.1
100y背	1. C.ビティック	53.9(米新)
	2. L.シェーファー	55.7
	3. J.マトスン	56.1
200y背	1. C.ビティック	1:57.1(米新)
	2. L.カトラー	2:03.2

	3. L.シェーファー	2:03.3
200y混	1. J.ケルソ	2:02.9
	2. L.ラーソン	2:03.4
	3. R.カウフマン	2:05.0
400y継	1. ハーバード大	3:18.3(米学新)
400y混継1.	オハイオ州大	3:40.3(米新)
◎全米男子室内選手権 3/30~4/1 ニューヘブン 25y (1500のみ50mプール)		
100y自	1. S.クラーク⑰	47.9(米新)46.8(米新)
	2. M.オースティン⑰	47.9(米新)47.8
	3. F.レガッキー	48.8 47.8
220y自	1. S.クラーク	2:01.8 2:00.8(米新)
	2. M.ローズ (豪)	2:01.1
	3. R.ブリック	2:01.3
440y自	1. M.ローズ	4:18.2(米新)
	2. R.サアリ⑱	4:23.4
	3. J.マセド	4:24.6
1500m自	1. M.ローズ (豪)	17:43.7
	2. A.ソマーズ	17:55.0
	3. R.サアリ	17:55.2
	4. B.フォース⑲	18:00.0
100y平	1. C.ジャストレムスキー⑳	1:00.1(米新) 59.6(米新)
	2. R.クラーク	1:02.2
	3. T.コヴァッチ	1:02.8
220y平	1. C.ジャストレムスキー	2:32.4(米新) 2:26.7(米新)
	2. R.クラーク	2:31.6
	3. T.コヴァッチ	2:32.1
100yバ	1. F.レガッキー	53.4 51.9(米新)
	2. F.シュミット⑳	53.0(米新) 52.3
	3. L.ラーソン	53.2 52.5
	4. M.トロイ	53.5 53.4
220yバ	1. // ㉑	2:10.9(米新)
	2. F.シュミット	2:13.9 2:14.7
	3. A.ウオルフ	2:15.5
	4. F.デンネルライン (伊)	2:15.3 2:15.6
100y背	1. C.ビティック㉒	53.4(米新)
	2. J.グラーフ	55.3
	3. L.シェーフアー	55.7
220y背	1. C.ビティック	2:09.7(米新)
	2. T.ストック	2:11.5
	3. J.グラーフ	2:14.4
2.0y混	1. T.スティックルス㉓	2:02.1(米新)
	2. J.ケルソ	2:03.5

3.	J. マギル	2:05.0
400y混	1. C. ビティック	4:23.7(米 新)
	2. T. スティックルス	4:26.0
	3. D. ラウンサヴェル	4:29.9

400y継	1. ニューヘブンA	3:15.9(米 新)
-------	------------	-------------

400y混継	1. 北カロライナAC	3:39.8(〃)
--------	-------------	-----------

1m飛板	1. L. ヴイツツツィ	509.95
------	--------------	--------

3m飛板	1. R. オブライエン	529.55
------	--------------	--------

南カリフォルニア大は2位を断然ひき離して連勝、
 エール大のニューヘブンは4年連続2位、個人では
 Charles Bittick が3種目に首位を占め最高得点。競
 泳は1500m自由形を除いて全種目に全米新記録が続出
 して、底知れぬ強味を発揮した。これからの屋外シー
 ズンが思いやられる。

全米女子室内選手権は4/7~9フロリダ州ヒアリーで
 開催され、英国の No.1 N.Steward が長駆出場した
 が100y背泳2位に止った。この大会は参加選手400名
 で活況を呈したが最も驚くべきことは平均年令15½。

◎エバンスヴィル 7/15~16 50m

100m平	1. C. ジャストレムスキー	1:09.8(世 新)
-------	-----------------	-------------

200m平	1. C. ジャストレムスキー	2:35.3(〃)
-------	-----------------	-----------

200m背	1. T. ストック	2:16.1(〃)
-------	------------	-----------

欧 州

◎ソ連 対英選考 5/6~7 モスクワ 50m

100m自	1. V. コノブリョフ	56.9
-------	--------------	------

	2. V. ソローキン	57.5
--	-------------	------

	3. P. モルガチェフ	57.6
--	--------------	------

200m自	1. A. グレリノフ⑩	2:08.9
-------	--------------	--------

	2. V. コノブリョフ	2:09.0
--	--------------	--------

400m自	1. G. アンドロソフ	4:43.0
-------	--------------	--------

800m自	1. 〃	9:51.8
-------	------	--------

100m平	1. L. コレスニコフ	1:11.4(世 新)
-------	--------------	-------------

200m平	1. Y. フニコフ	2:39.4
-------	------------	--------

100mバ	1. E. マルゲーロフ	1:04.4
-------	--------------	--------

200mバ	1. V. クズミン	2:23.1
-------	------------	--------

100m背	1. V. シーマル	1:04.2
-------	------------	--------

	2. V. マンドルイキン	1:06.0
--	---------------	--------

	3. V. タラーゾフ	1:06.0
--	-------------	--------

200m背	1. 〃	2:26.9
-------	------	--------

◎ソ連93—92英国 5/20~21 モスクワ 50m

男子

100m自	1. V. コノブリョフ(ソ)	56.7
-------	-----------------	------

	2. S. クラーク	56.8(英 新)
--	------------	-----------

400m自	1. J. マーティン・ダイ	4:38.2
-------	----------------	--------

	2. G. アンドロソフ(ソ)	4:38.7
--	-----------------	--------

1500m自	1. G. アンドロソフ(ソ)	18:12.2(ソ連新)
--------	-----------------	--------------

	2. R. キャンピオン	18:44.0
--	--------------	---------

200m平	1. Y. フニコフ(ソ)	2:37.8(ソ連新)
-------	---------------	-------------

	2. V. セミデトロフ(ソ)	2:42.5
--	-----------------	--------

200mバ	1. V. クズミン(ソ)	2:17.3(ソ連新)
-------	---------------	-------------

	2. G. キセリョフ(ソ)	2:21.5
--	----------------	--------

100m背	1. V. シーマル(ソ)	1:03.3(ソ連新)
-------	---------------	-------------

	2. L. パルビエル(ソ)	1:04.4
--	----------------	--------

800m継	1. ソ 連	8:33.2
-------	--------	--------

400m混継	1. 〃	4:14.0(欧州対)
--------	------	-------------

(シーマル, コレスニコフ, キセリョフ,
 コノブリョフ)

女子

100m自	1. D. ウイルキンソン	1:06.0
-------	---------------	--------

	2. P. ベスト	1:06.1
--	-----------	--------

400m自	1. N. ロー	5:03.6
-------	----------	--------

200m平	1. A. ターンブル⑩	2:56.7
-------	--------------	--------

	2. A. ロンスブロー	2:57.3
--	--------------	--------

100mバ	1. Y. アントノワ(ソ)	1:14.3
-------	----------------	--------

100m背	1. N. ステュワード	1:12.3
-------	--------------	--------

	2. M. エドワード	1:12.9
--	-------------	--------

	3. L. ヴィクトロウ(ソ)	1:13.6
--	-----------------	--------

400m継	1. 英 国	4:26.3
-------	--------	--------

400m混継	1. 〃	4:56.4
--------	------	--------

英国は切札 Black 不参加のため、女子の優勢にかか
 わらず惜敗した。ホーム・プールでの対抗ではついてい
 るが、遠征には常に弱いようである。一方のソ連は自国
 新記録を多数マークして予想外の善戦であった。

◎モスクワ 5/5 50m

100m平	1. L. コレスニコフ	1:11.4(世 新)
-------	--------------	-------------

◎水泳祭 5/27~28 ベルリン 50m

男子

100m自	1. F. ヴィーガント	56.5(東独対)
-------	--------------	-----------

200m自	1. 〃	2:05.6(東独新)
-------	------	-------------

400m自	1. 〃	4:34.2
-------	------	--------

100m平	1. G. ティッテス	1:12.9
-------	-------------	--------

	2. E. ヘンニンガー	1:13.0
--	--------------	--------

200m平	1. 〃	2:39.9
-------	------	--------

100m背	1. W. ワグナー	1:04.4
-------	------------	--------

	2. J. ディーツェ	1:05.0
--	-------------	--------

200m背	1. W. ワグナー	2:23.4
-------	------------	--------

	2. D. プファイファー	2:24.9
--	---------------	--------

女子

100m自	1. H. ベヒスタイス	1:05.1
-------	--------------	--------

200m自	1. G. ヴァイス	2:26.2
-------	------------	--------

100m平	1. K. バイエル	1:20.9
-------	------------	--------

	2. G.ドリュウス	1:20.9
	3. B.ゲベル	1:21.3
200m平	1. G.ドリュウス	2:51.8
	2. K.バイエル	2:53.2
	3. B.ゲベル	2:56.4
100m背	1. I.シュミット	1:12.3
200m背	1. "	2:41.2
	2. V.ホレツ	2:42.3
◎トビリシ (ソ連) 6/3		
100m平	1. Y.フニコフ	1:11.4(世新)
◎英国94—91オランダ 6/2~3 カーディフ(英) 55y		
男子		
110y自	1. S.クラーク (英)	57.6
1650y自	1. R.チャンピオン (〃)	18:52.7
220yバ	1. I.ブライス (〃)	2:23.5
220y背	1. G.サイクス (〃)	2:24.2
880y継	1. イギリス	8:44.2
女子		
110y自	1. ラステリー (和)	1:04.9
440y自	1. " (〃)	5:00.5
220y平	1. ヒューケルス (〃)	2:54.9
110yバ	1. ヘームンケルク (〃)	1:12.6
110y背	1. ファンフェルゼン (〃)	1:11.6
440y継	1. オランダ	4:20.9
440y混継	1. "	4:52.1
◎ブダペスト 6/上旬 50m		

100m自	1. G.ドバイ	55.4(欧新)
◎モスクワ選手権 6/25~26 50m		
100m平	1. L.コレスニコフ	1:11.5(世対)
200m平	1. "	2:37.3(欧新)
◎ロストック 7/1 50m		
女100m平	1. ゲベル(東独)	1:18.2(世新)
◎ベルリン 7/6 50m		
100m平	1. G.ティッテス(東独)	1:10.8(世新)
◎東ドイツ 143—118イギリス		
7/15~16 ブラックプール 55y塩		
男子		
110y自	1. F.ヴィーガント(独)	57.6
440y自	1. " (〃)	4:32.7
1650y自	1. R.チャンピオン(英)	18:46.2
220y平	1. E.ヘンニンガー(独)	2:039.0
220yバ	1. W.ジーベル(〃)	2:23.4
220y背	1. F.ヴィーガント(〃)	2:23.6
女子		
110y自	1. ウイルキンソン(英)	1:05.2
440y自	1. ロー(〃)	5:04.5
110y平	1. ゲベル(独)	1:19.8(世新)
220y平	1. バイエル(〃)	2:53.5
110yバ	1. フェールマン(〃)	1:12.9
110y背	1. I.シュミット(〃)	1:13.2
440y混継	1. 東ドイツ	4:50.1(世新)
(シュミット, ゲベル, フェールマン, ペヒスタイン)		

編集後記

発刊が遅れ申訳ありません。印刷所の都合で予定が狂い、折角早く御寄稿願った執筆者各位と購読者諸賢に対しここに衷心お詫び申し上げます。(栗村)

編集委員

(いろは順 ◎印委員長) 金田平八郎, 上野徳太郎, ◎栗村 中丸, 坂本亮四郎, 三枝美貴子, 佐藤 幸男, 菊池 章, 島田桃一郎, 島田 博史, 鈴木 祐一

日本水泳連盟 機関誌	昭和36年9月10日印刷 昭和36年9月15日発行 日本水泳連盟 編集兼 発行人 栗村 中丸 印刷所 株式会社 成島印刷所 東京都中央区日本橋本石町3の4 電話 日本橋(241)1701.6509.7082	東京都千代田区丸ノ内2-2 丸ビル722区 発行並 申込所 日本水泳連盟 電話和田倉(201)3090・4885番 振替口座東京5178番
水 泳		
第140号		